パーソナルコンピューター

VGC-RA_3シリーズ
取扱説明書

SONY®

付属マニュアル一覧

取扱説明書類

はじめにお読みください

■ セットアップガイド

設置・接続からバイオを使うための準備までを、
イラストを見ながら知ることができます。

バイオを使う上での基本

■ 取扱説明書（本書）

・付属品を確認する
・準備をする
・インターネットやメールをする
・拡張する
・リカバリする
・トラブルの解決
・サービス・サポート情報を見る

バイオの楽しみかたを紹介

■ Do VAIOの使いかた［テレビ・ミュージック・フォト・DVDを楽しむ］

映像や音楽などを手軽な操作で楽しむための統合プレーヤー
Do VAIOの活用法を紹介しています。

バイオの画面で見るマニュアル

すべての情報を集約

■ バイオ電子マニュアル

バイオについてのすべての情報が記載されています。
➡［スタート］メニューから［すべてのプログラム］
→［バイオ電子マニュアル］の順にクリックする。

楽しみかたを画面で紹介

■ How to VAIO

デジタル写真、デジタル音楽、デジタル映像の
楽しみかたを紹介します。
➡「バイオ電子マニュアル」の［バイオを楽しく学ぶ］をクリックする。

やりたいことからソフトウェアを選択

■ バイオメニュー

やりたいことを選んで、目的に適したソフトウェアを起動します。
➡［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→
［バイオメニュー］の順にクリックする。

本機に関する重要なお知らせ

■ 重要なお知らせ

バイオを使う上でご覧いただきたい情報です。
➡［スタート］メニューから［すべてのプログラム］
→［重要なお知らせ］の順にクリックする。

ソフトウェアの詳しい使いかたを説明

■ ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。
➡各ソフトウェアの［ヘルプ］メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

注意事項

パーソナルコンピューター

VGC-RA_3シリーズ

Microsoft® Windows® XP Professional 搭載モデル
Microsoft® Windows® XP Home Edition 搭載モデル

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。

この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

注意事項

次ページに続く

本書に記載以外のさらに詳しい情報は、「バイオ電子マニュアル」に掲載しています。
「バイオ電子マニュアル」の使いかたは次ページをご覧ください。

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
困ったときは
サービス・サポート
その他
注意事項

「バイオ電子マニュアル」の使いかた

「バイオ電子マニュアル」は、本機の使いかたや困ったときの解決方法などを画面上で調べることができる電子マニュアルです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［バイオ電子マニュアル］の順にクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 見たい項目をクリックする。

画面の各項目の詳しい説明は、「「バイオ電子マニュアル」を見る」（126ページ）をご覧ください。

起動画面

例：電源の切りかたについて知りたいとき

起動画面の［バイオの使いかた］→「機能／設定」の［電源／起動］→［電源を切る］の順にクリックする。

ここにも注目
ページの最後に「ここにも注目」が
ある場合は、青色の文字*をクリックすると、
このページに関連する情報のページを表示します。

* ポインタをあてると下線が引かれる文字

バイオ電子マニュアル　目次

バイオの使いかた

「バイオの使いかた」には以下の情報が収録されています。

Q&Aで調べる

「Q&Aで調べる」には以下の情報が収録されています。

できるWindows for VAIO

コンピュータの基礎を学習できます。

バイオを楽しく学ぶ

「How to VAIO」で写真や映像、
音楽の楽しみかたを学習できます。

ソフト紹介／問い合わせ先

付属のソフトウェアを紹介します。
お問い合わせ先や起動方法を調べることもできます。

他の情報で調べる

Q&Aで解決しない場合にご覧ください。

サービスとサポート

有償サービスなど、安心してお使いいただく
ための情報をご案内します。

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCV-A31N

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

本機の内蔵モデムについて（VGC-RA73P・RA53を含むモデム搭載モデル）

本機の内蔵モデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他国のモードを使用すると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。工場出荷時の設定は「日本モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

アース線の接地接続について

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

マクロビジョンについて

本機は、米国特許およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバースエンジニアリングまたは分解は禁止されています。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

使用済みコンピュータの回収について

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://www.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[ご注意／その他]→「その他」の[使用済みコンピュータの回収について]の順にクリックする。）

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、http://www.sony.co.jp/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

この商品はグリーン購入法における判断基準を満たしています。

この説明書は、本文に100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています

アナログ放送から、デジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

この説明書の説明図や画面について

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

次ページからの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

・煙が出たら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

→

❶ 電源を切る
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜く
❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

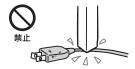
行為を指示する記号

指示

アース線を接続せよ

プラグをコンセントから抜く

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いてください。

むやみに内部を開けない

- 内部には電圧の高い部分があり、ケースやフロントカバーをむやみに開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。
- 各種の拡張ボード（基板）を取り付けたりメモリを増設する場合など、コンピュータの内部を開ける必要があるときは、本機の電源コードを抜き、取扱説明書の周辺機器の拡張のページで指定された方法に従い、部品や基板などの角で手や指にけがをしないように注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐためにテレホンコードや電源プラグを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

本機は日本国内専用です

交流100Vでお使いください。
海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

内蔵モデムを一般回線以外の電話回線に接続しない（VGC-RA73P・RA53を含むモデム搭載モデル）

禁止

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

（ネットワーク／LAN）コネクタに指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

禁止

本機の（ネットワーク／LAN）コネクタに下記のネットワーク（LAN）や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク（LAN）
- 一般電話回線
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイを長時間継続して見ない

禁止

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードを使いすぎない

禁止

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

オプティカルマウス底面の赤い光を直接見ない

マウス底面から発せられている赤い光を直接見ると、目を傷める場合がありますので、さけてください。

接続するときは電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コードや接続コードを使わないと、感電の原因となることがあります。

アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しを良くするために次の項目をお守りください。

- 壁から15cm以上離して設置する。
- 密閉されたせまい場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度も充分にお確かめください。

運搬時は慎重に

注意

コンピュータを運搬するときは、側面中央部に左右から手を入れて持ち、安定した姿勢で運んでください。前面および後面パネル部分に手をかけて持たないでください。運搬中にバランスを崩すと落下によりけがの原因となることがあります。

本機の上に乗らない、重い物を乗せない

禁止

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は電源を切ってプラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させる時は電源コードや接続コードを抜く

注意

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

コネクタはきちんと接続する

注意

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。
- アース線のあるコネクタには必ずアースを接続してください。

直射日光の当たる場所や熱器具近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災の原因となります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

市販のアルカリまたはマンガン電池（単三形）以外の電池をリモコンに使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

はじめに

付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

VGC-RA73PS・RA73Sをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
詳しくは、「VGC-RA73PS・RA73Sをご購入のお客様へ」（20ページ）や、お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

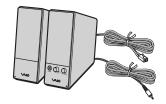
❑ コンピュータ本体

❑ キーボード

❑ パームレスト

❑ マウス

❑ ディスプレイおよびその付属品

お買い求めの機種によって、付属しているディスプレイが異なります。また、ディスプレイが付属していない機種もあります。
ディスプレイによっては別売りのディスプレイケーブルが必要になることがあります。
ディスプレイについて詳しくは、別冊のディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

❑ アクティブスピーカー

❑ アクティブスピーカー電源ケーブル

アクティブスピーカーとアクティブスピーカー電源ケーブルは、同じ箱に入っています。

❑ リモコン

（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデルに付属）

❑ 単3形乾電池（2）

（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデルに付属）

❑ リモコン用受光ユニット

（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデルに付属）

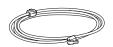
❑ ジョグコントローラー

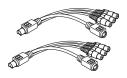
（VGC-RA73Pを含むジョグコントローラー付属モデルに付属）

ケーブル

❑ 電源コード

❑ テレホンコード

（VGC-RA73P･RA53を含むモデム搭載モデルに付属）

❑ オーディオ･ビデオ接続ケーブル（2）

（VGC-RA73シリーズのうちデジタル放送録画対応モデルに付属）

❑ アンテナ接続ケーブル

（VGC-RA73P･RA53を含むテレビ録画機能搭載モデルに付属）

説明書･その他

❑ 取扱説明書（本書）

❑ セットアップガイド

❑ Do VAIOの使いかた

❑ VAIOカスタマー登録、保証書お申込書

❑ VAIOカルテ

❑ ご注意･お知らせ

本機に関する大切な情報を、記載した紙が付属している場合があります。必ずご覧ください。

❑ その他のパンフレット類

大切な情報が記載されている場合があります。必ず、ご覧ください。

❑ 「Microsoft® Office Personal Edition 2003*」プレインストールパッケージ CD-ROMまたは「Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003*」プレインストールパッケージ CD-ROM

（VGC-RA73PS･RA73Sのうち「Microsoft Office」ソフトウェア搭載モデルに付属）
お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ･表計算」（199ページ）をご覧ください。
*この説明書では以降、「Microsoft Office」または「Office Personal 2003」または「Office Personal Enterprise 2003」と略します。
特に必要な場合は正式名称を記載します。

❑ VAIOでビデオ編集を始めよう CD-ROM

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（196ページ）をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。詳しくは、「リカバリについて」（178ページ）をご覧ください。

VGC-RA73PS・RA73Sをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により、仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。
付属品については「付属品を確かめる」（18ページ）を、付属ソフトウェアについては「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（196ページ）をご覧ください。

❑ テレビ録画機能を搭載しないモデルをお使いの場合：

- 以下の点でハードウェアの仕様が異なります。
  - MPEG2ハードウェアエンコーダーボードが搭載されません。
  - 本機前面に下記のコネクタが装備されません。
    VIDEO 2 INPUT（音声映像入力2）コネクタ（21ページ）
  - 本機後面に下記のコネクタが装備されません。
    VHF／UHF（アンテナ）コネクタ（23ページ、25ページ）
    デジタル放送専用i.LINK（TS）S400コネクタ（23ページ）
    AUDIO/VIDEO INPUT1（音声映像入力）コネクタ（23ページ）
    AUDIO/VIDEO OUTPUT（音声映像出力）コネクタ（23ページ）
    VIDEO 1 INPUT（映像入力1）コネクタ（25ページ）
    AUDIO INPUT（音声入力）コネクタ（25ページ）
- 以下のものは同梱されません。
  - リモコン、リモコン用受光ユニット、乾電池
  - アンテナ接続ケーブル
  - オーディオ・ビデオ接続ケーブル
- テレビを見たり、録画する操作はできません。
- 以下のソフトウェアは搭載されません。
  - DV-アナログ入出力切り替えツール*
  - DV-アナログ変換/i.LINK（TS）機能選択ツール

  * 非搭載モデルでは、「DVgate Plus」ソフトウェアでアナログ映像を取り込む操作はできません。

❑ モデムを搭載しないモデルをお使いの場合：

- LINE（電話回線）ジャック（本機後面）は装備されません。
- テレホンコードは付属しません。
- 一般電話回線に接続できません。

各部の説明

ここでは、本機の各部の説明を行います。詳しい説明については、(　　)内のページおよび「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[各部の説明]の順にクリックする。)

前面

1 フロッピーディスクイジェクトボタン
2 フロッピーディスクドライブ
3 フロッピーディスクドライブアクセスランプ
4 xD-Picture Card (xD-ピクチャーカード) スロット
5 CF (コンパクトフラッシュ) スロット
6 メモリーカードアクセスランプ
7 MEMORY STICK (メモリースティック) スロット
8 SD (SDメモリーカード) スロット
9 (ハードディスク) アクセスランプ
10 (ディスク) アクセスランプ
11 RECランプ
12 / (ヘッドホン／ライン入力) コネクタ
13 (マイクロホン) コネクタ
14 VIDEO 2 INPUT (音声映像入力2) コネクタ
・S VIDEO (S映像入力)
・VIDEO (映像入力)
・L/R (音声入力)
15 i.LINK S400コネクタ (4ピン)
16 USBコネクタ
17 PC CARD (PCカード) スロット
18 (電源) ランプ
19 (電源) ボタン
20 イジェクトボタン
21 ディスクドライブ または拡張デバイスベイ
22 イジェクトボタン
23 DVDスーパーマルチドライブ (DVD+R 2層記録対応)

24 IDラベル

1 フロッピーディスクイジェクトボタン
(VGC-RA73P･RA53を含むフロッピーディスクドライブ搭載モデル)
フロッピーディスクを取り出すときに押します。

2 フロッピーディスクドライブ
(VGC-RA73P･RA53を含むフロッピーディスクドライブ搭載モデル)
3.5インチのフロッピーディスクのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

3 **フロッピーディスクドライブアクセスランプ**
（VGC-RA73P･RA53を含むフロッピーディスクドライブ搭載モデル）
フロッピーディスクのデータを読み込んだり、書き込んだりするときに緑色に点灯します。

4 xD-Picture Card（xD-**ピクチャーカード）スロット**
xD-ピクチャーカードのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

5 CF**（コンパクトフラッシュ）スロット**
コンパクトフラッシュのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

6 **メモリーカードアクセスランプ**
“メモリースティック”やxD-ピクチャーカード、コンパクトフラッシュ、SDメモリーカードのデータを読み出したり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

7 MEMORY STICK **（メモリースティック）スロット**
“メモリースティック”のデータを読み込んだり、書き込んだりします。

8 SD**（**SD**メモリーカード）スロット**
SDメモリーカードのデータを読み込んだり、書き込んだりします。

9 **（ハードディスク）アクセスランプ**
ハードディスクにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

10 **（ディスク）アクセスランプ**
CDやDVDのデータを読み込んだり、CDやDVDにデータを書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

11 REC**ランプ**
（VGC-RA73P･RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）
テレビ番組を録画しているときや「Click to DVD」ソフトウェアでアナログ映像をDVDにしているとき、VAIO Mediaで生放送の映像をクライアントのコンピュータに送信しているときなど、MPEG2ハードウェアエンコーダーボードが使われているときに赤色に点灯します。

12 /**（ヘッドホン／ライン入力）コネクタ**
ヘッドホンやオーディオ機器をつなぎます。

13 **（マイクロホン）コネクタ**
マイクをつなぎます（ステレオ対応）。

14 VIDEO 2 INPUT**（音声映像入力**2**）コネクタ**
（VGC-RA73P･RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）
ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどをつなぎます。

- S VIDEO（S映像入力）
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどのS映像出力コネクタとつなぎます。VIDEOコネクタから入力された映像に比べ、よりきれいな映像を本機で見たり録画することができます。
- VIDEO（映像入力）
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの映像出力コネクタとつなぎます。
- L/R（音声入力）
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの音声出力コネクタとつなぎます。

15 i.LINK S400**コネクタ（**4**ピン）**
i.LINK対応機器をつなぎます。

！ご注意
デジタルハイビジョン機器をつなぐことはできません。

16 USB**コネクタ（**41**ページ）**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント
USB2.0規格は、USB（Universal Serial Bus）の新しい規格で、USB1.1規格（Full-speed/Low-speed）より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

17 PC CARD**（**PC**カード）スロット**
PCカードを取り付けます。

18 **（電源）ランプ（**52**ページ）**
本機の電源が入っているときは緑色に点灯し、スタンバイモード（54ページ）のときはオレンジ色に点灯します。

19 **（電源）ボタン（**52**ページ）**
本機の電源を入れるときに押します。
本機の動作中にこのボタンを押すと休止状態（54ページ）になり、（電源）ランプが消灯します。

20 **イジェクトボタン**
21のディスクドライブのトレイを引き出すときに押します。

21 ディスクドライブまたは拡張デバイスベイ（173ページ）

* お買い上げの機種により異なります。

- DVD-ROMドライブ（VGC-RA73Pを含むDVD-ROMドライブ搭載モデル）
  DVD-ROM／DVD+R DL（Double Layer）／DVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RW／CD-ROM／CD-R／CD-RWのデータを読み込みます。
  以降、ディスクドライブと略します。
- 拡張デバイスベイ（VGC-RA53を含む拡張デバイスベイ搭載モデル）
  IDEデバイスを増設するときに使用します。

22 イジェクトボタン

23のDVDスーパーマルチドライブのトレイを引き出すときに押します。

23 DVDスーパーマルチドライブ（DVD+R 2層記録対応）（185ページ）

DVD-ROM／DVD+R DL／DVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RW／DVD-RAM／CD-ROM／CD-R／CD-RWのデータを読み込んだり、DVD+R DL／DVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RW／DVD-RAM／CD-R／CD-RWにデータを書き込んだりします。
以降、DVDスーパーマルチドライブまたはディスクドライブと略します。

24 IDラベル

型名が記載されています。

後面

VGC-RA73シリーズのうちテレビ録画機能搭載モデル（デジタル放送録画対応モデル）

1 MOUSE（マウス）コネクタ（37ページ）
付属のマウスをつなぎます。

2 KEYBOARD（キーボード）コネクタ（37ページ）
付属のキーボードをつなぎます。

3 PRINTER（プリンタ）コネクタ
別売りのプリンタやスキャナなどをつなぎます。

4 i.LINK S400コネクタ（6ピン）
i.LINK対応機器をつなぎます。

!ご注意
デジタルハイビジョン機器をつなぐことはできません。

5 USBコネクタ（41ページ、42ページ）
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント
USB2.0規格は、USB（Universal Serial Bus）の新しい規格で、USB1.1規格（Full-speed/Low-speed）より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

6 REAR（リア）コネクタ
サラウンドスピーカーとつなぎます。

7 CENTER/WOOFER（センター／ウーファー）コネクタ
サラウンドスピーカーとつなぎます。

8 FRONT/ （フロント／ヘッドホン）コネクタ（36ページ）
ヘッドホンや付属のアクティブスピーカー、サラウンドスピーカーなどとつなぎます。

9 （マイクロホン）コネクタ
マイクをつなぎます（ステレオ対応）。

10 （ライン入力）コネクタ
オーディオ機器の出力コネクタとつなぎます。

11 LINE（電話回線）ジャック（38ページ）
（VGC-RA73Pを含むモデム搭載モデル）
壁の電話回線とつなぎます。

12 AUDIO/VIDEO OUTPUT（音声映像出力）コネクタ（46ページ）
付属のオーディオ・ビデオ接続ケーブルを使うことにより、ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの映像・音声入力コネクタとつなぎます。

13 AUDIO/VIDEO INPUT1（音声映像入力）コネクタ（46ページ）
付属のオーディオ・ビデオ接続ケーブルを使うことにより、ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの映像・音声出力コネクタとつなぎます。

14 VHF／UHF（アンテナ）コネクタ（43ページ）
アンテナをつなぎます。

15 デジタル放送専用 i.LINK（TS）S400コネクタ（4ピン）（49ページ）
デジタル放送専用i.LINK（TS）コネクタをもつ機器とつなぎます。
他のi.LINK対応機器との接続はできません。

16 モニタコネクタ（34ページ）
ディスプレイをつなぎます。

17 DVI-D（ディーブイアイ ディー）コネクタ
デジタルディスプレイをつなぎます。

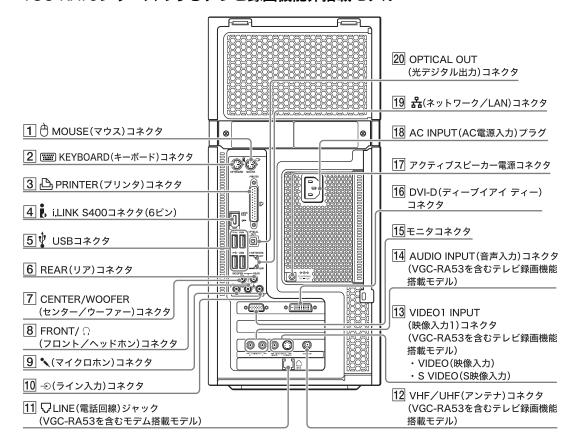
18 アクティブスピーカー電源コネクタ（36ページ）
付属のアクティブスピーカーの電源ケーブルをつなぎます。

19 AC INPUT（AC電源入力）プラグ（51ページ）
付属の電源コードをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

20 （ネットワーク／LAN）コネクタ（40ページ）
ネットワーク（LAN）とつなぎます。

21 OPTICAL OUT（光デジタル出力）コネクタ
AVアンプなどのデジタル機器につなぎます。
本機で再生する音楽CDなどの音声を、つないだデジタル機器に出力するときに使います。

VGC-RA73シリーズ・RA53シリーズのうちテレビ録画機能搭載モデル（デジタル放送録画非対応モデル）

VGC-RA73シリーズのうちテレビ録画機能非搭載モデル

1 **MOUSE（マウス）コネクタ**（37**ページ**）
付属のマウスをつなぎます。

2 **KEYBOARD（キーボード）コネクタ（**37**ページ）**
付属のキーボードをつなぎます。

3 **PRINTER（プリンタ）コネクタ**
別売りのプリンタやスキャナなどをつなぎます。

4 **i.LINK S400コネクタ（6ピン）**
i.LINK対応機器をつなぎます。

！ご注意
デジタルハイビジョン機器をつなぐことはできません。

5 **USBコネクタ（41ページ、42ページ）**
USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント
USB2.0規格は、USB（Universal Serial Bus）の新しい規格で、USB1.1規格（Full-speed/Low-speed）より高速なデータ転送が可能です。USB2.0規格に対応しているコネクタには、USB1.1規格に対応した機器もつなげます。

6 **REAR（リア）コネクタ**
サラウンドスピーカーとつなぎます。

7 **CENTER/WOOFER（センター／ウーファー）コネクタ**
サラウンドスピーカーとつなぎます。

8 **FRONT/ （フロント／ヘッドホン）コネクタ（36ページ）**
ヘッドホンや付属のアクティブスピーカー、サラウンドスピーカーなどとつなぎます。

9 **（マイクロホン）コネクタ**
マイクをつなぎます（ステレオ対応）。

10 **（ライン入力）コネクタ**
オーディオ機器の出力コネクタとつなぎます。

11 **LINE（電話回線）ジャック（38ページ）**
（VGC-RA53を含むモデム搭載モデル）
壁の電話回線とつなぎます。

12 **VHF／UHF（アンテナ）コネクタ（43ページ）**
（VGC-RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）
アンテナをつなぎます。

⑬ VIDEO1 INPUT（**映像入力1）コネクタ（**46**ページ）**

（VGC-RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）

- VIDEO（**映像入力**）：
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどのS映像出力コネクタがないとき、映像出力コネクタとつなぎます。
- S VIDEO（S**映像入力**）：
  ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどのS映像出力コネクタとつなぎます。よりきれいな映像を本機で見たり録画することができます。

⑭ AUDIO INPUT（**音声入力）コネクタ（**46**ページ）**

（VGC-RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）
ビデオデッキ、ビデオカメラレコーダーなどの音声出力コネクタとつなぎます。

⑮ **モニタコネクタ（**34**ページ）**

ディスプレイをつなぎます。

⑯ DVI-D（**ディーブイアイ ディー）コネクタ**

デジタルディスプレイをつなぎます。

⑰ **アクティブスピーカー電源コネクタ（**36**ページ）**

付属のアクティブスピーカーの電源ケーブルをつなぎます。

⑱ AC INPUT（AC**電源入力）プラグ（**51**ページ）**

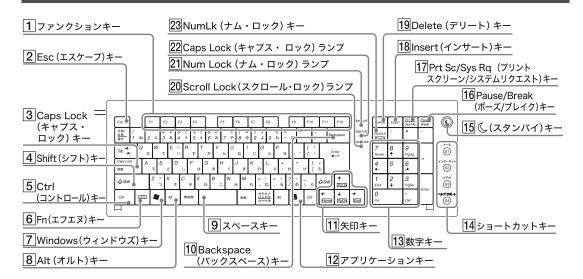
付属の電源コードをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

⑲ **（ネットワーク／**LAN**）コネクタ（**40**ページ）**

ネットワーク（LAN）とつなぎます。

⑳ OPTICAL OUT（**光デジタル出力）コネクタ**

AVアンプなどのデジタル機器につなぎます。
本機で再生する音楽CDなどの音声を、つないだデジタル機器に出力するときに使います。

キーボードの各部名称

① **ファンクションキー**

使用するソフトウェアによって働きが異なります。

② Esc（**エスケープ）キー**

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

③ Caps Lock（**キャプス・ロック）キー**

Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押してCaps Lock（キャプス・ロック）が有効になっているときはアルファベットの大文字が入力できます。

④ Shift（**シフト）キー**

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

⑤ Ctrl（**コントロール）キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

⑥ Fn（**エフエヌ）キー**

キーボード上で四角で囲まれて表示されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

⑦ Windows（**ウィンドウズ）キー**

Windowsの「スタート」メニューが表示されます。

⑧ Alt（**オルト）キー**

文字などと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

9 スペースキー
文字を入力しているとき、このキーを押すと、スペースを挿入できます。

10 Backspace(バックスペース)キー
画面上のカーソルの左の文字を消すときに押します。

11 矢印キー
画面上のカーソルを動かします。

12 アプリケーションキー
マウスで右ボタンを押したときと同じ働きをします。

13 数字キー
Delete(デリート)キー左横のNum Lock(ナム・ロック)ランプが点灯しているときは、数字を入力できます。ランプはNumLk(ナム・ロック)キーを押すと点灯します。

14 ショートカットキー
これらのキーを押すだけで、ソフトウェアを起動できます。

15 ☾(スタンバイ)キー
本機の電源が入っているときに押すと、スタンバイモードに切り換わります。再び押すと、スタンバイモードから復帰します。

16 Pause/Break(ポーズ/ブレイク)キー
使用するソフトウェアによって働きが異なります。

17 Prt Sc/Sys Rq(プリントスクリーン/システムリクエスト)キー
デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

18 Insert(インサート)キー
文字を挿入するか、上書きするかを切り換えます。

19 Delete(デリート)キー
画面のカーソル上の文字を消すときに押します。

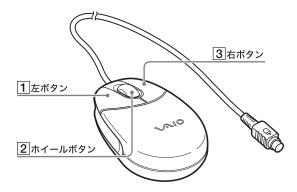
20 Scroll Lock(スクロール・ロック)ランプ
Scroll Lock(スクロール・ロック)が有効になっている場合に点灯します。

21 Num Lock(ナム・ロック)ランプ
Num Lock(ナム・ロック)が有効になっている場合に点灯します。

22 Caps Lock(キャプス・ロック)ランプ
Caps Lock(キャプス・ロック)が有効になっている場合に点灯します。

23 NumLk(ナム・ロック)キー
このキーが押されて有効になっているときは、13の数字キーで数字が入力できます。

ヒント
13「ショートカットキー」で起動するソフトウェアは変更することができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[文字入力／キーボード]→[ショートカットキーで起動するソフトウェアを変更する]の順にクリックする。)

マウスの各部名称

1 左ボタン(55ページ)
文書や画像、ソフトウェアなどを選んだりするときに押します。マウスを使うときは、主にこのボタンを使います。

2 ホイールボタン
ウィンドウのスクロールをするときなどに、このボタンを使うと、左ボタンを使うよりも楽に操作できます。
また、ホイールをクリックするとオートスクロール機能を使うことができます。

3 右ボタン
文書や画像をコピーするなど、さまざまな操作や設定をすぐに行うためのメニューを表示するときに押します。

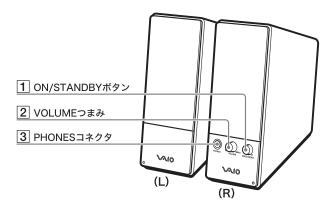
オプティカルマウスとは

オプティカルマウスは、マウス底面からの赤い光により照らし出されている陰影をオプティカルセンサーで検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上はもちろんのこと、衣類の上や紙の上でも使用することができます。ただし、次のような表面では正しく動作しない場合があります。

- 透明な素材（ガラスなど）
- 光を反射する素材（光沢のあるビニールや鏡など）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢があるマウスパッドや机など

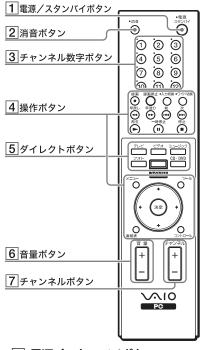
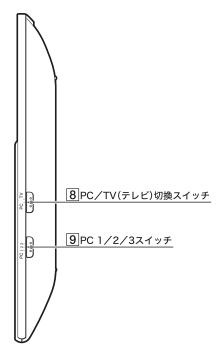
！ご注意

- マウスポインタが正常に動かないときは、上記の条件に該当しない表面（机、紙、マウスパッドなど）でマウスを操作してみてください（上記の条件に該当する一部のマウスパッドでは、マウスが正常に動作しない場合があります）。
- オプティカルマウスのセンサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。

スピーカーの各部名称

1 ON/STANDBY**ボタン（**52**ページ）**

2 VOLUME**つまみ（**52**ページ）**

3 PHONES**コネクタ**
市販のヘッドホンをつなぎます。

リモコンの各部名称
（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）

1 電源／スタンバイボタン

- 本機を操作するとき
  本機の動作中に押すとスタンバイモードになります。再び押すと、スタンバイモードから復帰します（54ページ）。
- 市販のテレビを操作するとき
  テレビの電源を入／切します。

2 消音ボタン

一時的に音を消します。もう1度押すと音が出ます。

3 チャンネル数字ボタン

チャンネルを選択します。
5ボタンに突起が付いています。

4 操作ボタン

Do VAIOの操作に使用します。

- メニューボタン
  コンテンツ一覧メニューを表示したり非表示にしたりします。
- ツールボタン
  コンテンツの再生画面の表示中に、コンテンツを操作するための操作メニューを表示したり非表示にしたりします。
- 番組表ボタン
  番組表を表示します。
- コントロールボタン
  コンテンツの再生画面の表示中に、再生操作ボタンを表示したり非表示にします。
- 上、下（↑、↓）ボタン
  メニューをスクロールして、メニュー上の反転表示部を移動します。
- 左（←）ボタン
  前のメニューに戻ります。
- 右（→）ボタン
  反転表示されている項目の下位メニューを表示します。
- 中央（決定）ボタン
  反転表示されている項目の下位メニューを表示します（コンテンツを選択するメニューでは、反転表示されているコンテンツの再生画面を表示します）。

上下左右ボタンに突起が付いています。

5 ダイレクトボタン

目的に合ったDo VAIOの機能を簡単に表示します。

6 音量ボタン

音量を調節します。

7 チャンネルボタン

テレビのチャンネルを選択します。
＋ボタンに突起が付いています。

8 PC／TV（テレビ）切換スイッチ

本機または市販のテレビに操作対象を切り換えます。

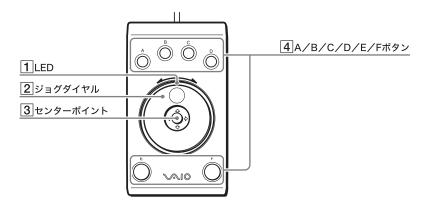
9 PC 1／2／3スイッチ

「リモコン設定」で設定した番号に合わせると、割り当てられた番号のコンピュータを操作できます。
「リモコン設定」については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[リモコン]→[リモコンの設定を変更する]の順にクリックする。）

ヒント

リモコンの使いかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[リモコン]の順にクリックする。）

ジョグコントローラーの各部名称（VGC-RA73Pを含むジョグコントローラー付属モデル）

「Adobe Premiere」ソフトウェアや「DVgate Plus」ソフトウェアを使って映像の編集をしたり、「WinDVD for VAIO」ソフトウェアを使って映像の再生をしたりするときに便利なジョグコントローラーです。
お使いのソフトウェアに応じて、それぞれのボタンに特定の機能が自動的に設定されます。

1 LED
ジョグコントローラーを本機に接続したとき、青色に点灯して、操作可能なことを示します。

2 **ジョグダイヤル**
左右に回転させることができます。
主にコマ送りを行うときに使用します。
1クリックが1コマに対応しています。

3 **センターポイント**
上下左右に動かすことと、垂直押し（下に押すこと）ができます。
映像の再生や音量調節などに使用します。

ヒント
お使いのソフトウェアによっては、センターポイントを右や左に2度押すことによって、再生スピードをより高速にすることができます。

4 A／B／C／D／E／F**ボタン**
お使いになるソフトウェアによって機能が変わります。

ソフトウェアを複数同時にお使いになっている場合は、最前面のソフトウェアのみ操作することができます。現在お使いのソフトウェア以外を操作したい場合は、目的のソフトウェアをクリックしてください。

ヒント

ジョグコントローラーの使いかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[ジョグコントローラー]をクリックする。）

登録されているソフトウェア

「VAIO USB Jog Utility」を使用することで操作設定内容を変更したり、使用できるソフトウェアを追加したりすることができます。
標準で登録されているソフトウェアは下記のとおりです。

- Adobe Premiere Pro（動画編集・加工）（VGC-RA73P・RA73PS）／Standard（動画編集・加工）（VGC-RA73S）
- DVgate Plus（デジタルビデオ動画／静止画入出力／簡易編集）
- TMPGEnc XPress for VAIO（MPEGソフトエンコーダー）
- TMPGEnc DVD Author for VAIO（DVD-Video編集）
- TMPGEnc MPEG Editor for VAIO（MPEGカット編集）
- DigiOnSound Professional for VAIO（サウンド編集）（VGC-RA73P・RA73PS）
- WinDVD for VAIO（DVD再生）

本機をセットアップする

ステップ1: **設置する**

↓

ステップ2: **接続する**

↓

ステップ3: **電源を入れる**

↓

ステップ4: **Windowsを準備する**

↓

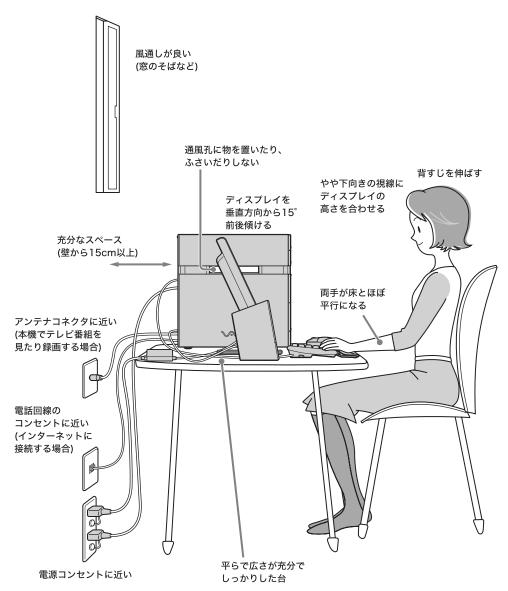
ステップ5: **カスタマー登録する**

↓

ステップ6: **基本設定を行う**

ステップ1:
設置する

設置場所

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。

!ご注意

- 必ず壁から15cm以上離して設置してください。
- ほこりの多い場所では、床に置かないでください。通風孔からほこりを吸い込んで故障の原因となることがあります。
- 通風孔には物を置いたり、ふさいだりしないでください。
- オプティカルマウスは、透明な素材、光を反射する素材、網点模様・縞模様や柄のもの、光沢があるマウスパッドや机の上では正しく動作しない場合があります。

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

❑ **直射日光が当たる場所**

❑ **磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く**

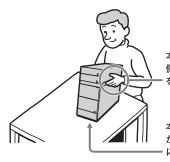
❑ **暖房器具の近くなど、温度が高い場所**

❑ **ほこりが多い場所**

❑ **湿気が多い場所**

❑ **風通しが悪い場所**

設置時のご注意

次のことをお守りください。

本機を横置きにしない。

故障を避けるためにも、次のことをお守りください。

- 本機を移動するときは、必ず電源を切る。
  電源が入っている状態で移動したり、動かしたりするとハードディスクの故障の原因となります。
- 本機を倒したり、ぶつけたりしない。
  小さな衝撃や振動でもハードディスクの故障の原因となります。
- 不安定な場所に設置しない。
- 通風孔に物を置かない。

設置の際の安全上の注意事項もご覧ください（10ページ）。

ステップ2:
接続する

以下の手順に従って、ディスプレイ、アクティブスピーカー、キーボード、マウス、テレホンコード（VGC-RA73P・RA53を含むモデム搭載モデル）、リモコン用受光ユニット（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）、アンテナ（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）、AV機器（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）、デジタルハイビジョン機器（VGC-RA73シリーズのうちデジタル放送録画対応モデル）、ジョグコントローラー（VGC-RA73Pを含むジョグコントローラー付属モデル）、電源コードを接続し、リモコン（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）を使えるように準備します。

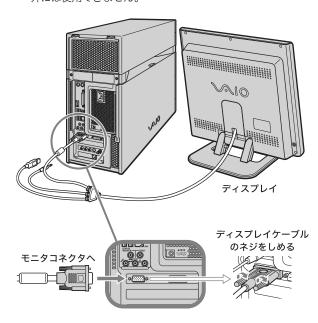
ヒント

特に記載のない場合、本機のイラストはVGC-RA53、ディスプレイのイラストはPCVD-17SM2シリーズのものです。

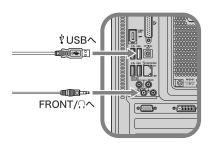
1 ディスプレイを接続する

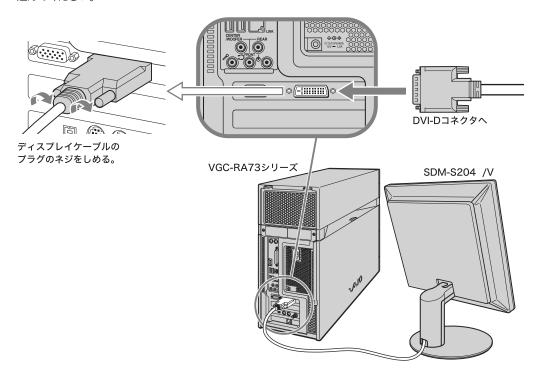
ディスプレイのビデオ入力コネクタを、本機後面のモニタコネクタに差し込む。

！ご注意

- 本機には、モニタコネクタとDVI-D（ディーブイアイ ディー）コネクタの2つのコネクタがあります。接続するコネクタはディスプレイによって違います。詳しくはディスプレイの取扱説明書をご覧ください。
- 手順 2 でアクティブスピーカーを接続して使う場合は、VGP-D19SM2シリーズおよびPCVD-17SM2シリーズの内蔵スピーカーをOFFにしてください。詳しくはディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。
- VGP-D19SM2シリーズおよびPCVD-17SM2シリーズなどのディスプレイに付属のACアダプタは、ディスプレイ以外には使用できません。

ヒント

VGP-D19SM2シリーズおよびPCVD-17SM2シリーズ付属モデルをお使いの方は

- ディスプレイのUSB入力コネクタを本機後面のUSBコネクタに差し込むと、ディスプレイのリモコン受光部が使えるようになります。
- ディスプレイの内蔵スピーカーを使用するか、アクティブスピーカーを使用するか選んでください。ディスプレイのスピーカーまたはアクティブスピーカー以外は接続しないでください。
- ディスプレイの内蔵スピーカーを使用する場合は、ディスプレイの音声入力コネクタを本機後面のFRONT/ （フロント／ヘッドホン）コネクタに差し込んでください。手順2でアクティブスピーカーを接続する場合は、ディスプレイの音声入力コネクタは差し込まないでください。

VGC-RA73PS・RA73PのうちSDM-S204　/V付属モデルをお使いの場合

付属ディスプレイSDM-S204　/VのDVI-D入力コネクタを、本機後面のDVI-D（ディーブイアイ ディー）コネクタに差し込んでください。

2 アクティブスピーカーを接続する（付属のアクティブスピーカーを使用する場合）

ヒント

- アクティブスピーカーの電源は、本機後面のアクティブスピーカー用電源コネクタから供給されるため、ACアダプタなどを使って壁などの電源コンセントに接続する必要はありません。
- 別売りの5.1chスピーカーなどを接続する方法については、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。

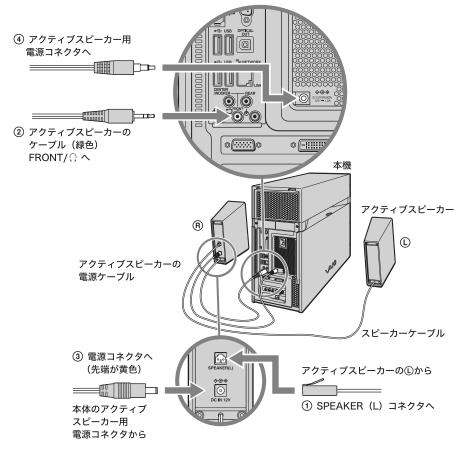
Ⓛ：本機の左側に設置します。

Ⓡ：本機の右側に設置します。

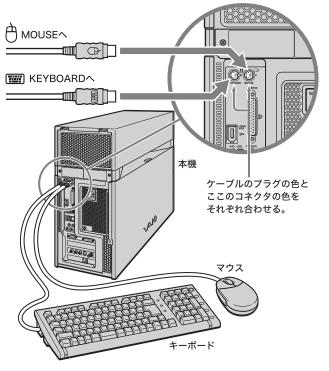
① 左側Ⓛのアクティブスピーカーのケーブルのプラグを右側Ⓡのアクティブスピーカーの SPEAKER（L）コネクタへ接続します。

② 右側Ⓡのアクティブスピーカーのケーブルのプラグ（緑色）を本機後面の FRONT/🎧（フロント／ヘッドホン）コネクタへ接続します。

③ アクティブスピーカーの電源ケーブルのプラグ（先端が黄色）を、右側Ⓡのアクティブスピーカーの電源コネクタへ接続します。

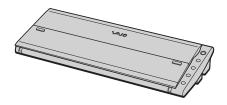
④ アクティブスピーカーの電源ケーブルのプラグを、本体後面のアクティブスピーカー用電源コネクタへ接続します。
本機の電源を入れると、アクティブスピーカーに電源が供給され、アクティブスピーカーが使えるようになります。

ご注意

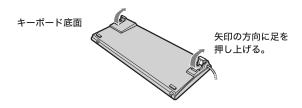
- 本機後面のアクティブスピーカー用電源コネクタには、本機に付属しているアクティブスピーカー以外のスピーカーは接続しないでください。
- 本機の電源が入っているときには、本機後面のアクティブスピーカー用電源コネクタに電源プラグを差したり、アクティブスピーカー用電源コネクタの電源プラグを抜いたりしないでください。
- アクティブスピーカーには、付属の電源ケーブル以外は接続しないでください。
- ACアダプタなどは必要ありません。
- 電源ケーブルはアクティブスピーカーの箱に入っています。

3 キーボードとマウスを接続する

キーボードにパームレストを取り付けるには

ヒント

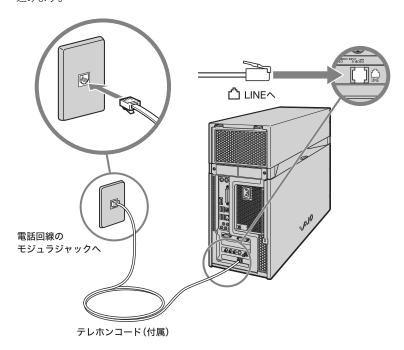
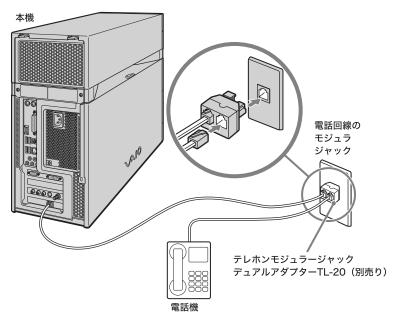
パームレストを手前に折りたたむと、キーボードを使うとき手首に負担がかかりにくくなります。

ヒント
パームレストは、キーボードを使わないときにキーボードの上にかぶせると、ふたとして使うことができます。

ヒント

キーボードの足を立てるには
キーボードの足を立てると、キーボードを使うときキーを打ちやすくなります。

4 一般電話回線（VGC-RA73P・RA53を含むモデム搭載モデル）／ADSL／ISDN／CATVインターネット回線に接続する

インターネットに接続するには、一般の電話回線に接続する方法や、ADSLに接続する方法などがあります。ここでは、一般の電話回線での接続方法と、ADSL、ISDNおよびCATVインターネット回線での機器の接続について説明します。

一般の電話回線につなぐときは（VGC-RA73P・RA53を含むモデム搭載モデル）

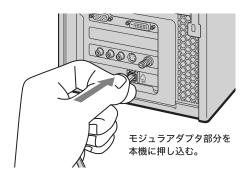
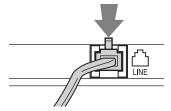
付属のテレホンコードの一方を本機の LINE（電話回線）ジャックへ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込みます。

電話機をつなぐときは、アダプター（テレホンモジュラージャックデュアルアダプターTL-20（別売り）など）を使って接続します。

!ご注意

テレホンコードは本機後面の（ネットワーク／LAN）コネクタに接続しないでください。

ヒント

ビジネスホン、ホームテレホンなどの電話機やドアホン付きの電話機をお使いのときは、工事が必要となるものがあります。電話機を取り付けた業者にご相談ください。

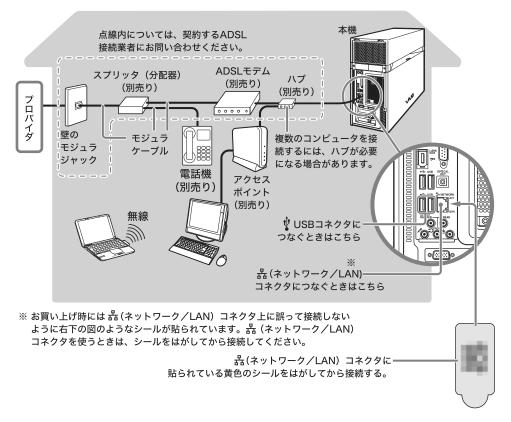
本機からテレホンコードを取りはずすには（VGC-RA73P・RA53を含むモデム搭載モデル）

① LINE（電話回線）ジャックにつながっているテレホンコードのモジュラアダプタ部分をいったん本機の奥に押し込む。

② モジュラアダプタのロックを押し、テレホンコード部分といっしょにつかむ。

③ ロックを押しながら、斜め上方向へ引き抜く。

ADSL接続サービスを利用するときは

ADSLとは、「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。
このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者（プロバイダ）と契約し、申し込むことが必要です。料金やサービスの内容をご検討の上、ご自分に合ったプロバイダと契約することをおすすめします。
プロバイダとの契約については「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「インターネット／ネットワーク」の[インターネット／電子メール]→「インターネットの準備」の[プロバイダと契約する]の順にクリックする。）

お客様の接続環境によって、接続方法が異なる場合がありますので、ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

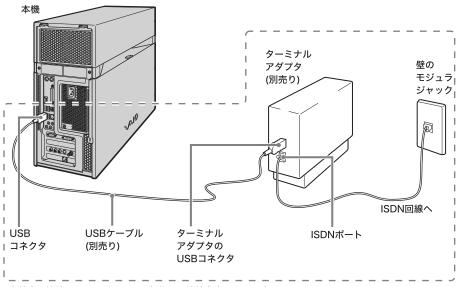
ご注意

（ネットワーク／LAN）コネクタにADSLモデムなどをつなぐときは、直接本体の（ネットワーク／LAN）コネクタに接続してください。ただし、複数のコンピュータを接続するときは、ハブを経由して接続する場合もあります。

ヒント

ネットワーク（LAN）ケーブルは、イーサネット（Ethernet）ケーブルと呼ばれることもあります。

ISDN回線を利用するときは

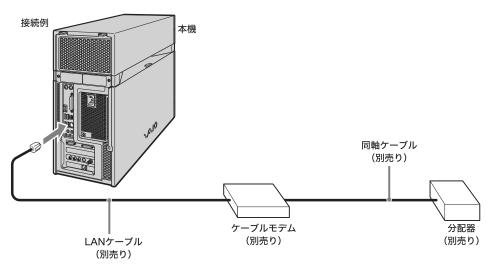
「ISDN回線」とはNTTのデジタル通信網を使った電話回線で、1回線で従来の2回線が使えます。ISDN回線を使って本機を使用するには、本機の他に「ISDNダイヤルアップルータ」や「ターミナルアダプタ」というコンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をつなぐためのISDN回線用の機器が必要です。

インターネットに接続するときは、下図のように本機のUSBコネクタとターミナルアダプタのUSBコネクタをつないでください。接続について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

点線内の接続について詳しくは、契約する接続業者にお問い合わせください。

ヒント

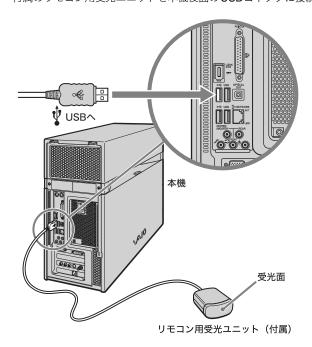
本機前面のUSBコネクタにつなぐこともできます。

CATVインターネット回線を利用するときは

CATVインターネットとは、CATV事業者が提供するCATVインターネット回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。CATVインターネット回線を使って本機を使用するためには、本機の他に「ケーブルモデム」が必要です。

ご注意

CATV事業者や接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

5 リモコン用受光ユニットを接続する（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）

付属のリモコン用受光ユニットを本機後面のUSBコネクタに接続します。

!ご注意

- リモコン用受光ユニットは、本機および付属のリモコン専用です。他の機器ではお使いになれません。
- リモコン用受光ユニットを設置するときは、以下の点にご注意ください。
  - 受光面をリモコンの信号が受けやすい方向に向けてください。
  - 受光ユニットの受光面とリモコンの発光部の間に障害物がない場所に設置してください。

ヒント

- リモコン用受光ユニットをつなぐと、リモコンを使って、Do VAIOを操作できるようになります。
- リモコン用受光ユニットを本機の上など安定しない場所に設置するときは、付属のマジックテープを貼ると受光ユニットの滑り落ちを防げます。マジックテープを受光ユニットの底面と受光ユニットを設置する場所に貼ります。
- USB機器の接続については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「インターネット／ネットワーク」の[USB]→[USB機器をつなぐ]の順にクリックする。）

ディスプレイのリモコン受光部を利用する場合

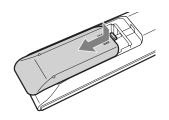
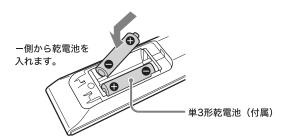
VGP-D19SM2シリーズおよびPCVD-17SM2シリーズでは、ディスプレイのリモコン受光部を利用することもできます（35ページ）。

この場合はリモコン用受光ユニットを接続する必要はありませんが、本機に付属のリモコン用受光ユニットを接続した場合は、両方の受光部を利用できます。

ディスプレイのリモコン受光部（VGP-D19SM2シリーズ／PCVD-17SM2シリーズのみ）とあわせて利用できます。

6 リモコンを準備する（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）

① リモコンを裏返す。

② リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。

③ ＋と－の方向を確かめて、付属の単3形乾電池を2本入れる。

！ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- ＋と－の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 乾電池が液もれしたときは、乾電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

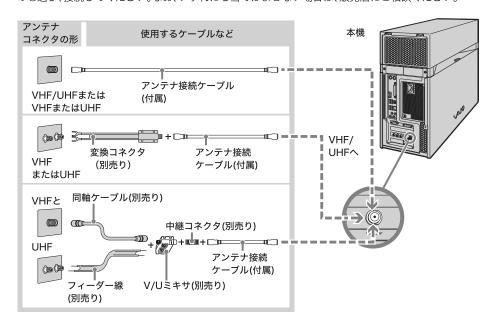
④ 乾電池入れのふたをスライドさせて閉める。

7 アンテナにつなぐ（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）

テレビを見たり、テレビ番組を録画するときは、付属のアンテナ接続ケーブルを使って壁のアンテナコネクタにつなぎます。
接続のしかたは、以下の場合で異なりますので、ご自分の使用環境に合わせて接続してください。

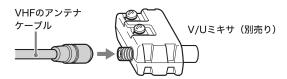
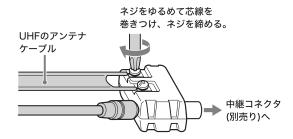
- 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合
- すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

❑ 本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合

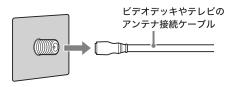
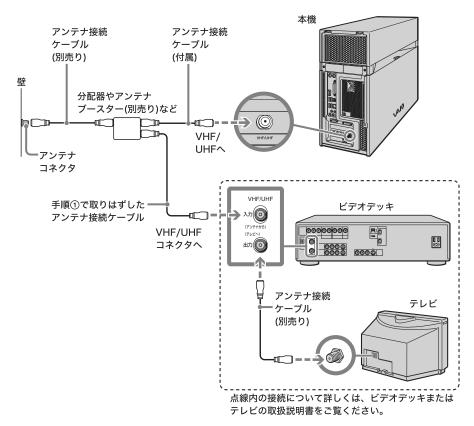
以下のようにアンテナを接続します。
アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、接続してください。なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店にご相談ください。

！ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルに比べ雑音電波などの影響を受けやすく、信号が劣化します。できるだけ同軸ケーブルをご使用ください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、本機からできるだけ離してください。
- フィーダー線をご使用になる場合は、長くなりすぎないようにご注意ください。

V/Uミキサをつなぐには

① VHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。

② UHFのアンテナケーブルをV/Uミキサにつなぐ。

❏ すでにビデオデッキやテレビが壁のアンテナコネクタに接続されており、本機をあらたに接続する場合

以下のようにアンテナを接続します。

① 壁のアンテナコネクタに接続されているビデオデッキやテレビのアンテナ接続ケーブルを取りはずす。

② アンテナを接続する。
別売りの分配器やアンテナブースターなどを使ってアンテナを接続します。壁のアンテナコネクタと分配器やアンテナブースターのつなぎかたは、壁のアンテナコネクタの形や使用するケーブルによって異なります。「本機のみを壁のアンテナコネクタに接続する場合」（44ページ）に記載の例から、最も近いものを選び接続してください。

ヒント
ビデオデッキをつなぐなど、アンテナを分配すると電波が弱くなり、ディスプレイの画面がチラチラしたり、斜めじまが入ることがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをアンテナと本機の間につないでください。

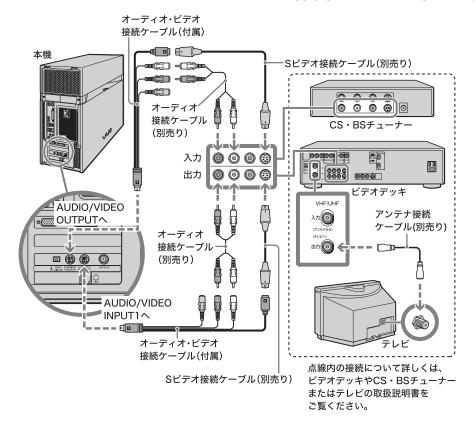
8 ビデオデッキやCS・BSチューナーを接続する（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）

ヒント
- ビデオデッキやCS・BSチューナーは必要に応じて接続してください。
- デジタルハイビジョンチューナーとの接続については「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[デジタル放送]→[デジタルハイビジョン機器をつなぐ]の順にクリックする。）

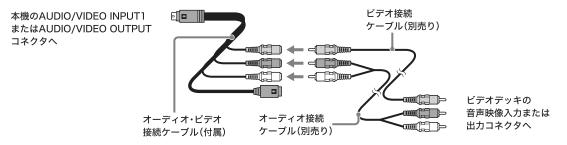
本機とビデオデッキやCS・BSチューナーの映像／音声の入出力コネクタどうしをつなぐと、以下のことができるようになります。

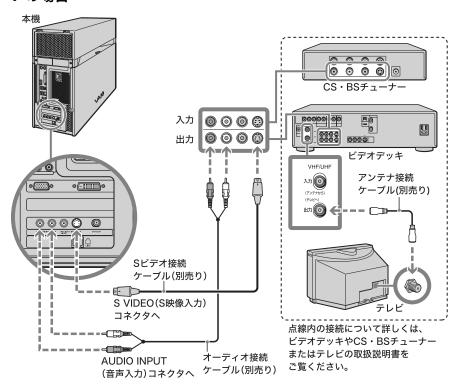
- ビデオデッキやCS・BSチューナーで再生する映像を本機につないだディスプレイで見る。
- ビデオデッキやCS・BSチューナーで再生する映像を本機に録画する。
- Do VAIOで再生する映像を、ビデオデッキに録画したり、テレビで見る。

ご注意
著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は録画できません。

VGC-RA73シリーズのうちデジタル放送録画対応モデルをお使いの場合

![ヒント]

ヒント

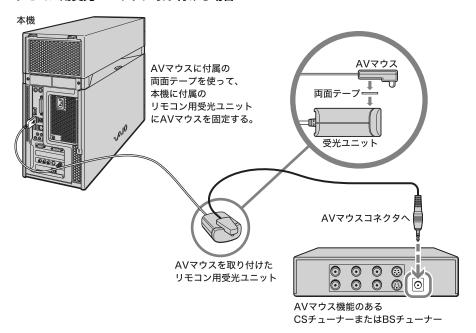
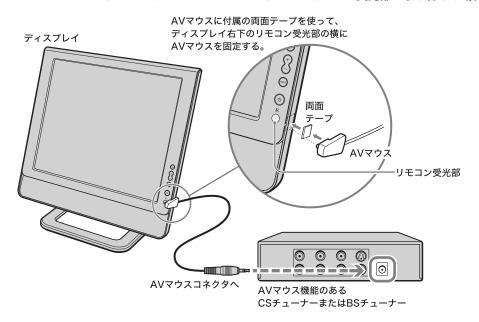
- S映像入力／出力コネクタのあるビデオデッキやCS･BSチューナーをおもちの場合は、S端子コネクタとつなぐことができます。S端子コネクタでつなぐと、よりきれいな画質で見たり録画することができます。
- S映像入力／出力コネクタのないビデオデッキをつなぐときは、オーディオ･ビデオ接続ケーブル（付属）とビデオ接続ケーブル（別売り）／オーディオ接続ケーブル（別売り）を下図のように接続してください。

VGC-RA73シリーズ･RA53シリーズのうちデジタル放送録画非対応モデルをお使いの場合

点線内の接続について詳しくは、ビデオデッキやCS・BSチューナーまたはテレビの取扱説明書をご覧ください。

ヒント

- S映像出力コネクタのあるビデオデッキやCS･BSチューナーをおもちの場合は、S端子コネクタとつなぐことができます。S端子コネクタでつなぐと、よりきれいな画質で見たり録画することができます。
- S映像出力コネクタのないビデオデッキをつなぐときは、本機のVIDEO（映像入力）コネクタにビデオ接続ケーブル（別売り）をつないでください。

AVマウス機能付きCS･BSチューナーをつなぐときは

AVマウス機能のあるCS･BSチューナーに付属のAVマウスを取り付けると、CS･BSチューナーの予約録画機能を使ってDo VAIOに番組の予約録画を行うことができます。
AVマウスは以下のように接続します。詳しくは、Do VAIOのヘルプ、およびCS･BSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

リモコン用受光ユニットに取り付ける場合

VGP-D19SM2シリーズおよびPCVD-17SM2シリーズのリモコン受光部に取り付ける場合

!ご注意

- 本機の電源を切った状態や休止状態ではDo VAIOは実行されません。Do VAIOを使って予約録画を行う場合は、本機をスタンバイモードにしてください。詳しくはDo VAIOのヘルプをご覧ください。
- お使いのビデオ機器によってはリモコンコードが競合してDo VAIOでの予約録画は実行できない場合があります。リモコンコードの設定方法について詳しくはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

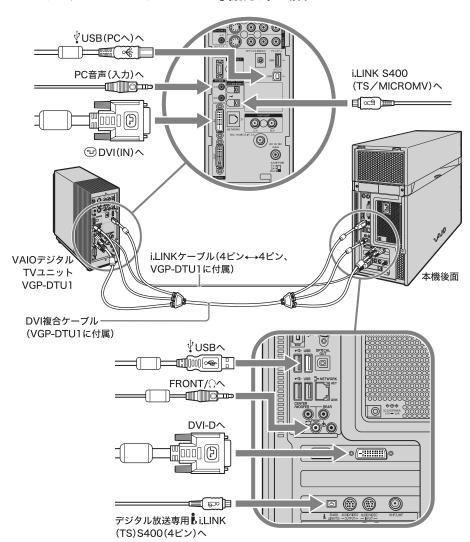
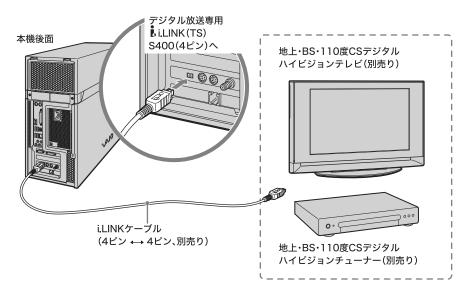
9 デジタルハイビジョン機器をつなぐ（VGC-RA73シリーズのうちデジタル放送録画対応モデル）

ヒント

- デジタルハイビジョン機器は必要に応じて接続してください。
- デジタル放送を視聴するには、本機とデジタルハイビジョン機器の接続、デジタルハイビジョン機器とアンテナの接続、デジタルハイビジョン機器の受信設定などが必要です。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[デジタル放送]→[デジタルハイビジョン機器をつなぐ]の順にクリックする。）またはデジタルハイビジョン機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続可能な機器については、http://vcl.vaio.sony.co.jp/の「製品別サポート情報」のページをご覧ください。

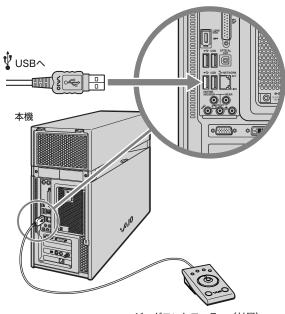
VAIOデジタルTVユニット VGP-DTU1（別売り）や地上･BS･110度CSデジタルハイビジョンチューナー（別売り）、地上･BS･110度CSデジタルハイビジョンテレビ（別売り）などのデジタルハイビジョン機器を、本機とi.LINKケーブル（別売り）でつなぐと、デジタル放送をハイビジョンの高画質のまま本機のハードディスクドライブに録画することができます。

i.LINKケーブル（別売り）を使って本機後面のデジタル放送専用i.LINK（TS）コネクタとデジタルハイビジョン機器のi.LINK（TS）コネクタをつなぎます。

「VAIOデジタルTVユニット VGP-DTU1」（別売り）の場合

その他のデジタルハイビジョン機器の場合

！ご注意

- 本機には2種類のi.LINKコネクタがあります。必ず本機後面のデジタル放送専用i.LINK（TS）コネクタにつないでください。
- その他のデジタルハイビジョン機器をお使いの場合、デジタル放送は、本機に接続したディスプレイには表示されません。

10 ジョグコントローラーを接続する（VGC-RA73Pを含むジョグコントローラー付属モデル）

付属のジョグコントローラーを本機のUSBコネクタに接続します。

ヒント

ジョグコントローラーをつなぐと、「Adobe Premiere」ソフトウェアや「DVgate Plus」ソフトウェアを使ってビデオ編集などを手軽に行えるようになります。

11 電源コードを接続する

本機、ディスプレイを電源コンセントに接続します。

！ご注意

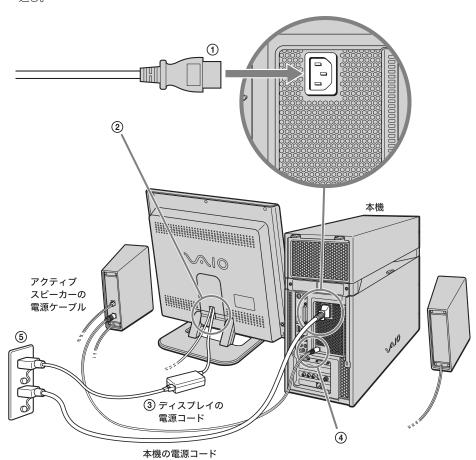
- 同じコンセントに複数の機器を同時につながないでください。
- 本機は日本国内専用です。交流100Vでお使いください。
- VGP-D19SM2シリーズおよびPCVD-17SM2シリーズなどのディスプレイに付属のACアダプタは、ディスプレイ以外には使用できません。

① 付属の電源コードのプラグを本体にしっかりと奥まで差し込む。

② ディスプレイにACアダプタが付属している場合、ACアダプタのプラグをディスプレイに接続する。

③ ディスプレイにACアダプタが付属している場合、ACアダプタにディスプレイ付属の電源コードのプラグを差し込む。

④ アクティブスピーカーの電源プラグが、本機後面のアクティブスピーカー用電源コネクタに接続されていることを確認する。

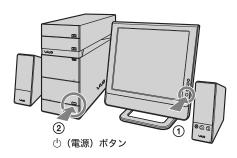
⑤ 本機の電源コードのアースを接続し、本機の電源プラグとディスプレイの電源コードを壁の電源コンセントに差し込む。

ステップ3:
電源を入れる

ディスプレイと本機の電源を入れます。

1 ディスプレイの⏻(電源)ボタンを押す。

ヒント
⏻(電源)ボタンの位置はお使いのディスプレイによって異なります。詳しくはお使いのディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

2 本機の⏻(電源)ボタンを押す。

本機の電源が入り、⏻(電源)ランプが緑色に点灯し、Windowsが起動します。
4秒以上⏻(電源)ボタンを押したままにすると、電源は切れてしまいます。

ヒント
電源を入れたあと、コンピュータを操作せずにいると、省電力機能が働いて、画面の表示が消え、本機とディスプレイの⏻(電源)ランプがオレンジ色で点灯します。省電力機能について詳しくは、「省電力機能について」(54ページ)をご覧ください。

アクティブスピーカーの電源が入っている場合、本機の電源が入ると、アクティブスピーカーにも連動して電源が入るようになっています。

❑ アクティブスピーカーの電源を入れる

1) ON/STANDBYボタンを押して、アクティブスピーカーの電源を入れる。
2) VOLUMEつまみを回して、音量を調節する。

！ご注意
アクティブスピーカーが適切な音量になっているか確認してください。突然大きな音がしないように、VOLUMEつまみで調節してください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されます。
「Windowsを準備する」(55ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

！ご注意
Windowsのセットアップ画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

2回目以降に電源を入れるときは

- ユーザーを2名以上設定している場合は、ユーザー名を選ぶ画面が表示されます。ユーザー名をクリックすると、Windowsが起動します。
- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
  ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
  「Norton Internet Security」ソフトウェアについて詳しくは、「セキュリティについて」(91ページ)をご覧ください。

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻(電源)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

ヒント
デスクトップ画面のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

1 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックする。

「スタート」メニューが表示されます。

2 [終了オプション]をクリックし、表示された「コンピュータの電源を切る」画面で「電源を切る」をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻(電源)ランプが消灯します。

ヒント
ソニー製のコンピューターディスプレイをお使いのときは、手順2で本機の電源が切れたあと、自動的にディスプレイが節電モードに入ります。

3 ディスプレイの⏻(電源)ボタンを押す。

ディスプレイの電源が切れます。

！ご注意
- 本機の電源を切ったあと、30秒間は電源を入れないでください。
- 「Windowsを準備する」の手順9(56ページ)で、2人以上のユーザーの名前を入力した場合、次回から本機の電源を入れると、「ようこそ」画面が表示されます。ユーザー名を選んでWindowsを起動してください。

省電力機能について

本機を使用していないときの消費電力を節約するモードとして、「スタンバイモード」と「休止状態」の2つのモードが用意されています。
モードごとに特徴がありますので、使用状況に合わせて設定をしてください。

	スタンバイモード	休止状態
本機の⏻(電源)ランプ	オレンジ色に点灯	消灯
ディスプレイの⏻(電源)ランプ[*1]	オレンジ色に点灯	オレンジ色に点灯
本機の状態	現在作業中の状態を保持したまま、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約することができます。席をはずすなどして、しばらく作業を中断するときに便利です。また、通常動作モードへ短時間で復帰できるので、Do VAIOを常時使用しているときなどに便利です。	本機の主電源が切れ、内部の主電源部のファンは停止します。現在作業中の状態をハードディスクに保存して、本機の電源を切ります。2～3日、本機を使わないようなときに便利です。
各モードに入るには	• キーボードの☾(スタンバイ)キーを押す。 • デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面で[スタンバイ]をクリックする。 • 付属のリモコンのPC/TV(テレビ)切換スイッチを「PC」に設定し、スタンバイボタンを押す。[*2]	• 本機前面の⏻(電源)ボタンを押す。 • デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[終了オプション]をクリックすると表示される「コンピュータの電源を切る」画面でShift(シフト)キーを押しながら[休止状態]をクリックする。
通常の動作モードに戻すには	• キーボードのスペースキーまたは☾(スタンバイ)キーを押すか、本機前面の⏻(電源)ボタンを押す。 • 付属のリモコンのPC/TV(テレビ)切換スイッチを「PC」に設定し、スタンバイボタンを押す。[*2]	本機前面の⏻(電源)ボタンを押す。
ご注意	スタンバイモードは本機の電源が切れた状態ではなく、本機の電力の消費を抑えている状態です。スタンバイモードのときに、電源コードを電源コンセントから抜かないでください。作業を中断する前の状態に戻れなくなります。また、本機の故障の原因となることがあります。	• 休止状態に入った場合は、リモコンを使って本機を通常の動作モードに戻すことはできません。 • 休止状態に入った場合は、キーボードの☾(スタンバイ)キーを押しても通常のモードには戻りません。

*1 お使いのディスプレイによっては、ランプの色が異なったり、点滅することがあります。
*2 VGC-RA73P･RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル

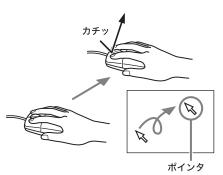
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[省電力]の順にクリックする。)

ステップ4:
Windowsを準備する

本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。
以下の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

ヒント
次の手順で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。表示される画面に従って操作してください。

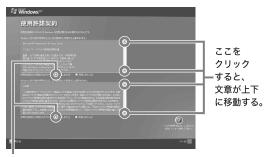
1 **「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある➡(次へ)をクリックする。**

マウスを動かして➡(次へ)の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」と言います。

Windowsのロゴ画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

ここをクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

2 **画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは2か所の[同意します]の◯をそれぞれクリックして◉にし、➡(次へ)をクリックする。**

ここをクリックすると、文章が上下に移動する。

ここ をクリックする。
◯が◉になる。

ご注意
どちらか一方でも[同意しません]の◯をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

3 **コンピュータを保護するための設定画面が表示されるので設定を選び、➡(次へ)をクリックする。**

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

4 **必要な場合はコンピュータ名を変更し、➡(次へ)をクリックする。**

① 自動的に表示されますが、必要な場合は認識しやすい名前に変更してください。

② コンピュータにわかりやすい説明をつけることもできます。

③ ここをクリックする。

「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されます。

VGC-RA53を含むWindows XP Home Edition搭載モデルをお使いの場合は、手順7へ進んでください。

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
困ったときは
サービス・サポート
その他
注意事項

5 「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」の欄にパスワードを入力し、(次へ)をクリックする。

6 「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示された場合は、ネットワーク環境に合わせて設定し、(次へ)をクリックする。

「このコンピュータをドメインに参加させますか?」画面が表示されない場合は、手順7に進んでください。

7 「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面が表示された場合は、(省略)をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。
「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面が表示されない場合は、手順8へ進んでください。

8 ［いいえ、今回はユーザー登録しません］の○をクリックして◉にし、(次へ)をクリックする。

① ここをクリックする。
○が◉になる。

② ここをクリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。

9 ユーザーの名前を入力し、(次へ)をクリックする。

① ここに名前を入力する。

② ここをクリックする。

「設定が完了しました」画面が表示されます。

ヒント
Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［できるWindows for VAIO］をクリックする。）

10 (完了)をクリックする。

ここをクリックする。

11 Windowsの起動後、以下の手順に従って、本機に設定されている日時を確認し、現在の日時に合わせる。

① デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックして表示される画面で、[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順にクリックする。
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。

② [日付と時刻]タブをクリックし、「日付」と「時刻」を現在の日時に合わせる。

③ [OK]をクリックする。
日時の設定が有効になります。

これでWindowsが使えるようになりました。

!ご注意

- ホームページを見たり、電子メールをやりとりするためには、更にインターネットに接続する準備が必要です。詳しくは、「インターネットを始める」(67ページ)をご覧ください。
- デスクトップ画面上にあるショートカットアイコンには、一定期間使用しないとデスクトップ画面上から削除されるものがあります。
Windowsの初回起動時から60日間後に、ショートカットアイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。
その後も60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のショートカットアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。デスクトップ画面上のショートカットアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。
- 本書に記載されているリカバリの方法(179ページ)以外でOS(Operating System)をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
本機のOSは、VGC-RA73P･RA73PSをお使いの場合は「Microsoft® Windows® XP Professional*」、VGC-RA53･RA73Sをお使いの場合は「Microsoft® Windows® XP Home Edition*」です。
  - * 本書では、WindowsまたはWindows XPと略します。

ヒント

- OS(Operating System)とは
コンピュータを動かすために必要な基本ソフトウェアのことです。画面表示や操作方法などもOSによって決められています。OSがないと他のソフトウェアも使えません。

- 本機は、お買い上げ時に、ライセンス認証は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。
また、リカバリ(178ページ)を行った場合も、ライセンス認証は自動的に完了するため、お客様が認証作業を行う必要はありませんが、Microsoft Office*のライセンス認証はお客様が認証作業を行う必要があります。
  - * VGC-RA73PS･RA73Sのうち「Microsoft Office」ソフトウェア搭載モデル

以上で、本機を使う準備ができました。

Windows セキュリティ センターについて

Windows セキュリティ センターは、[スタート]ボタンをクリックし、[コントロール パネル]→[セキュリティ センター]の順にクリックして起動します。

Windows セキュリティ センターでは、お使いのバイオをウイルスなどから守るために、セキュリティに関する次の項目についてバイオの状態をチェックします。問題が見つかった場合は、メッセージが表示され対応策を知ることができます。

- ファイアウォール
出荷時の設定では「有効」になっています。有効になっていると、ネットワークなどを介した第三者のアクセスを阻止することができます。
- 自動更新
「Windowsを準備する」の手順3(55ページ)でコンピュータを保護する設定を選ぶと、この機能が「有効」になります。有効になっていると、「Windows Update」にて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。
- ウイルス対策
ウイルス対策ソフトウェアが最新の状態に保たれているかチェックします。ウイルス定義ファイルは頻繁に更新されますので、常に最新の状態に保つようにしましょう。

!ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ステップ5:
カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社(以下、「ソニー」)は「バイオ」をご所有のお客様へセキュリティ情報などの必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」を行っていただくことをおすすめしています。登録のメリットについては、VAIOホームページ(http://www.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

また、出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間はお買い上げ日から3か月です。
登録を行っていただくことで、カスタマー専用デスクからお買い上げ日より1年間有効な保証書(「My Sony ID」と「お客様サポート番号」を記載)をお送りします。

なお、保証については「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[ご注意/その他]→「その他」の[保証書とアフターサービス]の順にクリックする。)
VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」までご連絡ください。
詳しくは、「お問い合わせ先について」(145ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

次の方法で手軽に登録を行うことができます。

- オンラインで登録
  テレホンコードをつなぎ、電話回線を通じて行うことができます(VGC-RA73P・RA53を含むモデム搭載モデル)。また、インターネット経由でも登録を行うことができます。
- 付属のお申込書を郵送して登録
  付属の「VAIOカスタマー登録、保証書お申込書」にご記入の上、郵送いただくことでも登録を行うことができます。付属の「VAIOカスタマー登録、保証書お申込書」を使ってお申し込みいただく場合は、「VAIOカスタマーID」を記した保証書をお送りします。その後、次のカスタマー登録の手順に従って、「My Sony ID」を取得することができます。

ヒント

- VAIOオンラインカスタマー登録にご使用いただく電話回線は一般電話回線だけでなく、ISDN回線にも対応しています。
- 次の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。
  1) お客様にお知らせした使用目的のために、業務を委託する協力会社に開示が必要な場合(ソニーは、当該協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します)。
  2) 司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合。
- 13才より小さいおこさまは、ほごしゃのかたといっしょにとうろくしてください。

!ご注意

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などの登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内(http://www.vaio.sony.co.jp/)のページ上で、変更手続きを行うことができます。
  また、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックして変更手続きを行うこともできます。

1 **[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[VAIOオンラインカスタマー登録]をクリックする。**

ヒント

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、[キャンセル]をクリックして表示される画面で[終了]をクリックしてください。

2　［次へ］をクリックする。

ここをクリックする。

「登録手順について」画面が表示されます。

3　［次へ］をクリックする。

「ID・パスワードの入力」画面が表示されます。

ヒント

1つ前の画面が見たいときは、［戻る］をクリックします。

4　［次へ］をクリックする。

ヒント

本機を含めてバイオをすでに2台以上おもちの方など、すでに「VAIOカスタマーID」や「My Sony ID」をおもちの方はIDを入力し、画面の指示に従って操作してください。

5　「VAIOオンラインカスタマー登録専用回線」の◯をクリックしてオレンジ色にし、［次へ］をクリックする。

モデムを搭載しないモデルをお使いの場合は、「インターネット経由」を選んで［次へ］をクリックしてください。「インターネット経由の接続設定」画面が表示されます。画面の指示に従って接続先の選択を行ったあと、手順7へと進んでください。

① ここをクリックする。
　◯ がオレンジ色になる。

② ここをクリックする。

「発信方法の設定」画面が表示されます。

！ご注意

- 外線発信（0発信）はできません。
- 「インターネット経由」を選んでご登録いただく場合、接続料金はお客様の負担となります。
- ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機の LINE（電話回線）ジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。

ヒント

- ［次へ］をクリックすると、手順6に進む前に「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。この場合は、通信に使う機器を選び、［次へ］をクリックしてください。
- 「インターネット経由」を選んで［次へ］をクリックしたときは、「インターネット経由の接続設定」画面が表示されます。画面の指示に従って接続先の選択を行ったあと、手順7へと進んでください。
  また、ネットワーク（LAN）の環境などによっては、「インターネット経由の接続設定」画面でプロキシの設定をする必要があります。プロキシの設定について詳しくは、各法人・団体様のシステム管理者にお尋ねください。

6　お使いの電話回線の発信方式（ダイヤル方法）を選び、［次へ］をクリックする。

ヒント

- 本機を一般電話回線につないでいるときのみトーン式／パルス式ダイヤルを選びます。
- **トーン式ダイヤルとは**
  電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
- **パルス式ダイヤルとは**
  ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方法です。
- お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

7 電話回線がつながっていることを確認し、[問い合せる]をクリックする。

電話回線を通じて通信が行われ、完了すると「問い合せ完了」画面が表示されます。

8 [次へ]をクリックする。

「VAIOカスタマー登録の特典／VAIOカスタマー登録のご注意」画面が表示されます。

9 [次へ]をクリックする。

10 スクロールバーをドラッグするか、または をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容を了承するときは[了承します]をクリックする。

「IDの規約の確認」画面が表示されます。

11 スクロールバーをドラッグするか、または をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容に同意するときは[同意する]をクリックする。

！ご注意
[同意しない]をクリックすると、カスタマー登録は完了しません。

12 画面の指示に従って入力し、[次へ]をクリックする。

13 すでに電子メールアドレスをおもちの方は、電子メールアドレスを入力し、[次へ]をクリックする。

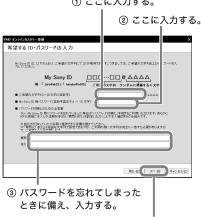
14 必要な項目を入力し、[次へ]をクリックする。

！ご注意

- 「お客様ご住所等の入力」画面の「郵便番号」はハイフンを除いて入力してください。
- 保証書等の送付先がここで入力した住所と同様の場合は、画面下部の[保証書等の送付先住所を上記と同様にする]の □ をクリックして ☑ にしてください。

ヒント

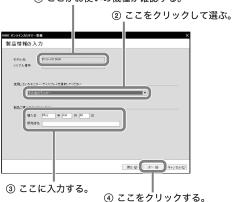
「郵便番号」を入力したあと、[住所検索]をクリックすると、簡単に住所検索ができます。

15 「My Sony ID」の「@」前にご希望の文字列と、「My Sony ID用パスワード」、「パスワード初期化のための合言葉」を入力し、[次へ]をクリックする。

！ご注意

- 「My Sony ID用パスワード」は英字と数字を混ぜて入力してください。英字のみ、または数字のみのパスワードは設定できません。
- 「My Sony ID用パスワード」は「登録内容の確認」画面では表示されません。「My Sony ID用パスワード」を忘れないようご注意ください。

ヒント

「パスワード初期化のための合言葉」は、「My Sony ID用パスワード」を忘れてしまったときに備え、あらかじめ設定しておいた質問と答えを使って、パスワードの初期化と再設定を行う機能です。

16 本機のモデル名を確認し、▼をクリックして使用しているディスプレイを選び、本機の購入日や販売店名を入力し、[次へ]をクリックする。

「登録内容の確認」画面が表示されます。

ヒント

- 「使用しているモニター・ディスプレイを選択してください」で「その他のモニター」を選択した場合は、「使用モニターの選択」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 「製品情報の入力」が完了すると、「アンケート」画面が表示される場合がありますので、画面の指示に従って入力してください。

17 登録内容を確認し、[次へ]をクリックする。

「確認してください」画面が表示されます。

18 [登録する]をクリックする。

登録内容が電話回線を通じて送られ、送信が終わると「登録完了」画面が表示されます。

！ご注意
ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機の LINE(電話回線)ジャックと一般電話回線をつなぎ、通信を行ってください。

19 [次へ]をクリックする。

「ご登録の完了」画面が表示されます。

「My Sony ID」と「お客様サポート番号」について
VAIO登録カスタマー向けのサービスをご利用の際には「My Sony ID」をご使用ください。
VAIOカスタマーリンクへ電話でお問い合わせいただく際には「お客様サポート番号」をご使用ください。

！ご注意
VAIOカスタマーリンクへ電話でお問い合わせいただく際に、「My Sony ID」はご使用できません。

ヒント
「My Sony ID」と「お客様サポート番号」は後日、ソニーより「1年間保証書」などとともに郵送でお知らせいたします。

20 [IDと番号をファイルに保存する]をクリックする。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

21 ファイルに任意の名前を付け、[保存]をクリックする。

お客様の「My Sony ID」と「お客様サポート番号」の情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存されます。

！ご注意
保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないようにご注意ください。

22 「ご登録の完了」画面の[OK]をクリックする。

これでVAIOオンラインカスタマー登録は終了です。

ヒント
[OK]をクリックすると、サービス内容などをお知らせする画面が表示されることがあります。この場合は、[次へ]をクリックしてください。

VAIOカスタマー登録情報を変更するには

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[VAIOオンラインカスタマー登録]をクリックする。

「お客様はすでにVAIOカスタマーに登録されています。………」というメッセージが表示されます。

2 [はい]をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックする。

「登録情報変更手順について」画面が表示されます。

4 [次へ]をクリックする。

「My Sony ID、My Sony ID用パスワードの入力」画面が表示されます。

画面の指示に従って操作し、登録内容を変更してください。

ステップ6:
基本設定を行う

Do VAIOの設定をする

Do VAIOとは

Do VAIOは、テレビやビデオなどの映像*、音楽、デジタル写真、音楽CD、DVDをコンピュータで楽しむための統合プレーヤーです。

はじめてDo VAIOを使うときは、次の手順に従ってテレビを見るためのチャンネル設定*や、Do VAIOで使用するフォルダの設定を行ってください。
基本設定を行う前に、アンテナ接続*を行ってください(43ページ)。

* VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデルのみ

!ご注意
Do VAIOの準備を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。

❏ VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデルをお使いの場合

1 リモコンのVAIOボタンを押すか、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックする。

「テレビを見るための準備を行います。はじめにお住まいの地域を選択してください。」画面が表示されます。

3 本機を使用する都道府県および最も近い地域を選択する。

「制限付きアカウント」をもつユーザーでログオンしている場合、テレビの設定を行うことはできません。そのまま、手順4に進んでください。

ヒント
[選択した地域の既定のチャンネル一覧]をクリックすると、選択した地域に登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

4 [次へ]をクリックする。

「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしている場合、チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの自動検出が完了しました」画面が表示されます。

ヒント
- [検出に失敗したチャンネルを削除する]を☐にすると、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。チャンネルの追加や削除はあとで行うことができるため(64ページ)、通常は☑のままにしておくことをおすすめします。
- 「制限付きアカウント」をもつユーザーとしてログオンしている場合、「Do VAIOを使うと、メモリーカードやCDから写真や音楽をバイオに取り込むことができます」画面が表示されます。手順6に進んでください。

5 [検出に失敗したチャンネルを削除する]が☑になっていることを確認して[次へ]をクリックする。

「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしている場合、「Do VAIOを使うと、メモリーカードやCDから写真や音楽をバイオに取り込むことができます」画面が表示されます。

6 [完了]をクリックする。

「[マイ ドキュメント]フォルダに保存されたコンテンツを、Do VAIOで楽しめるように設定してよろしいですか?」画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで楽しめるようになります。

ヒント
[はい]をクリックすると、他のユーザーからも「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。
また、[いいえ]をクリックすると、「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで利用しません。

Do VAIOの基本設定が完了します。

ヒント
- Do VAIOの基本設定をあとから変更する場合は、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO 設定]をクリックして表示される画面で設定してください。
- Do VAIOの操作方法については、「バイオ電子マニュアル」([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]の順にクリックする。)またはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

❑ VGC-RA73PS・RA73Sのうちテレビ録画機能非搭載モデルをお使いの場合

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO]をクリックする。

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

2 [完了]をクリックする。

「[マイ ドキュメント]フォルダに保存されたコンテンツを、Do VAIOで楽しめるように設定してよろしいですか？」画面が表示されます。

3 [はい]をクリックする。

「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで楽しめるようになります。

ヒント
[はい]をクリックすると、他のユーザーからも「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。
また、[いいえ]をクリックすると、「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツをDo VAIOで利用しません。

Do VAIOの基本設定が完了します。

ヒント
- Do VAIOの基本設定をあとから変更する場合は、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO 設定]をクリックして表示される画面で設定してください。
- Do VAIOの操作方法については、「バイオ電子マニュアル」([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIOで楽しむ]の順にクリックする。)またはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

チャンネル設定を変更する(VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル)

Do VAIOをはじめて使うときに行う「Do VAIOの準備」で、チャンネル設定をしても映らないチャンネルがあったり、ご使用の地域で受信できるチャンネルと実際のチャンネルが異なる場合は、次の手順でチャンネル設定を変更することができます。

!ご注意
「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしてから行ってください。

一部のチャンネルが映らない場合

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO設定]をクリックする。

「設定」画面が表示されます。

2 [テレビ・ビデオ(チャンネル設定)]をクリックする。

「チャンネルの設定」画面が表示されます。

3 チャンネルの一覧から映らないチャンネルを選択し、[削除]をクリックする。

①チャンネルを選択する。

②ここをクリックする。

4 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

選択したチャンネルが一覧から削除されます。

5 [追加]をクリックする。

「チャンネルの追加」画面が表示されます。

6 受信チャンネル、チャンネル名、リモコンの数字を設定して、[OK]をクリックする。

ヒント

チャンネル名は、[指定した地域のチャンネル]または[ほかの地域のチャンネル]の一覧から選択してください。ご希望のチャンネルが一覧に含まれていない場合は、[指定した地域のチャンネル]の一覧にチャンネル名を入力することができます。

[OK]をクリックすると、一覧にチャンネルが追加されます。
映らないチャンネルについて、手順3～6を繰り返し、設定してください。

すべてのチャンネルが映らない場合

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO設定]をクリックする。

「設定」画面が表示されます。

2 [テレビ・ビデオ(チャンネル設定)]をクリックする。

「チャンネルの設定」画面が表示されます。

3 [チャンネル一覧の作り直し]をクリックする。

ここをクリックする。

4 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

「Do VAIOの準備」画面が表示されます。

5 本機を使用する都道府県および最も近い地域を選択する。

ヒント

[選択した地域の既定のチャンネル一覧]をクリックすると、選択した地域に登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

6 [次へ]をクリックする。

チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの自動検出が完了しました」画面が表示されます。

ヒント

[検出に失敗したチャンネルを削除する]を□にすると、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。通常は☑のままにしておくことをおすすめします。

7 [検出に失敗したチャンネルを削除する]が☑になっていることを確認して[完了]をクリックする。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

- ❑ **インターネットに接続したい。**
  →68ページをご覧ください。
- ❑ **電子メールをやりとりしたい。**
  →88ページをご覧ください。
- ❑ **Windowsの基本操作を知りたい。**
  →「できるWindows for VAIO」をご覧ください。
  （「バイオ電子マニュアル」の[できるWindows for VAIO]をクリックする（6ページ）。）

インターネットを始める

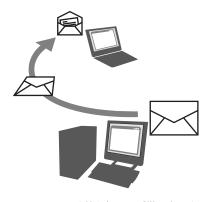
インターネットとは

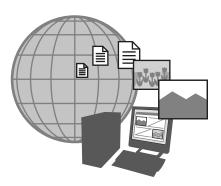
インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。インターネット接続サービスを提供する会社(「インターネットサービスプロバイダ(ISP)」や単に「プロバイダ」と言います。以下「プロバイダ」と記します)と契約すれば、インターネットに接続することができます。

インターネットに接続すると、次のようなことができるようになります。

ホームページを見る

- 調べたい情報を検索する。
- 世界の景色を見る。
- ホテルや乗物の予約をする。
- 趣味の仲間をさがす。
- オンラインショッピングをする。

電子メールをやりとりする

電子メールで時差を気にせず世界中の人たちとコミュニケーション。

情報を発信する

- 自分の意見を発言する。
- 趣味の仲間をつのる。
- 絵や文芸作品を発表する。
- 仕事の広告を出す。

インターネットに接続するまでの流れ

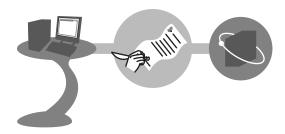
インターネットを利用してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、本機をインターネットに接続する必要があります。
以下の流れに従ってインターネットに接続します。ここでは一般電話回線を使ってインターネットに接続する流れを説明します。詳しくは、各手順の参照ページをご覧ください。

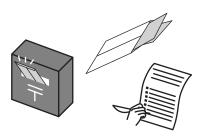
！ご注意
「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーのみインターネットに接続するための設定を行うことができます。

1 一般電話回線／ADSL／ISDN／CATV インターネット回線などにつなぎましょう。

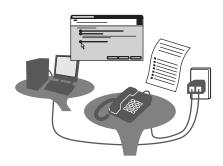
本機を一般電話回線やADSL、ISDN、CATVインターネット回線などにつなぎます。
接続について詳しくは、機器接続のページをご覧ください。

2 プロバイダと契約しましょう。

プロバイダを選んで契約すると、インターネット接続に必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。
プロバイダについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「インターネット／ネットワーク」の[インターネット／電子メール]→「インターネットの準備」の[プロバイダと契約する]の順にクリックする。）

3 チェックシートを作成しましょう（74ページ）。

プロバイダから郵送されてきた資料をもとに、チェックシートを作成します。接続の設定の際の不明点については、契約したプロバイダにお問い合わせください。

4 接続のための設定をしましょう（78ページ、80ページ）。

チェックシートをもとに設定をします。
ご利用になる電話回線によって設定方法が異なります。

- ADSLでインターネットに接続する（78ページ）
- 一般電話回線でインターネットに接続する（80ページ）

5 電子メールソフトウェアの設定をしましょう（86ページ）。

チェックシートをもとに電子メールを使うための設定をします。

6 電子メールをやりとりしてみましょう（88ページ）。

電子メールをやりとりする練習をします。

インターネット接続方法の種類について

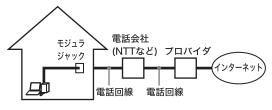
インターネットに接続する方法には、いろいろな種類があります。接続方法によって、通信速度やプロバイダの料金、接続に必要な機器などが異なります。詳しくは、プロバイダにお問い合わせいただくか、または「インターネット接続に必要なものは」(71ページ)をご覧ください。

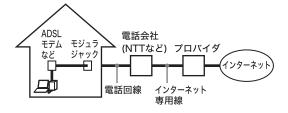
❑ 各接続方法の特徴

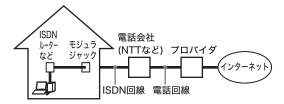
回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
一般電話回線	◎	△	△
ADSL	○	○	◎
ISDN	○	△	△
CATVインターネット	△	○	◎
光(FTTH)	△	◎	◎

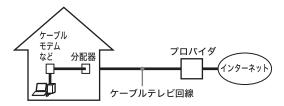
◎:最適　○:適している　△:あまり適さない

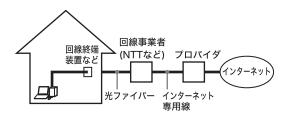
❑ 一般電話回線

通常の電話回線を使ってインターネットに接続します。モデム内蔵タイプのコンピュータを利用する場合には、特別な機器を必要としません。

❑ ADSL

通常の電話回線を使ってインターネットに接続します。高速通信・常時接続ができる接続方法です。回線の申し込みや、ADSLで接続するための機器(ADSLモデムなど)が必要です。

❑ ISDN

NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。一般電話回線よりも高速ですが、ADSLよりは低速です。回線の申し込みや、ISDNで接続するための機器(ISDNルーターなど)が必要です。なお、ISDNからADSLへ接続方法を切り換える場合は、回線変更の申し込みが必要になります。

❑ CATVインターネット

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。多くの場合、ADSLと同程度の速度で接続ができます。ケーブルテレビ局への申し込みが必要で、接続にはケーブルテレビの端末を使います。

❑ 光(FTTH)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。一般的にADSLより高速に接続できます。回線の申し込みが必要です。

その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

インターネット接続に必要なものは

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、情報を受け取ったり、発信したりするためには接続する回線や機器、専用のソフトウェアが必要になります。
また、電話回線などを通してインターネットにつなぐためにプロバイダと契約する必要があります。
インターネットに接続するために必要な主なものは以下のとおりです。

❑ 接続回線

インターネットに接続するための回線には、主に以下のような種類があります。
接続について詳しくは、機器接続のページをご覧ください。

回線の種類	解説	お問い合わせ先
一般電話回線	通常の電話が使っている回線です。	プロバイダ
ADSL	ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。 **！ご注意** ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、契約するADSL接続業者にお問い合わせください。	ADSL接続サービスを提供しているプロバイダ
ISDN	NTTのデジタル通信網を使った回線で、1回線で従来の2回線分の通話／通信ができます。	NTT（局番なし116番）
CATVインターネット	CATV事業者が提供するCATVインターネット回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。	CATV事業者
その他	上記の他に光ファイバーで接続する方法（FTTH）や、外出先などでも接続可能な無線での接続方法などもあります。	プロバイダ NTTなどの回線事業者

❑ インターネット接続サービス（インターネットサービスプロバイダ：ISP）との契約

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ（ISP）」または単に「プロバイダ」と言います。
プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。プロバイダと契約すると、インターネットを使って、いろいろな情報が載ったホームページを見ることができます。また、ほとんどのプロバイダでは、「電子メールアドレス」という、あなたの住所のようなものが契約時に用意されます。電子メールアドレスは、電子メールを送受信するときの宛先になります。これらの他に、契約するプロバイダによっていろいろなサービスがあります。
プロバイダと契約すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、プロバイダとの契約条件によっては、接続料金とは別に電話回線の通話料がかかることがあります。プロバイダについては、「バイオ電子マニュアル」（[バイオの使いかた]→「インターネット／ネットワーク」の[インターネット／電子メール]→「インターネットの準備」の[プロバイダと契約する]の順にクリックする。）および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISPサインアップ」（198ページ）をご覧ください。

！ご注意

- 本機および付属ソフトウェアの設定によっては、本機の電源を切っている間でも、自動的にインターネットに接続することがあります。自動接続すると、接続を自動的に終了しないことがあります。この場合、通話料と接続料金が多額になる可能性がありますので、ご注意ください。
- インターネットに接続している間は、電話をかけたり、受けたりできないことがあります。

❑ モデム

インターネット上のホームページを見たり、電子メールをやり取りするために電話をかける装置です。回線の種類によって、以下のようなものがあります。

回線の種類	モデムの種類
一般電話回線	モデム（モデム搭載モデルのみ）
ADSL	ADSLモデム（別売り）
ISDN	ISDNダイヤルアップルーター（別売り）または、ターミナルアダプタ（別売り）
CATVインターネット	ケーブルモデム（別売り）

❑ **ソフトウェア**

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア(「ウェブブラウザ」と言います)が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には両方の専用ソフトウェアが付属しています。
本機には以下のウェブブラウザおよび電子メール関連のソフトウェアが付属しています。

ウェブブラウザ

 Microsoft Internet Explorer

電子メールソフトウェア

 Outlook Express

情報管理ソフトウェア(電子メール機能付き)
(「Microsoft Office」ソフトウェア搭載モデルのみ)

 Microsoft Outlook

このマニュアルでは、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアと「Outlook Express」ソフトウェアの設定と使いかたを中心に説明していきます。
これらのソフトウェアの特徴について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([ソフト紹介/問い合わせ先]→[インターネット・メール]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。)

ヒント
ワイヤレスLANでの接続について
ワイヤレスLAN機能を使えば、接続回線とコンピュータの間の接続を無線にすることができます。例えば、部屋の中で接続コードを気にせずコンピュータを移動させてインターネットを楽しんだり、接続コードの長さを気にせずにコンピュータを設置することができます。
ワイヤレスLAN機能*1を使ってインターネットに接続する場合は、ワイヤレスLANアクセスポイント*2が必要です。
ワイヤレスLANアクセスポイントの設定については、ワイヤレスLANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。また、外出先などからワイヤレスLANサービスを利用してインターネットに接続することも可能です。外出先でのインターネット接続をする場合は、対応しているプロバイダや、NTTなどの回線事業者にお問い合わせください。

*1 ワイヤレスLAN機能搭載モデルをお使いの場合は、無線でインターネットに接続できます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の[バイオの使いかた]→[ワイヤレスLAN]の順にクリックして表示される情報をご覧ください(ワイヤレスLAN内蔵モデルのみ)。ワイヤレスLANを搭載していないモデルをお使いの場合は、ワイヤレスLANカードなどが必要です。
*2 ADSLモデムなどに内蔵されている場合もあります。

インターネット上のトラブルについて

現在一般に普及し、さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生しています。
インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用すると思わぬトラブルにあう可能性があります。

インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。
ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど、情報を受ける側もモラルをもって情報を利用する必要があります。
また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になるおそれもあります。
ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

コンピュータウイルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意をもった人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス(コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム)が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。
不審な電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せずに削除してください。
また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。

ヒント
コンピュータウイルスについて詳しくは、「セキュリティについて」(91ページ)をご覧ください。

情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、コンピュータの情報などがインターネット上にもれ出すことがあります。悪意をもった人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。
ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が、開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。
また、電子メールには完全な機密性はありません。送信する内容にはご注意ください。

ヒント

OSとは

「オペレーティングシステム」の略称で、「オーエス」と読みます。
リソースなど、コンピュータ全体を管理し、コンピュータを操作するのに必要な基本ソフトウェアです。本機で使用しているWindowsも代表的なOSの1つです。

インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。
注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。できるだけ信頼のおけるところを利用するなどの注意が必要です。

その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアの中には、国際電話やダイヤルQ2などに接続してしまうものもあります。
知らない間に接続し、課金されている場合がありますのでご注意ください。

- インターネット上での個人情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

チェックシートを作成する

プロバイダと契約を結ぶと、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。その資料をもとにインターネットに接続するための設定をします。
プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になりながら、下記の「チェックシート」をコピーするなどして、あらかじめ作成しておくと、「接続のための設定をする」（一般電話回線の場合：80ページ、ADSLの場合：78ページ）および「電子メールソフトウェアの設定をする」（86ページ）の手順でインターネットに接続するための設定が簡単になります。
次ページの「設定項目について」の説明に従ってチェックシートの各項目をご記入ください。

！ご注意

- ADSLの接続や設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。
- チェックシートに書き込む内容は、あなたの個人情報です。取り扱いには充分ご注意ください。
- チェックシートは、将来、再度設定し直さなければならないときなどにも活用できますので、大切に保管しておいてください。
- 他人にご自分のパスワードなどの情報がもれないようにご注意ください。パスワードは、他人に自分の名前を使われたり、電子メールを読まれたりしないようにするためのものです。できるだけ紙に書き留めず、記憶しておくことをおすすめします。
- 「（4）パスワード（PPP）」はプロバイダに電話回線を通じて接続できるようにするためのパスワードです。「（14）パスワード（POPアカウントパスワード）」は電子メールを受信できるようにするためのパスワードです。これらのパスワードは両方とも同じでも、別々でもかまいません（プロバイダによって、自由に設定できる場合と、プロバイダが規定する場合があります）。

ヒント

- チェックシートをコピーするなどした上で各項目を記入し、他人に見られることがないように、厳重に保管することをおすすめします。
- チェックシートをコピーするなどして記入しておくと、「接続のための設定をする」（一般電話回線の場合：80ページ、ADSLの場合：78ページ）の手順を行うときに便利です。

チェックシート

設定項目	あなたの設定値	例（So-netの場合）
（1）ダイヤルアップ接続名		So-net
（2）電話番号（アクセスポイント）		0570-00-1616
（3）ユーザー名（PPP）		ichiro@aa2
（4）パスワード（PPP）		
（5）市外局番		03
（6）トーン／パルス（電話回線の種類）		
（7）DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）	. . .	202.238.95.24
（8）別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）	. . .	202.238.95.26
（9）表示名（差出人フィールドでの表示）		Ichiro Suzuki
（10）電子メールアドレス	@	ichiro@aa2.so-net.ne.jp
（11）受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー		pop.aa2.so-net.ne.jp
（12）送信メール（SMTP）サーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp
（13）POPアカウント名		ichiro
（14）パスワード（POPアカウントパスワード）		
（15）インターネットメールアカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp

記入内容がわからないときは契約したプロバイダにお問い合わせください。

ヒント

「（7）DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）」、「（8）別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）」、「（11）受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー」、「（12）送信メール（SMTP）サーバー」は、プロバイダによっては設定しなくてよいことがあります。

設定項目について

(1)ダイヤルアップ接続名

デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[接続]にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックして表示される「ネットワーク接続」画面の中の接続アイコンの名前です。
お好みの名前をご記入ください。
例:So-net

ヒント

- プロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアを使って契約すると自動的に接続アイコンが作られ、名前も付けられます。
- 接続アイコンをデスクトップ画面上に作ることもできます(81ページ)。

(2)電話番号(アクセスポイント)

プロバイダから送られてきた資料をご覧になり、プロバイダのアクセスポイントの電話番号(接続先の電話番号)をご記入ください。アクセスポイントは「V.90」に対応しているものをお選びになると、より高速な通信ができます。
例:0570-00-1616

ヒント

アクセスポイントとは

一般加入電話からインターネットに接続するために、プロバイダが設けている接続地点のことです。インターネットの利用者は接続地点までの電話料金を負担する必要があるので、利用地点からより近いアクセスポイントで接続する方が通話料は少なくてすみます。

!ご注意

- ここで記入する電話番号はご自分の電話番号ではありませんのでご注意ください。
- 電話番号は必ず市外局番からご記入ください。
- ISDN回線をお使いの場合やPHSを使ってインターネットに接続するときは、電話番号が異なる場合があります。詳しくは契約したプロバイダにお問い合わせください。

(3)ユーザー名(PPP)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用するユーザー名をご記入ください。
例:ichiro@aa2

ヒント

ユーザー名は「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」などとも言います。

ヒント

PPPとは

「Point to Point Protocol」の略で、ネットワーク(LAN)に接続する方法の1つです。
電話による接続が一般的なことからダイヤルアップ接続とも呼ばれています。

(4)パスワード(PPP)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用する、ユーザー名に対するパスワードを記入します。

ヒント

- このパスワードは「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」などとも言います。
- パスワードの入力は、一般的に半角の英数字や記号などを使います。

ヒント

ダイヤルアップ接続とは

電話回線を通じてインターネットに接続することです。

（5）市外局番

ご自分の電話番号の市外局番をご記入ください。

例：03

（6）トーン／パルス（電話回線の種類）

お使いの電話回線のダイヤル方法がトーン式かパルス式か確認してご記入ください。

トーン式：

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」と音がしない電話機のダイヤル方法です。

パルス式：

ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」と音がする電話機のダイヤル方法です。パルス式ダイヤルの場合、ダイヤルボタンを押すと受話器から電子音が聞こえるものもあります。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなど電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）など電話会社にお問い合わせください。

（7）DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、ご記入ください。

例：202.238.95.24

ヒント

- DNSサーバーは「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」とも言います。
- この項目が必要ないプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

（8）別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）

上記の「（7）DNSサーバーアドレス」以外のアドレスがプロバイダから郵送されてきた資料に書かれている場合はご記入ください。

DNSサーバーアドレスは1つだけのプロバイダもあります。この場合は、「（8）別のDNSサーバーアドレス」は空欄のままでかまいません。

例：202.238.95.26

（9）表示名（差出人フィールドでの表示）

あなたが送る電子メールの差出人欄に表示する名前をお好みでご記入ください。通常はご自分の名前のフルネームにします。

例：Ichiro Suzuki

ヒント

この表示名は全角の漢字でも良いですが、日本語圏以外の相手に電子メールを送ることが多い方は半角のアルファベットにすることをおすすめします。こうすることによって電子メールを送った相手には「Ichiro Suzuki<ichiro@aa2.so-net.ne.jp>」などと表記されます。

（10）電子メールアドレス

電子メールをやりとりするときのあなたの宛先をご記入ください。プロバイダから郵送されてきた資料には「xxxxx@xxxx.xx.xx」と記載されています。電子メールアドレスは、あなたの住所と同じ役割をします。

例：ichiro@aa2.so-net.ne.jp

ヒント

電子メールアドレスは、「E-Mailアドレス」、「Mailアドレス」、「メールアドレス」などとも言います。

（11）受信メール（POP3、IMAPまたはHTTP）サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを受け取るサーバーのアドレスをご記入ください。受信メールサーバーは、郵便局のような役割をします。受信メールサーバーからあなたの電子メールアドレスに電子メールが送られます。

例：pop.aa2.so-net.ne.jp

ヒント

- 受信メールサーバーは、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」、「POP3」などとも言います。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

（12）送信メール（SMTP）サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを送信するサーバーのアドレスをご記入ください。送信メールサーバーも郵便局のような役割をします。あなたが送った電子メールを受け取り、送り先の電子メールアドレスに送ります。

例：mail.aa2.so-net.ne.jp

ヒント

- 送信メールサーバーは「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」、「SMTP」などとも言います。「（11）受信メールサーバー」と同じ場合もあります。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

（13）POPアカウント名

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名をご記入ください。「（10）電子メールアドレス」の「@」（アットマーク）より前の部分を記入します。電子メールを見るためには、このアカウント名と「（14）パスワード」の両方が必要になります。

例：「ichiro@aa2.so-net.ne.jp」が電子メールアドレスなら、POPアカウント名は「ichiro」になります。

ヒント

POPアカウント名は「メールアカウント名」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POPサーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」とも言います。「（3）ユーザー名」と同じ場合もあります。

（14）パスワード（POPアカウントパスワード）

受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名に対するパスワードを半角の英数字でご記入ください。電子メールを見るためには、「（13）POPアカウント名」とこのパスワードの両方が必要になります。

ヒント

このパスワードは、「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」などとも言います。

（15）インターネットメールアカウント名

お好みの名前をご記入ください。わかりやすいように電子メールアドレスを入れることをおすすめします。

例：ichiro@aa2.so-net.ne.jp

接続のための設定をする(ADSLの場合)

本機をインターネットに接続するための設定を行います。ここでは、ADSLモデムを使ってADSL回線に接続し、インターネットに接続するための設定方法を説明します。
「チェックシートを作成する」(74ページ)で作成したチェックシートをご覧になりながら、各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。以下の手順に従って操作してください。

ADSLモデムについて

ADSL接続に必要なADSLモデムには、一般的に下記の2タイプがあります。
①ブリッジタイプのADSLモデム
→コンピュータとADSLモデムを接続し、コンピュータ側で設定(PPPoEの設定)を行います。
②ルータータイプのADSLモデム
→コンピュータとADSLモデムを接続し、ルーターの設定を行います。

!ご注意

ADSLでの設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。
各プロバイダのお問い合わせ先については、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISPサインアップ」(198ページ)をご覧ください。

ここでは、①のブリッジタイプのADSLモデムを使った一般的な設定のしかたについて説明します。

1 **デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[コントロールパネル]をクリックする。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **「コントロールパネル」画面で[ネットワークとインターネット接続]をクリックする。**

「ネットワークとインターネット接続」画面が表示されます。

3 **「ネットワークとインターネット接続」画面で[ネットワーク接続]をクリックする。**

ここをクリックする。

4 **「ネットワーク接続」画面の「ネットワークタスク」から[新しい接続を作成する]をクリックする。**

ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

5 **「新しい接続ウィザードの開始」画面で[次へ]をクリックする。**

6 「ネットワーク接続の種類」画面で[インターネットに接続する]の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

ここをクリックする。

「準備」画面が表示されます。

7 「準備」画面で[接続を手動でセットアップする]の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

「インターネット接続」画面が表示されます。

8 「インターネット接続」画面で[ユーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用して接続する]の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

9 「接続名」画面で「ISP名」にご契約のADSL接続業者の名前を入力し、[次へ]をクリックする。

ご契約のADSL接続の名前を入力する。

ここをクリックする。

なお、お使いの環境によっては「インターネット アカウント情報」画面が表示される前に、「接続の利用範囲」画面が表示されることがあります。その場合は、接続を利用するユーザーを選んでから[次へ]をクリックしてください。

10 「インターネットアカウント情報」画面でユーザー名、パスワードをご契約のADSL接続業者から指定されている情報で入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、[次へ]をクリックする。

チェックシートの(3)ユーザー名(PPP)を入力する。

チェックシートの(4)パスワード(PPP)を入力する。

ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

11 [完了]をクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が閉じます。
これでADSLでPPPoEを使用してインターネットに接続するための設定は終わりです。

接続のための設定をする（一般電話回線の場合）

<モデム搭載モデルのみ>

本機をインターネットに接続するための設定を行います。ここでは、本機の内蔵モデム（モデム搭載モデルのみ）を使って一般電話回線に接続し、インターネットにダイヤルアップ接続するための設定方法を説明します。「チェックシートを作成する」（74ページ）で作成したチェックシートをご覧になりながら、各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。以下の手順に従って操作してください。

！ご注意

ADSLでの設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。
ADSLでの設定については「接続のための設定をする（ADSLの場合）」（78ページ）をご覧ください。また、各プロバイダのお問い合わせ先については「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISPサインアップ」（198ページ）をご覧ください。

1 **デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[インターネット]をクリックする。**

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

ヒント

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されないときは
接続のための設定が終わったあとは[スタート]ボタンをクリックして[インターネット]をクリックすると、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動するようになります。もう1度「新しい接続ウィザード」を表示させたいときは、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]の順にポインタを合わせ、[新しい接続ウィザード]をクリックします。

2 **[次へ]をクリックする。**

3 **[インターネットに接続する]の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。**

①ここをクリックする。

②ここをクリックする。

「準備」画面が表示されます。

4 **[接続を手動でセットアップする]の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。**

「インターネット接続」画面が表示されます。

ヒント

Windows XPアップグレードサービスをご利用の場合など、すでにプロバイダのインターネットサーバーに接続したことがあるときは、[インターネットサービスプロバイダ（ISP）の一覧から選択する]の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックしてください。そのあとは、画面の指示に従って操作してください。

5 **[ダイヤルアップ モデムを使用して接続する]の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。**

6 **「ISP名」（ダイヤルアップ接続名）を入力し、[次へ]をクリックする。**

チェックシートの(1)ダイヤルアップ接続名を入力する。

ここをクリックする。

7 アクセスポイントの電話番号を入力し、[次へ]をクリックする。

チェックシートの(2)電話番号
(アクセスポイント)を入力する。

ここをクリックする。

8 ユーザー名とパスワードを入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、[次へ]をクリックする。

チェックシートの
(3)ユーザー名
(PPP)を入力する。

チェックシートの
(4)パスワード
(PPP)を入力する。

チェックシートの
(4)パスワード
(PPP)を再度入力する。

ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

ヒント
「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「＊」で表示されます。

9 [完了]をクリックする。

「新しい接続ウィザード」が終了します。

ヒント
「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。

10 [スタート]ボタンをクリックして[コントロールパネル]をクリックする。

ヒント
手順11および12の「コントロールパネル」画面での操作はお買い上げ時の状態のものです。

11 [プリンタとその他のハードウェア]をクリックする。

「プリンタとその他のハードウェア」画面が表示されます。

12 [電話とモデムのオプション]をクリックする。

13 設定されている所在地をクリックして選び、[編集]をクリックする。

ここをクリックして選ぶ。

ここをクリックする。

ヒント
該当する所在地がないときは[新規]をクリックしてください。「新しい所在地」画面が表示されます。

14 各項目を次のように設定し、[OK]をクリックする。

チェックシートの(5)市外局番。
ダイヤル元の市外局番を半角の数字で入力する。

ここをクリックする。

外線発信番号が
必要な場合は
「0」と入力する。

チェックシートの(6)トーン／パルス
(電話回線の種類)を選ぶ。

15 「電話とモデムのオプション」画面の[OK]をクリックする。

16 [スタート]ボタンをクリックして[接続]にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックする。

ヒント
以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます(お買い上げ時のウィンドウの設定の場合)。
[スタート]ボタンをクリックして[コントロールパネル]をクリックする。表示された「コントロールパネル」画面で[ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。表示された「ネットワークとインターネット接続」画面で[ネットワーク接続]アイコンをクリックする。

17 ダイヤルアップ接続名(チェックシートの(1))のアイコンをダブルクリックする。

So-netの例では[So-net]をダブルクリックします。

ここをダブルクリックする。

「So-netへ接続」画面が表示されます。

ヒント
手順9で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。これをダブルクリックして、手順18に進むこともできます。

18 [プロパティ]をクリックする。

19 [ダイヤル情報を使う]の □ をクリックして ☑ にし、[ダイヤル情報]をクリックする。

①ここをクリックする。　②ここをクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

20 複数の所在地があるときは、「所在地」から設定されている所在地をクリックして選ぶ。

21 「電話とモデムのオプション」画面の[OK]をクリックする。

手順22〜25は、チェックシートに(7)DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)および(8)別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)を記入した場合(プロバイダから郵送されてきた資料にDNSサーバーアドレスが記入されている場合)のみ操作を行ってください。

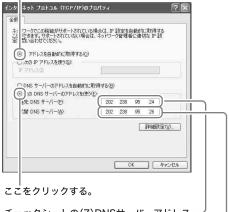
22 [ネットワーク]タブをクリックする。

ここをクリックする。

23 「この接続は次の項目を使用します」で[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をチェックして、[プロパティ]をクリックする。

24 各項目を以下のように設定する。

- [IPアドレスを自動的に取得する]をクリックする。
- [次のDNSサーバーのアドレスを使う]をクリックし、DNSサーバーアドレスを入力する。

ここをクリックする。

ここをクリックする。

チェックシートの(7)DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)を入力する。

チェックシートの(8)別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)を入力する。

ヒント

「(7)DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)」と「(8)別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)」は同じ場合があります。このときは「代替DNSサーバー」には入力する必要はありません。

25 [OK]をクリックする。

「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面が閉じます。

26 「So-netプロパティ」画面で[OK]をクリックする。

「So-netプロパティ」画面が閉じます。

27 「So-netへ接続」画面で[キャンセル]をクリックする。

「So-netへ接続」画面が閉じます。

これで一般電話回線でインターネットに接続のための設定は終わりです。

インターネットに接続する（一般電話回線の場合）＜モデム搭載モデルのみ＞

契約したプロバイダのインターネットサーバーに一般電話回線を使用して接続するには（モデム搭載モデルのみ）、以下の手順に従って操作してください。

ヒント

インターネットサーバーとは

常時インターネットに接続され、アクセス可能なコンピュータのことです。
ホームページ・サーバー、メールサーバーなどがあります。

> **！ご注意**
> **ADSLでの設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。**
> 各プロバイダのお問い合わせ先については「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISPサインアップ」（198ページ）をご覧ください。

1 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[接続]にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

ヒント

以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます（お買い上げ時のウィンドウの設定の場合）。
[スタート]ボタンをクリックして[コントロールパネル]をクリックする。表示された「コントロールパネル」画面で[ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。表示された「ネットワークとインターネット接続」画面で[ネットワーク接続]アイコンをクリックする。

2 ダイヤルアップ接続（チェックシートの(1)）のアイコンをダブルクリックする。

So-netの例では[So-net]をダブルクリックします。

ヒント

「接続のための設定をする」の手順9（81ページ）で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。これをダブルクリックして、手順3に進むこともできます。

3 「So-netへ接続」画面の各項目を入力または確認する。

① パスワード（チェックシートの(4)）を入力する。

チェックシートの (4) パスワード (PPP) を入力する。

！ご注意

「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」の ☐ をクリックして ☑ に、「このユーザーのみ」の ○ をクリックして ◉ にすると、次回からパスワードを入力する手間が省けます。「このコンピュータを使うすべてのユーザー」の ○ をクリックして ◉ にすると、他人に勝手にインターネットに接続されるおそれがありますのでご注意ください。

ヒント

- 「パスワード」（チェックシートの(4)パスワード(PPP)）は「＊」で表示されます。
- 「パスワード」の入力欄は、「電子メールソフトウェアの設定をする」の手順5（87ページ）で「パスワードを保存する」の ☐ をクリックして ☑ にすると、入力された状態で表示されます。

② ユーザー名（チェックシートの(3)）が正しいか確認する。

ここを確認する。

③ [ダイヤル]をクリックする。

プロバイダのインターネットサーバーに接続します。
「(ダイヤルアップ接続名)は現在接続しています。」画面が表示されたときは、[OK]をクリックします。
[OK]をクリックする前に[今後、このメッセージを表示しない]をチェックしておけば、次回からこの画面は表示されません。

デスクトップ画面右下の通知領域には が表示されます。

これで、接続は完了です。
インターネットに接続しているときは、常にデスクトップ画面右下の通知領域に が表示されます。

ホームページを見る方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「インターネット／ネットワーク」の[インターネット／電子メール]→「インターネット／電子メールを使う」の[ホームページを見る]の順にクリックする。)
電子メールをやりとりするには、「電子メールをやりとりする」(88ページ)をご覧ください。
接続できなかった場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([Q&Aで調べる]→「インターネット／ネットワーク」の「インターネット接続」の項目をクリックする。)

接続を切断する ＜モデム搭載モデルのみ＞

一般電話回線やISDNなどで、プロバイダと契約した内容によっては、インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも通話料やプロバイダへの接続料金がかかることがあります。また「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアや「Outlook Express」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。操作を行わないときや操作が終わったあとなどは、インターネットの接続を切断してください。
接続を切断するには、以下の3つの方法があります。

- デスクトップ画面右下の通知領域の を右クリックして表示されるメニューから[切断]をクリックする。
- デスクトップ画面右下の通知領域の をダブルクリックして表示される「自動切断」画面で[今すぐ切断する]をクリックする。
- 通信用ソフトウェアで、通信を終了するコマンドを実行する。

ヒント

- 電子メールを書いているときや電子メールを受け取ったあとに読むときは、インターネットの接続を切断しておけば接続料金はかかりません(オフライン作業)。
- ワイヤレスLAN機能などを同時に使用していると、デスクトップ画面右下の通知領域に が複数表示されます。
アイコンにポインタを当てて接続しているアイコン名を確認してから切断してください。
- ADSLやCATVインターネットについては、基本的に常時接続となりますので、特に接続を切断しなくても問題ありません。

電子メールソフトウェアの設定をする

電子メールのやりとりを正しく行えるようにするための設定を行います。
「チェックシートを作成する」(74ページ)で作成したチェックシートをご覧になりながら各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。以下の手順に従って操作してください。
ここでは、本機に付属の電子メールソフトウェア「Outlook Express」を例に電子メールをやりとりするための設定をしていきます。

ヒント
「Outlook Express」ソフトウェアの設定は1度行えば、2回目以降の起動時には不要です。

1 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Outlook Express]をクリックする。

インターネット接続ウィザードの「名前」画面が表示されます。

ヒント

- お使いの機種によっては、「名前」画面とは違う画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作し、手順2の画面まで進んでください。
- 電子メールソフトウェアの設定が終わったあとは、手順1を行うと、「Outlook Express」ソフトウェアが起動するようになります。電子メールのアカウントを追加するなど、もう1度「インターネット接続ウィザード」を表示させたいときは、「Outlook Express」ソフトウェアを起動時に、画面上部の[ツール]をクリックして[アカウント]をクリックします。表示される「インターネットアカウント」画面で[追加]→[メール]の順にクリックします。

2 表示したい名前を入力し、[次へ]をクリックする。

チェックシートの (9) 表示名 (差出人フィールドでの表示) を入力する。

ここをクリックする。

「インターネット電子メールアドレス」画面が表示されます。

3 電子メールアドレスを入力して、[次へ]をクリックする。

4 受信メールサーバーと送信メールサーバーの名前を入力し、[次へ]をクリックする。

チェックシートの (11) 受信メール (POP3、IMAPまたはHTTP) サーバーを入力する。

通常「POP3」を選ぶ。

ここをクリックする。

チェックシートの (12) 送信メール (SMTP) サーバーを入力する。

ヒント
「(11)受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー」の名前と「(12)送信メール(SMTP)サーバー」の名前は同じ場合があります。

5 アカウント名とパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

チェックシートの(13)POPアカウント名を入力する。

チェックシートの(14)パスワード
(POPアカウントパスワード)を入力する。

ここをクリックする。

「設定完了」画面が表示されます。

ヒント

- 「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「＊」で表示されます。
- 「パスワードを保存する」の □ をクリックして ☑ にすると、実際にインターネットに接続するときの「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面(84ページ)でパスワードを入力する手間が省けます。しかし、他人に勝手にインターネットに接続されるおそれがありますのでご注意ください。

6 [完了]をクリックする。

自動的に「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

!ご注意

[完了]をクリックしたあと、その他の画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作してください。

ヒント

「Outlook Express」ソフトウェアで作成したメッセージは初期設定でHTML形式になります。
HTML形式に対応していない電子メールソフトウェアを使っている相手にHTML形式のメッセージを送ると、相手側が正しく受け取れないことがあります。メッセージはテキスト形式で送ることをおすすめします。メッセージをテキスト形式で送るように設定するには、以下の手順に従って操作してください。

① 「Outlook Express」画面上部の[ツール]をクリックし、[オプション]をクリックする。
「オプション」画面が表示されます。

② [送信]タブをクリックする。
「送信」画面が表示されます。

③ 「メール送信の形式」で[テキスト形式]の ○ をクリックして ◉ にし、[OK]をクリックする。
送信するメッセージがテキスト形式になります。

電子メールをテキストのみで送りたいときも同様の設定でお使いください。

7 画面右上の ☒ (「閉じる」ボタン)をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

電子メールの設定を変更するには

チェックシートの「(15)インターネットメールアカウント名」は、下記の方法で変更できます。

1 「Outlook Express」画面上部の[ツール]をクリックする。

ツールメニューが表示されます。

2 [アカウント]をクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3 [メール]タブをクリックする。

「メール」画面が表示されます。

4 [プロパティ]をクリックする。

5 「メールアカウント」(「pop.aa2.so-net.ne.jp」と反転表示されている部分)を変更する。

ここでは「Suzuki Ichiro」と入力してみます。

変更したいメールアカウント名を入力する。

6 [OK]をクリックする。

7 名前を変更した場合は、変更されているか確認して[閉じる]をクリックする。

ここが変更されているか確認する。

ここをクリックする。

8 「Outlook Express」画面で右上の ☒ (「閉じる」ボタン)をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。
ここでは、「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

！ご注意
電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接続やソフトウェアの設定によって変わることがあります。

1「Outlook Express」ソフトウェアを起動する

まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

1 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

ヒント
「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」の画面で[キャンセル]をクリックすると、オフライン作業となります。
「オフライン作業」とはインターネットに接続していない状態で「Outlook Express」ソフトウェアを使って電子メールを書いたり、読んだりといった作業をすることです。

2 電子メールを送信する

ためしに自分の電子メールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

1 [メッセージの作成]をクリックする。

ここをクリックする。

ヒント
電子メールを書くときや電子メールを受け取ったあとに読むときは、インターネットに接続していない状態(オフライン作業)の方が接続料金と通話料がかからなくてすみます。

2 メッセージを作成する。

ここでは、メッセージに「世界に広がったソニーVAIO」と入力してみます。
タイトル(件名)は「SONY VAIO」にしましょう。
文字の入力のしかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([できるWindows for VAIO]をクリックする。)

ここに送り先(今回は自分)の電子メールアドレスを入力する。

ここにメッセージのタイトルを入力する。

ここにメッセージの本文を入力する。

3 画面左上の[送信]をクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)に接続中」画面が表示されたら、[接続]をクリックすると、作成した電子メールが送り先に送られます。

!ご注意
オフライン(インターネットに接続していない状態)で[送信]をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」ソフトウェアのツールバーの[送受信]をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

3 電子メールを受信する

手順2で送った自分の電子メールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

1 インターネットに接続した状態で、画面左上の[送受信]をクリックする。

手順2で送った電子メールが届きます。

!ご注意
オフライン(インターネットに接続していない状態)のときは、「オフラインで作業しています。オンラインに切り替えますか?」というメッセージが表示されます。この場合は、[はい]をクリックしてください。

ヒント
- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう(85ページ)。

4 受け取った電子メールを見る

手順3で届いた電子メールを見てみます。

1 [受信トレイ]をクリックする。

受信トレイの中身が表示されます。

2 [SONY VAIO]をクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。

5 送った電子メールを見る

手順 2 で送った電子メールを見てみます。

1 画面左上の[送信済みアイテム]をクリックし、[SONY VAIO]をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。

ここをクリックする。

電子メールをやりとりできなかった場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([Q&Aで調べる]→「インターネット/ネットワーク」の[電子メール]の順にクリックする。)

6 「Outlook Express」ソフトウェアを終了する

最後に「Outlook Express」ソフトウェアを終了します。

1 画面左上の[ファイル]をクリックする。

「ファイル」メニューが表示されます。

2 [終了]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

!ご注意

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも、通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Outlook Express」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。電子メールを読んでいる間など、操作を行わないときや、操作が終わったあとなどは、インターネットへの接続を切断してください(85ページ)。

「Outlook Express」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Outlook Express」のヘルプを見るときは、「Outlook Express」画面上部の[ヘルプ]をクリックしてください。

セキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします（一部の機種には「Norton Internet Security」ソフトウェアはインストールされていません）。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとはコンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、次の「コンピュータウイルスに侵入されると...」に見られるような被害が起きてしまいます。
コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。
ホームページからダウンロードしたファイルや悪意をもった人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルスが潜んでいる場合があります。
不審な電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せずに削除してください。

コンピュータウイルスに侵入されると...

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルが勝手に消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスクの空き容量が急に少なくなる。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについて

本機には、コンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして「Norton Internet Security」ソフトウェアがインストールされています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。

!ご注意

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton Internet Security」ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、下記のシマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

ヒント

ウイルス定義ファイルなどのアップデートについて

本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行してください。なお、「LiveUpdate」を実行するには、インターネットに接続している必要があります。次の手順で「LiveUpdate」を行ってください。

① デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］→［Norton Internet Security］→［Norton Internet Security］をクリックする。

② 表示される画面の、「LiveUpdate」をクリックする。
指示に従って「LiveUpdate」を実行してください。

シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター

ホームページ：http://www.symantecstore.jp/oem/sony/

!ご注意

本センターをご利用いただくためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートをご購入いただくか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。
※ テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。

Windows Updateのご利用について

本機取扱説明書の「Windowsを準備する」（55ページ）の手順に従ってWindowsをセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。
また、［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］→［Windows Update］の順にクリックすると、Windows Updateのホームページが表示されます。こちらでプログラムの更新を確認することもできます。

!ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。

- Windows Update関連情報
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html
- Windows XPサービスパック関連情報
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winxpservice/index.html

ファイアウォール機能について

本機は、出荷時の状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォール機能が有効になっており、ネットワークなどを介した第三者のアクセスを阻止することができます。

!ご注意
ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

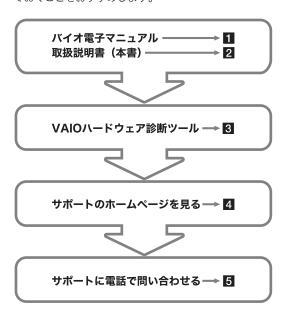
インターネットのセキュリティについて

インターネットに接続してご使用中は、常にセキュリティが守られなくなる可能性や、コンピュータウイルスによる被害などの危険性が潜んでいます。
セキュリティやウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口
電話番号：（0466）30-3016
受付時間： 平日 10:00～20:00
土・日・祝日 10:00～17:00

困ったときは

困ったときは

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次の流れに従ってください。
また、メッセージ等が表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

各ソフトウェアやWindowsの使いかたについては、以下のヘルプもご覧ください。

❑ ソフトウェアのヘルプ

お使いになるソフトウェアを起動して、ヘルプをご覧ください（ヘルプのないソフトウェアもあります）。

❑ Windowsのヘルプ

デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［ヘルプとサポート］をクリックして、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

1 バイオ電子マニュアル

［スタート］→［すべてのプログラム］→［バイオ電子マニュアル］の順にクリックする。

ヒント
VAIOランチャーを起動している場合は、ランチャー内のアイコンをクリックしても「バイオ電子マニュアル」を起動できます。

❑ 故障かな？と思ったときは

［Q&Aで調べる］をクリックして表示される情報から選んでご覧ください。
掲載しているQ&A情報については、「バイオ電子マニュアルQ&A一覧」（95ページ）をご覧ください。

❑ 本機の使いかたがわからないときは

［バイオの使いかた］をクリックして表示される情報をご覧ください。

機能／設定

- 各部の説明
- 設置／拡張
- 電源／起動
- 省電力
- 画面／ディスプレイ
- 音声
- 文字入力／キーボード
- リモコン
- ジョグコントローラー
- BIOS
- ご注意／その他

楽しむ／保存する

- Do VAIOで楽しむ
- テレビ／ビデオ
- デジタル放送
- 映像
- 写真
- 音楽
- “メモリースティック”
- その他のメモリーカード
- フロッピーディスク
- PCカード
- CD／DVDへのデータの保存

インターネット／ネットワーク

- インターネット／電子メール
- ネットワーク（LAN）
- i.LINK
- USB
- プリンタ
- ドライバ

2 取扱説明書（本書）

バイオ電子マニュアルが起動できないときは、本書の下記の項目をご覧ください。

- 電源／起動（99ページ）
- パスワード（102ページ）
- 画面／ディスプレイ（103ページ）
- 文字入力／キーボード（105ページ）
- マウス（106ページ）
- ハードディスク（107ページ）
- テレビ再生／録画（110ページ）
- 外部機器からの録画（117ページ）
- “メモリースティック”（119ページ）
- xD-ピクチャーカード／コンパクトフラッシュ／SDメモリーカード（119ページ）
- フロッピーディスク（119ページ）
- エラーメッセージ（121ページ）

3 VAIOハードウェア診断ツール

「VAIO ハードウェア診断ツール」を使って、CPUやハードディスクなどのハードウェアに故障がないかチェックします。
[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[VAIO ハードウェア診断ツール]→[VAIO ハードウェア診断ツール]の順にクリックして起動できます。

4 サポートのホームページを見る

http://vcl.vaio.sony.co.jp/
VAIOカスタマーリンクホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載しています。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」（129ページ）をご覧ください。

5 サポートに電話で問い合わせる

VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466)30-3000
詳しくは、「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」（145ページ）をご覧ください。
お問い合わせには、「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」が必要です。
詳しくは、「カスタマー登録する」（58ページ）をご覧ください。

バイオ電子マニュアルQ&A一覧

バイオ電子マニュアルに掲載されているQ&A情報は、以下になります。
故障かな？と思ったときにはご参照ください。

[Q&Aで調べる]をクリックして表示される情報から選んでご覧ください。

機能／設定

❑ 電源／起動

- 電源が入らない（本機の⏻（電源）ランプ（緑色）がつかないとき）
- 電源を入れると、本機の⏻（電源）ランプ（緑色）は点灯するが、画面に何も表示されない
- 電源が切れない
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない
- 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示された
- ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった
- Windowsが起動しない
- Windowsの動作状況が不安定になる
- 休止状態やスタンバイに移行できない

❑ パスワード

- 「Windows XP」のユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

❑ 画面／ディスプレイ

- 画面に何も表示されない
- 動画が表示できない
- 画面の色がきれいに表示されない
- 画面が固まって動かない
- 画面が暗い
- 画像が乱れる
- 動画がなめらかに表示されない
- 画面上にウィンドウやアイコンの軌跡が残る
- 画面に輝点・滅点（黒点）がある
- Windowsの文字サイズを大きくしたい
- 2台目のディスプレイのつなぎかたがわからない
- ディスプレイまたはテレビに何も表示されない
- ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい
- マルチモニタの方法がわからない
- マルチモニタ表示時に動画が2分割された表示になる

- DVI-Dコネクタに接続したディスプレイに正しく表示されない
- ディスプレイの設定を変更するとき、nViewディスプレイ設定の設定項目がグレイアウトされる

❑ 音声

- 音が出ない
- ヘッドホンを取り付けたときに、ヘッドホンから音が聞こえない
- Do VAIOで音声が出力されない
- 映像や音声の再生時に音とびがする
- 本機前面のコネクタにヘッドホンやスピーカーを接続したときに、マルチチャンネルソースの音の一部しか聞こえない
- Do VAIOでテレビ番組を見ているときに、フロントスピーカー以外から音が出ない
- 「SonicStage Mastering Studio」ソフトウェアの入力選択で[LINE IN]を選択しても接続した機器からの録音ができない

❑ 文字入力／キーボード

- 文字の入力方法がわからない
- 入力できない記号や文字がある
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない
- IMEの言語バーが表示されない
- 入力した文字が表示されない
- ショートカットキーの使いかたがわからない

❑ マウス

- マウスがマウスパッドの端まで来てしまい、ポインタを動かせない
- マウスを動かしてもポインタが動かない
- マウスでスクロールできない
- マウスを動かしてもカーソルが動かない
- ポインタが飛んだり、動きが遅い

❑ リモコン

- リモコンで操作できない
- テレビを操作できない
- Do VAIOを操作できない

❑ ハードディスク

- 誤ってハードディスクを初期化してしまった
- ハードディスクの内容を誤って消してしまった
- ハードディスクから起動できない
- ハードディスクの空き容量を知りたい
- ハードディスクの空き容量が少なくなった
- ハードディスクから異音がする
- Ctrl＋Iを押しても「RAID option ROM ステータス」画面が表示されない
- RAID 1ボリュームの再構築やRAID 0あるいはRAID 1ボリュームへのマイグレーション処理(移行処理)に失敗してしまった
- RAID構成のマイグレーション処理(移行処理)に時間がかかる

楽しむ／保存する

❑ テレビ再生／録画

- Do VAIOが起動できない
- テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない
- Do VAIOでテレビの音声が出力されない
- 画面の色がきれいに表示されない
- 番組を予約録画できない
- 最初の部分が録画されていない
- エラーメッセージが表示され、終了、スタインバイ、休止などの操作ができない
- 録画時に「コピー防止信号のため録画できません」というメッセージが表示され録画ができない
- 視聴時と再生時の音量が違う
- i.LINKコネクタに映像が出力されている
- 録画した映像がコマ落ちしている、または正常に再生できない
- Do VAIOでテレビ番組を見ているときに、フロントスピーカー以外から音が出ない
- Do VAIOでテレビやビデオを再生するときに、「映像表示ハードウェアがほかのプログラムで使用されているため、テレビの視聴およびビデオの再生ができません。」というメッセージが表示され、再生できない
- 複数のディスプレイに出力して使用していると、Do VAIOでテレビやビデオを再生するときに、ディスプレイに表示されたテレビやビデオの映像に黒い四角が表示される

❑ 外部機器からの録画

- アナログ機器(VHSなど)からの映像を録画する方法がわからない
- DV(デジタルビデオ)機器の映像を録画する方法がわからない
- Do VAIOや「DVgate Plus」ソフトウェアなどの動画を扱うソフトウェアの起動時にエラーメッセージが表示されて起動できない
- 外部機器から映像の録画を実行しても何も録画されない
- 「Click to DVD」ソフトウェアでアナログ入力ができない
- デジタル録画時に機器選択できない
- HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう

- HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

❑ CD／DVDディスク

CD／DVDの再生

- CD-ROMが再生されない、または音楽CDの再生時、ノイズが聞こえたり、音がとぎれる
- 音楽CDやDVDの再生時に音声や映像が正常に再生されない
- 著作権保護技術付き音楽ディスク（コピーコントロールCDなど）が再生・録音できない
- DVDが再生できない。または再生時に画像や音がとぎれる
- ディスクが取り出せない
- 再生音量が小さい
- 他のコンピュータで作成したCD-RやCD-RWが読めない

CD／DVDの作成

- 著作権保護技術付き音楽ディスク（コピーコントロールCDなど）が再生・録音できない
- CD／DVDへの書き込み方法がわからない
- DVDビデオの作成方法がわからない
- DVDライタブルメディアに書き込めない
- ディスクに書き込めない、書き込み中にエラーが発生する
- CD-Rに書き込めない
- CD-RWを使用して作成した音楽CDがCDプレーヤーで再生できない
- DVD-R／DVD-RWへの書き込みに時間がかかる
- DVD+R DLへの書き込みに時間がかかる
- 「Click to DVD」ソフトウェアで作成したDVDの動画が正常に再生できない
- Windowsの機能を使ってDVD-RAMに書き込めない

❑ “メモリースティック”

- 「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」というメッセージが表示された
- “メモリースティック”のフォーマットをしたい
- “メモリースティック”の使いかたがわからない
- “メモリースティック”にデータを保存したい
- 本機前面の中央にあるふた（前面カバー）がきちんと閉まらない

❑ xD-ピクチャーカード／コンパクトフラッシュ／SDメモリーカード

- xD-ピクチャーカードが使用できない
- SDメモリーカードに書き込みができない
- 本機前面の中央にあるふた（前面カバー）がきちんと閉まらない

❑ フロッピーディスク

- フロッピーディスクが取り出せない
- フロッピーディスクを初期化しようとしたができない
- フロッピーディスクにアクセスできない
- フロッピーディスクを認識しない
- フロッピーディスクにデータを保存したい
- 本機前面の中央にあるふた（前面カバー）がきちんと閉まらない

❑ PCカード

- PCカードが使えない

❑ ソフトウェア

- ソフトウェアの使いかたがわからない
- ソフトウェアを終了した、または電源を切ったら、データが消えた
- ソフトウェアの動作が遅い
- ソフトウェアのインストール方法がわからない
- ジョグコントローラーでソフトウェアを操作できない
- 「Click to DVD」ソフトウェアで作成したDVDの動画が正常に再生できない
- Microsoft Office（Excel／Outlook／Word他）が見つからない
- Microsoft Officeのライセンス認証のしかたがわからない
- 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して［OK］をクリックしてください。」というメッセージが表示される
- 「Could not find Acrobat External Window Handler. An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない
- 「Adobe Premiere Pro 1.5／Adobe Premiere Standard」ソフトウェアのオーディオ出力が本機に接続したスピーカーからは出力されない

インターネット／ネットワーク

❑ インターネット接続

ダイヤルアップ

- モデムがダイヤルしていない（はじめてダイヤルする場合）
- モデムがダイヤルしていない（今までできていたのにできなくなった場合）
- モデムはダイヤルしているが、接続できない（接続の動作（ネゴシエーション）が始まらない場合）
- モデムはダイヤルしているが接続できない（接続の動作（ネゴシエーション）はするが接続できない場合）

ADSL

- ADSLでインターネットに接続できない
- ADSL接続のネットワーク(LAN)コネクタの接続方法がわからない
- ADSL接続のために、ネットワーク(LAN)拡張ボードの増設は必要ですか

ネットワーク(LAN)

- ネットワーク(LAN)に接続できない
- VAIO Mediaのサーバーが見つからない

❑ インターネット閲覧

- 接続するが通信速度が遅い
- ダイヤルアップでインターネットに接続できなくなった
- ADSL接続中に突然つながらなくなった
- ホームページを見ることができない
- ホームページが文字化けしている
- ホームページの文字サイズを大きくしたい

❑ 電子メール

- 電子メールをやりとりできない
- 「Norton Internet Security」ソフトウェアのエラーメッセージが表示され、電子メールが送信できない
- 電子メールが文字化けしている
- 電子メールに添付されているファイルが開けない

❑ i.LINK/DV機器

- DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される
- 本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される
- 「DVgate Plus」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器に映像を録画できない
- 「DVgate Plus」ソフトウェアを使用してテープに録画中、「録画に失敗しました」などのメッセージが表示される
- 「DVgate Plus」ソフトウェアを使用中にフレーム落ちが生じる
- i.LINK接続したバイオどうしで通信できない

❑ プリンタ

- プリンタで印刷できない
- プリンタで印刷できない(今までできていたのにできなくなった場合)

その他

❑ カスタマー登録

- オンラインでカスタマー登録できない
- 「無効な日時が入力されています。」と表示され、オンラインカスタマー登録ができない

❑ エラーメッセージ

電源投入時のエラーメッセージ

- No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.
- Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.
- NTLDR is missing. Press any key to restart.
- Operating System not found
- CMOS Checksum Bad

フロッピーディスクのエラーメッセージ

- ディスクがいっぱいになりました。

その他のエラーメッセージ

- 無効な日時が入力されています。
- Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。
- Could not find Acrobat External Window Handler. An internal error has occurred.

よくあるトラブルと解決方法

ここでは、よくあるトラブルと解決方法についての一部をご紹介します。
これ以外にも、「バイオ電子マニュアル」には、さらに多くのQ&Aが記載されています。
あわせてご覧ください。([Q&Aで調べる]をクリックする。)

電源／起動

Q 電源が入らない(本機の⏻(電源)ランプ(緑色)がつかないとき)

次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 本機の電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。

接続について詳しくは、「接続する」(51ページ)をご覧ください。

A すべてのケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

接続について詳しくは、「接続する」(34ページ)をご覧ください。

A スイッチ付きテーブルタップなどに本機の電源コードをつないでいるときは、スイッチが入っているかどうか、また、テーブルタップのコードが壁の電源コンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。

A 本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、電源を入れてください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源を入れると、本機の⏻(電源)ランプ(緑色)は点灯するが、画面に何も表示されない

A ディスプレイの電源が入っているか確認してください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の ⏻(電源)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(電源)ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻(電源)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(電源)ランプが消灯するのを確認したあと、本機に接続されているケーブルをすべてはずし、5分以上たってから再び接続し、再度電源を入れ直す。

Q 電源が切れない

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A キーボードが正しく接続されているか確認してください。

接続について詳しくは、「接続する」(37ページ)をご覧ください。

A 使用中のソフトウェアをすべて終了してから、再び電源を切る操作をしてください。

A PCカードをお使いの場合は、PCカードを取り出してから、再び電源を切る操作をしてください。

A プリンタやUSB機器などの周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。

Windowsは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。

A 新しくインストールしたソフトウェアやデータ、その操作などを確認してください。

A 「スタート」メニューの[終了オプション]を選んでも「コンピュータの電源を切る」画面が表示されない場合は、Altキーを押しながらF4キーを数回押して「コンピュータの電源を切る」画面を表示させ、[電源を切る]をクリックしてください。

A 画面が固まったり、動かなくなった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されたら、[シャットダウン]メニューから[コンピュータの電源を切る]をクリックしてください。

詳しくは、「画面が固まって動かない」(103ページ)をご覧ください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。

② それでも電源が切れない場合は、本機の⏻(電源)ボタンを4秒以上押したままにして、⏻(電源)ランプが消灯するか確認する。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System not found」と表示される場合、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください(191ページ)。

A 「CMOS Checksum Bad」と表示される場合、本機内のバッテリが消耗しているため、バッテリを交換する必要があります。

バッテリの交換については、VAIOカスタマーリンク修理窓口へお問い合わせください。

A 「CMOS Checksum Error」と表示される場合、BIOSの設定内容が壊れている可能性があります。

次の手順でBIOSをお買い上げ時の設定に戻してください。

① 本機の⏻(電源)ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。
BIOSセットアップメニューが起動し、「BIOS SETUP UTILITY」画面が表示されます。

② F5キーを押す。
「Load Setup Defaults」というメッセージが表示されます。

③ ←または→キーを押して[Ok]を選び、Enterキーを押す。
すべての設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

④ F10(Save and Exit)キーを押す。
「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。

⑤ ←または→キーを押して[Ok]を選び、Enterキーを押す。
変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windows XPが起動します。

Q 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックしてください。」というメッセージが表示された

A 本機の設定を変更したあとに表示されることがあります。次の操作を行ってください。リカバリディスクをディスクドライブに挿入しないでください。

① メッセージが表示されたら［OK］をクリックする。
「ファイルのコピー」画面が表示されます。

② 「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥I386」と入力して［OK］をクリックする。
必要なファイルがコピーされます。

Q ドライバをインストール、バージョンアップしたらWindowsが起動しなくなった

A 次の手順に従ってSafe（セーフ）モードで起動し、ドライバを再インストールしてください。

① 本機の⏻（電源）ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF8キーを押す。

② 「Windows拡張オプションメニュー」が表示されたら、↑／PgUpキーまたは↓／PgDnキーを押して［セーフモード］を選択し、Enterキーを押す。

③ Windowsが起動したら、［スタート］ボタンをクリックし、「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］→［システム］の順にクリックして表示される画面の［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックする。

④ 「デバイスマネージャ」画面で、インストールやアップデートをしたデバイスを選択し、右クリックすると表示されるリストの［プロパティ］をクリックしてプロパティ画面を表示し、［ドライバ］タブをクリックする。

⑤ ［ドライバのロールバック］をクリックし、正常に起動していたときのドライバをインストールする。

⑥ 本機を通常の起動方法で再起動する。

Q Windowsが起動しない

A RAIDボリュームとRAIDを構成していないドライブ（ボリューム）がシステム内に混在するときは、起動しない場合があります。

このときは、以下の手順に従ってBoot Volumeの設定を変更してください。

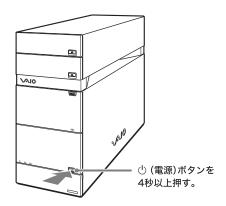
① 本機の⏻（電源）ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。
BIOSセットアップメニューが起動し、Main（メイン）メニュー画面が表示されます。

！ご注意
本機の状態によっては、F2キーを押したあと、ただちにBIOSセットアップメニューが起動しないことがあります。

② Bootメニュー内の［Hard Disk Drives］で、Port（ポート）番号が最も若いドライブが属するボリュームを優先する設定（1st Drive）に設定する。

Q Windowsの動作状況が不安定になる

A 使用中のソフトウェアを終了して、本機を再起動してください。

再起動できない場合は、本機の⏻(電源)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると⏻(電源)ランプが消灯します。⏻(電源)ランプが消灯せず、オレンジ色に点灯(スタンバイモード時)した場合は、いったん手を離し、再び⏻(電源)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この操作を行うと作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 休止状態やスタンバイに移行できない

A Do VAIOの起動中は、タイマーでの休止状態、スタンバイへの移行はできません。

録画中や予約録画開始数分前、DVD作成中、時刻修正機能が働いているときは、手動でも休止状態、スタンバイには移行できません。

パスワード

Q 「Windows XP」のユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

A 「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が他にいない場合、「Administrator(ユーザー名)」のパスワードを設定していなければ、WindowsをSafeモードで起動して「Administrator(ユーザー名)」でログオンすれば、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを変更できます。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない

A 次の点をお確かめください。

- 本機とディスプレイの電源コードがしっかり電源コンセントに差し込まれているか確認してください。
  接続について詳しくは、「接続する」(34ページ)をご覧ください。
- 本機とディスプレイを正しく接続してください。
  接続について詳しくは、「接続する」(34ページ)をご覧ください。
- 本機とディスプレイの電源スイッチが入っているか確認してください。
- ディスプレイにACアダプタが付属しているモデルをお使いの場合は、ディスプレイに付属のACアダプタを接続しているか確認してください。付属のACアダプタ以外で接続していると、正常に画面が表示されないことがあります。
- 電源が入った状態でディスプレイケーブルのプラグを抜き差しした場合は、いったん本機の電源を切ってから、再起動してください。

Q 画面の色がきれいに表示されない

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。

[スタート]ボタンをクリックし、[終了オプション]→[電源を切る]の順にクリックして電源を切り、本機の⏻(電源)ボタンを押して起動し直してください。

Q 画面が固まって動かない

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。
「Windowsタスクマネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② 「Windowsタスクマネージャ」画面の[シャットダウン]メニューから[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻(電源)ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻(電源)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると⏻(電源)ランプが消灯します。⏻(電源)ランプ(オレンジ色)が点灯した場合は、いったん手を離し、再び⏻(電源)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

！ご注意
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面が暗い

A ディスプレイの明るさを調節してください。

ディスプレイの種類によって、明るさ調節の方法が異なります。

詳しくは、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

Q 画像が乱れる

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、ディスプレイから離してください。

Q 動画がなめらかに表示されない

A VGC-RA73Pを含むNVIDIA(R) GeForce(TM) 6600搭載モデルをお使いの場合は、フルスクリーンビデオ機能を無効にしてください。

それでもなめらかに表示されない場合は、画面の解像度を下げてください。

Q 画面に輝点・滅点(黒点)がある

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

画面上に常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

Q ディスプレイまたはテレビに何も表示されない

A 表示するディスプレイが違う可能性があります。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[画面/ディスプレイ]→「設定」の[表示するディスプレイを選ぶ<VGC-RA73Pを含むNVIDIA(R) GeForce(TM) 6600搭載モデル>]または[表示するディスプレイを選ぶ<VGC-RA53を含むATI RADEON(R) X300搭載モデル>]をクリックする。)

本機に搭載されているグラフィックスボード(グラフィックアクセラレータ)は「主な仕様」(210ページ)または同梱の印刷物でご確認いただけます。

A 表示するディスプレイの設定を確認してください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[画面/ディスプレイ]→「設定」の[表示するディスプレイを選ぶ<VGC-RA73Pを含むNVIDIA(R) GeForce(TM) 6600搭載モデル>]または[表示するディスプレイを選ぶ<VGC-RA53を含むATI RADEON(R) X300搭載モデル>]をクリックする。)

本機に搭載されているグラフィックスボード(グラフィックアクセラレータ)は「主な仕様」(210ページ)または同梱の印刷物でご確認いただけます。

Q ディスプレイの設定を変更するとき、nViewディスプレイ設定の設定項目がグレイアウトされる(VGC-RA73Pを含むNVIDIA(R) GeForce(TM) 6600搭載モデル)

A 一部の動画を再生するソフトウェアの起動時には、設定項目がグレイアウトされ、ディスプレイの設定を変更できないことがあります。

その場合には、いったん動画を再生するソフトウェアを終了させてから変更してください。

文字入力／キーボード

Q 文字の入力方法がわからない

A 「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［できるWindows for VAIO］をクリックする。）

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない

A 数字キーで数字が入力できない場合は、キーボード右上の「Num Lock」ランプが消灯していないかを確認してください。

消灯しているときは、数字キーは矢印キーやコレクションキーと同じ働きをします。NumLkキーを押して、ランプを点灯させてから数字を入力してください。

A キーボードをコネクタから抜き差しすると、キーボードが使用できなくなることがあります。

本機を使用中にキーボードを抜き差ししないでください。

キーボードが使用できなくなったときは、いったん本機の電源を切ってから、再起動してください。

A 入力モードを確認してください。

日本語入力モードと英字入力モードがあります。

言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角|漢字キーで切り換えられます。

A 「Caps Lock」ランプが点灯していないか確認してください。

「Caps Lock」ランプが点灯していると、Shiftキーを押していないときでも大文字が入力されます。

Shiftキー＋Caps Lockキーを押して、「Caps Lock」ランプが消えているのを確認してください。

A キーボードのドライバが正しく設定されているか確認してください。

異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

次の手順で操作してください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックする。

② ［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをクリックする。

③ ［システム］アイコンをクリックする。

④ ［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックする。

⑤ キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード（106/109キー Ctrl+英数）」に設定されているか確認する。

ヒント
キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード（106/109キー Ctrl+英数）」に設定されていない場合は、次の手順で変更してください。

1) キーボードの項目に表示されているキーボード名を右クリックし、[ドライバの更新]をクリックする。
「ハードウェアの更新ウィザード」画面が表示されます。
2) [いいえ、今回は接続しません]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
3) [一覧または特定の場所からインストールする]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
4) [検索しないで、インストールするドライバを選択する]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
5) [互換性のあるハードウェアを表示]をクリックしてチェックをはずし、同じ画面の「製造元」で[（標準キーボード）]が選択されているか確認したあと、「モデル」から[日本語 PS/2 キーボード（106/109キー Ctrl+英数）]を選択し、[次へ]をクリックする。
6) ここで「ドライバの更新警告」画面が表示されますが、[はい]をクリックする。
7) 「ハードウェアの更新ウィザードの完了」画面が表示されるので、[完了]をクリックする。
8) 「システム設定の変更」画面で再起動を促すメッセージが表示されるので、[はい]をクリックして再起動を行う。

マウス

Q マウスがマウスパッドの端まで来てしまい、ポインタを動かせない

A マウスを持ち上げてマウスパッドの中央に戻してください。

Q マウスを動かしてもポインタが動かない

A 本機とマウスが正しく接続されているか確認してください（37ページ）。

A 次の手順で本機の電源を入れ直してください。

① [Windows] キーを押して「スタート」メニューを表示させ、↑キーまたは↓キーを押して[終了オプション]を選んでEnterキーを押す。

② ↑キーまたは↓キーを押して[電源を切る]を選び、Enterキーを押す。

③ 電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻（電源）ボタンを押す。

それでも電源が切れないまたは再起動しない場合は、次の手順で操作してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windowsタスクマネージャ」を表示させる。

② Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[コンピュータの電源を切る]または[再起動]を選び、Enterキーを押す。

A CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどに、ポインタが動かなくなってしまった場合は、本機を再起動してください。

CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、CD-ROMなどのディスクを再生しているソフトウェアを強制的に終わらせ、本機を再起動させてください。

A 「画面が固まって動かない」（103ページ）をご覧ください。

Q マウスでスクロールできない

A ソフトウェアがスクロール機能に対応しているか確認してください。

スクロールの必要のないソフトウェアはスクロールできません。また、ソフトウェアによっては、スクロール機能に対応していないものがあります。

A スクロールしたい画面を前に出してください。

画面のどこかをクリックするか、Altキーと Tabキーを押して目的の画面を前面に出してください。

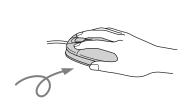
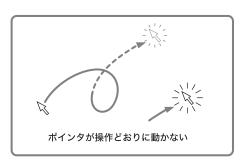
Q マウスを動かしてもカーソルが動かない

A オートスクロール設定になっている場合は、ホイールボタンを押して、オートスクロールの状態を解除してください。

Q ポインタが飛んだり、動きが遅い

A 操作どおりにマウスポインタが動かないときは、光沢のない印刷用紙や、オプティカル(光学式)マウス用マウスパッドなどの上でマウス操作してください。

次の表面では、操作どおりにマウスポインタが動かない場合があります。

- 透明な素材(ガラスなど)
- 光を反射する素材(光沢のあるビニールや鏡など)
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの(雑誌や新聞の写真など)
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの
- 光沢のあるマウスパッドや机など

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。

ハードディスク内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります(178ページ)。

Q ハードディスクの内容を誤って消してしまった

A 削除したファイルが、「ごみ箱」の中に残っていないか確かめてください。

「ごみ箱」の中にない場合は、ファイルを復元できません。

A Windowsが正常に動作しなくなった場合は、本機をリカバリする必要があります(178ページ)。

Q ハードディスクから起動できない

A 次の点をお確かめください。

- フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認する。
  入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。
- ディスクドライブにディスクが入っていないか確認する。
  入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。
- それでも起動できない場合は、本機をリカバリする必要があります（178ページ）。

Q ハードディスクの空き容量を知りたい

A 次の手順で確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［マイコンピュータ］をクリックする。

② 空き容量を知りたいハードディスクのアイコンを右クリックする。

③ ［プロパティ］をクリックする。

ハードディスクのプロパティ画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q ハードディスクの空き容量が少なくなった

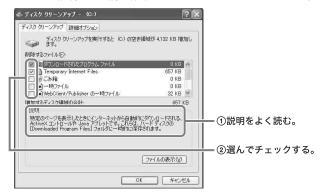
A ディスククリーンアップを行ってください。

Windowsでは、処理を速くするために一時ファイルやバックアップファイルが自動的に作成されるため、ハードディスクの空き容量が減少します。ディスククリーンアップを行うと、一時ファイルなどが削除され、空き容量を増やすことができます。

次の手順でディスククリーンアップを行ってください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］の順にポインタを合わせ、［ディスククリーンアップ］をクリックする。
「ドライブの選択」画面が表示されます。

② ［ローカルディスク（C:）］または［ローカルディスク（D:）］を選択して、［OK］をクリックする。

③ ファイルの説明をよく読み、削除するファイルにチェックをつける。

④ ［OK］をクリックする。
「これらの操作を実行しますか？」というメッセージが表示されます。

⑤ ［はい］をクリックする。
ディスクのクリーンアップが実行されます。

Q ハードディスクから異音がする

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。

これは正常な処理であり、故障ではありません。

ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップ（108ページ）を行ってください。

ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］の順にポインタを合わせ、［ディスクデフラグ］をクリックする。
「ディスクデフラグツール」画面が表示されます。

② ［最適化］をクリックする。
最適化（デフラグ）が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q Ctrl＋Iを押しても「RAID option ROM ステータス」画面が表示されない

A 本機ではCtrl＋Iを押しても「RAID option ROM ステータス」画面は表示されません。

Q RAID 1ボリュームの再構築やRAID 0あるいはRAID 1ボリュームへのマイグレーション処理（移行処理）に失敗してしまった

A RAID 1ボリュームの再構築やRAID 0あるいはRAID 1ボリュームへのマイグレーション処理（移行処理）中はシステムの再起動や、スタンバイ・休止状態への移行などを行わないようにしてください。

ボリュームの再構築処理やマイグレーション処理（移行処理）が正しく行われないことがあります。また、出荷状態では省電力モードの設定がされておりますので、電源オプションのプロパティの電源設定も変更してください。

省電力モードの設定については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「機能／設定」の［省電力］→［省電力モードの設定を変更する］の順にクリックする。）

Q RAID構成のマイグレーション処理（移行処理）に時間がかかる

A RAID 0、またはRAID 1以外のRAID構成へのマイグレーション処理（移行処理）には、非常に時間がかかる場合があります。

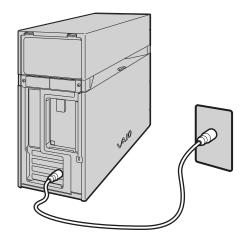
テレビ再生/録画
(VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル)

Q　Do VAIOが起動できない

A 「Do VAIOや「DVgate Plus」ソフトウェアなどの動画を扱うソフトウェアの起動時にエラーメッセージが表示されて起動できない」をご覧ください(117ページ)。

Q　テレビの映像が映らない、チャンネルの映像が映らない

A アンテナ接続ケーブルが本機のVHF/UHF(アンテナ)コネクタと正しく接続されているか確認してください。

アンテナの接続について詳しくは、「接続する」のアンテナ接続手順(43ページ)をご覧ください。

A ご使用のアンテナの受信状況が良好か確認してください。

一般のテレビに接続して受信できるか、分配器を使用している場合は、分岐前のケーブルを接続して受信できるかどうかを確認してください。

アンテナを分配すると電波が弱くなり、映像が正常に表示されないことがあります。この場合は、別売りのアンテナブースターをご使用ください。アンテナの接続について詳しくは、「接続する」のアンテナ接続手順(43ページ)をご覧ください。

A Do VAIOをはじめて使うときに行う「Do VAIOの準備」で、チャンネル一覧が正しく取得できなかった可能性があります。

次の手順に従って設定を変更してください。

!ご注意
「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしてから行ってください。

一部のチャンネルが映らない場合

① [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO 設定]をクリックする。
「設定」画面が表示されます。

② [テレビ・ビデオ(チャンネル設定)]をクリックする。
「チャンネルの設定」画面が表示されます。

③ チャンネルの一覧から映らないチャンネルを選択し、[削除]をクリックする。

④ 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。
選択したチャンネルが一覧から削除されます。

⑤ [追加]をクリックする。
「チャンネルの追加」画面が表示されます。

⑥ 受信チャンネル、チャンネル名、リモコンの数字を設定して、[OK]をクリックする。

ヒント
チャンネル名は、「指定した地域のチャンネル」または「ほかの地域のチャンネル」のリストから選択してください。もしご希望のチャンネルがリストに含まれていない場合には「指定した地域のチャンネル」のリストにチャンネル名を入力することもできます。

[OK]をクリックすると、一覧にチャンネルが追加されます。
映らないチャンネルについて、手順3～6を繰り返し、設定してください。

すべてのチャンネルが映らない場合

① [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタを合わせ、[Do VAIO 設定]をクリックする。
「設定」画面が表示されます。

② [テレビ・ビデオ(チャンネル設定)]をクリックする。
「チャンネルの設定」画面が表示されます。

③ [チャンネル一覧の作り直し]をクリックする。

④ 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。
「Do VAIO の準備」画面が表示されます。

⑤ 本機を使う都道府県および最も近い地域を選択する。

ヒント
[選択した地域の既定のチャンネル一覧]をクリックすると、選択した地域に登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

⑥ [次へ]をクリックする。
チャンネルの自動検出が行われ、「チャンネルの自動検出が完了しました」画面が表示されます。

ヒント
[検出に失敗したチャンネルを削除する]を にすると、画面に表示されているチャンネルが、自動検出に失敗したものも含めてそのまま登録されます。通常は のままにしておくことをおすすめします。

⑦ [検出に失敗したチャンネルを削除する]が になっていることを確認して[完了]をクリックする。

Q Do VAIOでテレビの音声が出力されない

A 「Do VAIO」画面の をクリックし、消音設定を解除してください。

A マスタ音量を確認してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

② [サウンド、音声、およびオーディオデバイス]をクリックする。

③ 画面左側の「関連項目」から、[詳細ボリュームコントロール]をクリックする。
「マスタ音量」画面が表示されます。

④ 「マスタ音量」画面で、「マスタ音量」、「CD プレーヤー」のミュートがチェックされている場合はチェックをはずす。

A USBスピーカーを使用していないか確認してください。

USBスピーカーでは、Do VAIOのテレビ視聴時の音声や外部入力からの映像を視聴しているときの音声は出力されません。

A OPTICAL OUT（光デジタル出力）コネクタに接続していないか確認してください。

OPTICAL OUT（光デジタル出力）コネクタからは、Do VAIOのテレビ視聴時の音声や外部入力からの映像を視聴しているときの音声は出力されません。

Q 画面の色がきれいに表示されない

A Do VAIOでテレビを見たりDVDを再生するときは、ディスプレイの色数を最高(32ビット)に設定してください。その他の設定では画像が正しく表示されない場合があります。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[画面／ディスプレイ]→「設定」の[ディスプレイの設定を変更する＜VGC-RA73Pを含むNVIDIA(R) GeForce(TM) 6600搭載モデル＞]または[ディスプレイの設定を変更する＜VGC-RA53を含むATI RADEON(R) X300搭載モデル＞]をクリックする。)

本機に搭載されているグラフィックスボード(グラフィックアクセラレータ)は「主な仕様」(210ページ)または同梱の印刷物でご確認いただけます。

Q 番組を予約録画できない

A 本機の電源を切った状態では予約録画は実行されません。

スタンバイモード、または休止状態を選択して待機させてください。

Q 最初の部分が録画されていない

A 録画が始まるまでに数秒かかることがあります。

実際に録画するときは、数秒早く (録画)をクリックしてください。

Q エラーメッセージが表示され、終了、スタンバイ、休止などの操作ができない

A 録画中や予約録画開始数分前またはDVD作成中は、終了、スタンバイ、休止はできません。また、手動録画中やDVD作成中はログオフもできません。

録画終了後に再び操作してください。

A 時計修正機能が働いている間は、スタンバイ、休止への移行やWindowsを終了することができません。

時計修正機能は、NHK教育テレビの正午の時報を使用して、本機の時計を修正するアプリケーションです。午前11時55分から、午後12時05分の間に起動します。

Q 録画時に「コピー防止信号のため録画できません」というメッセージが表示され録画ができない

A 著作権保護のための信号が含まれている映像を録画しようとすると、上記のエラーメッセージが表示される場合があります。

放送局側で録画禁止設定が行われている番組など、著作権保護のための信号が含まれた映像を録画することはできません。

著作権保護のための信号が含まれている映像には、次のようなものがあります。

- DVD
- 市販のビデオソフト
- レンタルビデオソフト
- デジタル放送や一部のケーブルテレビなどの映像

A 放送局側で「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は、Do VAIOの設定を変更することで録画が可能になります。

詳しくはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

Q 視聴時と再生時の音量が違う

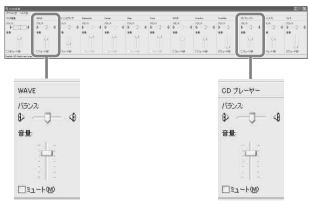
A マスタ音量の設定を変更すると、テレビの視聴時や再生時の音量が変わる場合があります。

以下の手順でお買い上げ時の音量設定に戻してください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

② ［サウンド、音声、およびオーディオデバイス］をクリックする。

③ 画面左側の「関連項目」から［詳細ボリュームコントロール］をクリックする。
「マスタ音量」画面が表示されます。

④ 「マスタ音量」画面で「WAVE」、「CD プレーヤー」の音量スライダと消音設定を図のように調整する。

Q i.LINKコネクタに映像が出力されている（VGC-RA73シリーズのうちデジタル放送録画対応モデル）

A Do VAIOの［設定］メニューの［i.LINK端子へ出力］にチェックマークが付いていると、i.LINKを入力に選択した場合以外、選択されているテレビやアナログビデオの映像がDV変換され、i.LINKコネクタに出力されます。

映像をi.LINKコネクタに出力したくないときは、Do VAIOの［設定］メニューの［i.LINK端子へ出力］のチェックマークをはずしてください。

Q 録画した映像がコマ落ちしている、または正常に再生できない

A 録画中の負荷が高くなりすぎるとコマ落ちすることがあります。

次のことをすると負荷を下げることができます。

- 高画質モードでの追いかけ再生（スリップ再生）や、録画中に他のビデオの再生をしない。
- 録画中は、他のソフトウェアを起動したり使用しない。

A 放送局側で録画禁止設定が行われている番組など、著作権保護のための信号が含まれている映像は、本機で録画できません。

著作権保護のための信号が含まれている映像には、次のようなものがあります。

- DVD
- 市販のビデオソフト
- レンタルビデオソフト
- デジタル放送や一部のケーブルテレビなどの映像

なお、放送局側で「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は、Do VAIOの設定を変更することで録画が可能になります。詳しくはDo VAIOのヘルプをご覧ください。

A 録画保存先のフォルダ(または録画保存先を含むドライブ)を圧縮する設定にしていると、録画が正常に行われなかったり録画した映像がコマ落ちしていることがあります。

次の手順でフォルダ(またはドライブ)の設定を変更してください。

フォルダの設定変更方法

① [スタート]ボタンをクリックして[マイ コンピュータ]をクリックする。

② [ローカル ディスク(D:)]をダブルクリックする。

③「VAIO Entertainment」フォルダを右クリックし[プロパティ]をクリックする。

④「VAIO Entertainmentプロパティ」画面の[全般]タブで[詳細設定]をクリックする。

⑤ [圧縮属性または暗号化属性]の[内容を圧縮してディスク領域を節約する]の ☑ をクリックして ☐ にし、[OK]をクリックする。

ドライブの設定変更方法

① [スタート]ボタンをクリックして[マイ コンピュータ]をクリックする。

② [ローカル ディスク(D:)]を右クリックし、[プロパティ]をクリックする。

③「ローカル ディスク(D:)のプロパティ」画面の[全般]タブで、[ドライブを圧縮してディスク領域を空ける]の ☑ をクリックして ☐ にし、[OK]をクリックする。

ヒント

Do VAIOの「設定」画面で保存先のドライブを変更した場合は、変更先のドライブやフォルダに対して上記の操作を行ってください。

A 「Norton Internet Security」ソフトウェアをお使いの場合は、ビデオの録画が正常に行われない場合があります。

正常に録画を行うためには、「Norton Internet Security」ソフトウェアのウイルススキャンの設定を変更することをおすすめします。

次の手順で操作してください。

① [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Norton Internet Security]の順にポインタを合わせ、[Norton Internet Security]をクリックする。
「Norton Internet Security」ソフトウェアが起動します。

②「Norton Internet Security」画面上部の (オプション)をクリックし、[Norton AntiVirus]を選択する。
「Norton AntiVirus オプション」画面が表示されます。

③「Norton AntiVirus オプション」画面左側の「システム」の[Auto-Protect]をクリックし、[除外]をクリックする。
「Norton AntiVirus オプション」画面右側に、「除外リスト」が表示されます。

④「除外リスト」の「除外する項目」右側の[新規]をクリックする。
除外する項目を追加する画面が表示されます。

⑤「サブフォルダも含める」が ☑ になっているのを確認し、 をクリックする。
「フォルダの参照」画面が表示されます。

⑥ [ローカルディスク(D:)]→[VAIO Entertainment]の順にダブルクリックする。

!ご注意

Do VAIOで録画したビデオの保存先のドライブを変更した場合は、指定したドライブを選択してください。

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
困ったときは
サービス・サポート
その他
注意事項

⑦［OK］をクリックする。
手順4で表示された画面に「D:￥VAIO Entertainment」と表示されます。

⑧［OK］をクリックする。

⑨「除外する項目」に「D:￥VAIO Entertainment」が追加されていることを確認し、［OK］をクリックする。

！ご注意

この設定を行うと、Do VAIOで録画したビデオファイルはウイルスチェックがされなくなりますので、これらのファイルのウイルスチェックを定期的に手動で行ってください。
この設定は、お客様の責任において行ってください。

Q Do VAIOでテレビ番組を見ているときに、フロントスピーカー以外から音が出ない

A Do VAIOでテレビ番組を見ているときは、サラウンドスピーカーにつないでいても音が出るのは2chスピーカーからのみです。

Q Do VAIOでテレビやビデオを再生するときに、「映像表示ハードウェアがほかのプログラムで使用されているため、テレビの視聴およびビデオの再生ができません。」というメッセージが表示され、再生できない（VGC-RA53を含むATI RADEON(R) X300搭載モデル）

A テレビの視聴、ビデオの再生を行うには、映像を表示している他のプログラムを終了してください。

A 映像を表示している他のプログラムがない場合は、Windowsの画面の設定が適切ではない可能性があります。複数のディスプレイに出力して使用している場合は、クローンモードオプションを「シアターモード」か「標準」に設定してください。

設定方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「機能／設定」の［画面／ディスプレイ］→「設定」の［ディスプレイの設定を変更する＜VGC-RA53を含むATI RADEON(R) X300搭載モデル＞］の順にクリックする。

本機に搭載されているグラフィックスボード（グラフィックアクセラレータ）は「主な仕様」（210ページ）または同梱の印刷物でご確認いただけます。

Q 複数のディスプレイに出力して使用していると、Do VAIOでテレビやビデオを再生するときに、ディスプレイに表示されたテレビやビデオの映像に黒い四角が表示される

A フルスクリーンビデオ機能を無効にしてください（VGC-RA73Pを含むNVIDIA(R) GeForce(TM) 6600搭載モデル）。

無効に設定した場合、テレビやビデオはプライマリディスプレイにのみ表示されます。

設定方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「機能／設定」の［画面／ディスプレイ］→「設定」の［ディスプレイの設定を変更する＜VGC-RA73Pを含むNVIDIA(R) GeForce(TM) 6600搭載モデル＞］の順にクリックする。）

本機に搭載されているグラフィックスボード（グラフィックアクセラレータ）は「主な仕様」（210ページ）または同梱の印刷物でご確認いただけます。

A クローンモードのオプションを「標準」に設定してください（VGC-RA53を含むATI RADEON(R) X300搭載モデル）。

「標準」に設定した場合、テレビやビデオはプライマリディスプレイにのみ表示されます。

設定方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［バイオの使いかた］→「機能／設定」の［画面／ディスプレイ］→「設定」の［ディスプレイの設定を変更する＜VGC-RA53を含むATI RADEON(R) X300搭載モデル＞］の順にクリックする。）

本機に搭載されているグラフィックスボード（グラフィックアクセラレータ）は「主な仕様」（210ページ）または同梱の印刷物でご確認いただけます。

A テレビやビデオを表示させたいディスプレイをプライマリに設定してください。

設定方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[画面／ディスプレイ]→「設定」の[表示するディスプレイを選ぶ＜VGC-RA73Pを含むNVIDIA(R) GeForce(TM) 6600搭載モデル＞]または[表示するディスプレイを選ぶ＜VGC-RA53を含むATI RADEON(R) X300搭載モデル＞]をクリックする。）

本機に搭載されているグラフィックスボード（グラフィックアクセラレータ）は「主な仕様」（210ページ）または同梱の印刷物でご確認いただけます。

外部機器からの録画

Q アナログ機器（VHSなど）からの映像を録画する方法がわからない（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）

A Do VAIOで録画できます。

Do VAIOでの録画方法について詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。

また、ビデオデッキとの接続を確認してください。ビデオデッキの接続については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[テレビ／ビデオ]→「接続／準備」の[ビデオデッキやCS･BSチューナーをつなぐ]の順にクリックする。）

Q DV（デジタルビデオ）機器の映像を録画する方法がわからない

A 「DVgate Plus」ソフトウェアで録画できます。

A 「Click to DVD」ソフトウェアを使って、DV機器の映像から直接DVDを作成することもできます。

「Click to DVD」ソフトウェアでのDVDの作成方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[映像]→「DVDを作る」の[撮影した素材からDVDを作る]の順にクリックする。）

Q Do VAIOや「DVgate Plus」ソフトウェアなどの動画を扱うソフトウェアの起動時にエラーメッセージが表示されて起動できない

A ディスプレイの設定を変更している場合は、設定をお買い上げ時の状態に戻してください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「機能／設定」の[画面／ディスプレイ]→「設定」の[ディスプレイの設定を変更する＜VGC-RA73Pを含むNVIDIA(R) GeForce(TM) 6600搭載モデル＞]または[ディスプレイの設定を変更する＜VGC-RA53を含むATI RADEON(R) X300搭載モデル＞]をクリックする。）

本機に搭載されているグラフィックスボード（グラフィックアクセラレータ）は「主な仕様」（210ページ）または同梱の印刷物でご確認いただけます。

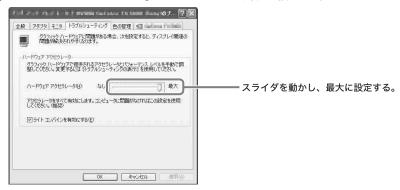
A 次の手順に従って、ハードウェアアクセラレータが「最大」になっているか確認してください。

① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

② [デスクトップの表示とテーマ]→[画面]の順にクリックする。
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

③ [設定]タブをクリックして[詳細設定]をクリックする。
プロパティ画面が表示されます。

④ [トラブルシューティング]タブをクリックする。
「トラブルシューティング」画面が表示されます。

⑤「ハードウェアアクセラレータ」のスライダを動かし、最大に設定する。

⑥［OK］をクリックする。

⑦「画面のプロパティ」画面で［OK］をクリックする。

Q 外部機器から映像の録画を実行しても何も録画されない（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）

A 本機に接続した機器が動作していない場合があります。

ビデオカメラレコーダーやビデオデッキから録画するときは、電源が入っているか、機器と本機が正しく接続されているか確認してください。

A ゲーム機器などの映像は、表示や録画ができない場合があります。

本機と接続したビデオ機器から映像を入力している場合、一時停止したときの画像、映像が入力されていないときの画面（青い画面など）、本機に接続したビデオ機器が表示するメニュー画面などは表示や録画ができないことがあります。

Q 「Click to DVD」ソフトウェアでアナログ入力ができない（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）

A Do VAIOでチャンネル設定を行っていない場合は、チャンネル設定を行ってください（63ページ）。

Q デジタル録画時に機器選択できない（VGC-RA73シリーズのうちデジタル放送録画対応モデル）

A i.LINKケーブルが正しく接続されているか確認してください。

A 「DV-アナログ変換／i.LINK（TS）機能選択ツール」で、「i.LINK（TS）デジタル放送機能」が選ばれているかどうか確認してください。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」→[デジタル放送]→「デジタル放送を楽しむ」の[デジタル放送の録画／再生とDV-アナログ変換の機能を切り換える]の順にクリックする。）

Q HDV機器からキャプチャされたファイルがシーンの途中で分割されてしまう

A シーンの途中に録画の開始点、終了点がないことを確認してください。

A HDV機器のヘッドが汚れています。

クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A オンラインヘルプの「必要なコンピュータの設定 (必ずお読みください)」を行っていない場合は、「DVgate Plus」ソフトウェアのヘルプをご覧になり、コンピュータの設定を確認してください。

Q HDV機器へ出力した映像が途切れたり、乱れたりする

A HDV機器のヘッドが汚れています。

クリーニングテープを使ってHDV機器のヘッドのクリーニングを行ってください。

A オンラインヘルプの「必要なコンピュータの設定 (必ずお読みください)」を行っていない場合は、「DVgate Plus」ソフトウェアのヘルプをご覧になり、コンピュータの設定を確認してください。

“メモリースティック”

Q 本機前面の中央にあるふた(前面カバー)がきちんと閉まらない

A 次の「フロッピーディスク」の項(119ページ)をご覧ください。

xD-ピクチャーカード/コンパクトフラッシュ/SDメモリーカード

Q 本機前面の中央にあるふた(前面カバー)がきちんと閉まらない

A 次の「フロッピーディスク」の項(119ページ)をご覧ください。

フロッピーディスク

Q 本機前面の中央にあるふた(前面カバー)がきちんと閉まらない

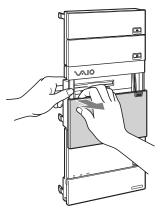
A 本機前面の中央にあるふたを正しい位置に取り付け直します。

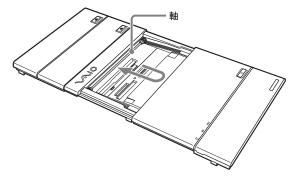
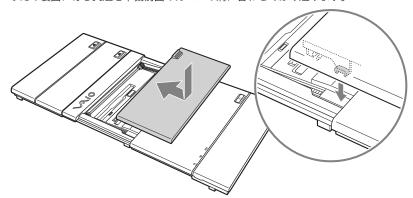
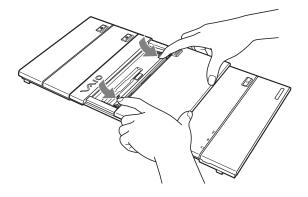
① 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずす。

② 本機前面のカバーを取りはずす。
「IDEデバイスを増設する(VGC-RA53を含む拡張デバイスベイ搭載モデル)」(173ページ)を参考にして、本機前面のカバーを取りはずします。

③ ふたをスライドさせる。
本機前面のカバーを持ったまま、ふたをはずしやすい位置まで下げます。

④ ふたを軸からはずす。
本機前面のカバーを押さえながら、下のイラストのように片側ずつ手前に引き、軸にはめ込まれたふたをはずします。

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
困ったときは
サービス・サポート
その他
注意事項

⑤ ふたを本機前面のカバーからはずす。
ふたの裏面にある突起が本機前面のカバーの溝にはまっているので、ふたを最も下に下げて取りはずします。

⑥ 軸を水平にする。
本機前面のカバーを寝かせ、軸をイラストのように下まで移動させて左右の位置を合わせ、上に移動させてななめになっていないことを確認します。

⑦ ふたを本機前面のカバーの溝にはめ込む。
ふたの裏面にある突起を本機前面のカバーの溝に合わせてはめ込みます。

⑧ ふたを軸にはめ込む。
ふたの下部を親指で押さえながら、軸をふたの裏側に回りこませます。ふたを上げて閉めると、軸がふたにはめ込まれます。

エラーメッセージ

電源投入時のエラーメッセージ

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない

A 100ページをご覧ください。

フロッピーディスクのエラーメッセージ

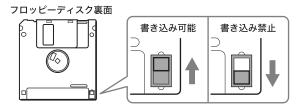
Q フロッピーディスクにデータを保存しようとしたら、メッセージが表示された

A **「ディスクがいっぱいになりました。」というメッセージが表示されたときは、フロッピーディスクの容量の空きがありません。**

容量の空きが充分にある、別のフロッピーディスクを使って、保存し直してください。

A **「このディスクは書き込み禁止になっています。」というメッセージが表示されたときは、タブを動かして書き込み可能にしてください。**

フロッピーディスクは、穴が見える位置にタブをスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。

フロッピーディスク裏面

その他のエラーメッセージ

Q 「無効な日時が入力されています。」と表示され、オンラインカスタマー登録ができない

A **日時が正しく設定されているか確認してください。**

日時の確認をするには、次の手順に従って操作してください。

① [スタート]ボタンをクリックして[コントロールパネル]→[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順にクリックする。
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。

② 「日付と時刻」タブが選ばれているのを確認し、「日付」と「時刻」を現在の日時に合わせる。

③ ［OK］をクリックする。
正しい日時に設定されます。

Q 「Windows XP CD-ROMのラベルの付いたディスクを挿入して［OK］をクリックしてください。」というメッセージが表示される

A 本機の設定を変更したあとに表示されることがあります。

次の操作を行ってください。リカバリディスクをディスクドライブに挿入しないでください。

① メッセージが表示されたら［OK］をクリックする。
「ファイルのコピー」画面が表示されます。

② 「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥I386」と入力して［OK］をクリックする。
必要なファイルがコピーされます。

Q 「Could not find Acrobat External Window Handler.An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない

A 本機を再起動後、以下の手順を行ってください。

① ［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Adobe Reader 6.0］をクリックする。

② 言語を選択する画面が表示されたら、「日本語」を選択し、［OK］をクリックする。
言語を選択する画面が表示されない場合は、そのまま手順3を行ってください。

③ 「エンドユーザ使用許諾契約書」画面が表示されたら、契約書の内容を読み、［同意する］をクリックする。
「エンドユーザ使用許諾契約書」画面が表示されずに「Adobe Reader」ソフトウェアが起動した場合は、そのまま手順4を行ってください。

④ 「Adobe Reader」ソフトウェアが起動したら、画面右上の をクリックする。

⑤ 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアから、先ほど開けなかったPDF形式のファイルを開き、表示されることを確認する。

サービス・サポート

VAIOカスタマー登録について

バイオをご購入いただきましたお客様へは、「VAIOカスタマー登録」をおすすめしております。
登録の手続きについて詳しくは、「カスタマー登録する」(58ページ)をご覧ください。
なお、登録に際してのお客様の個人情報のお取扱いについては「お客様の個人情報のお取扱いについて」(147ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマー登録を行っていただくと…

VAIOカスタマー登録を行っていただきますと以下をご提供します。

- 保証書(有効期間1年間)をお送りします。
  バイオ本体のお買い上げ時に付属する保証書が提供する製品の保証期間は、ご購入日から3か月間有効となっており、登録いただくことで、有効期限1年間の保証書をお送りします。
  なお、この保証書のお届けまでに数週間を要する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 「My Sony ID」(オンラインで登録の場合)または「VAIOカスタマーID」(郵送で登録の場合)を保証書に記してお送りします。
- 電子メールアドレスを登録されたお客様のみを対象として、電子メールによるバイオに関するさまざまな情報をご提供します。
- ご所有の機種に対応したサポート情報をご提供する「マイサポーター」(132ページ)をご利用いただけます。
  - お客様からの個別のご質問をインターネット経由で受け付け、VAIOカスタマーリンクから返信する「テクニカルWebサポート」(https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/)をご利用いただけます。
- VAIOカスタマーリンクホームページにて各種サポート(VAIO e-Support)をご利用できます。
  - VAIOカスタマイズサービス(143ページ)などをホームページ上からお申込みできます。
- バイオの使いかたのご質問や技術的お問い合わせを、VAIOカスタマーリンクがお電話で承ります。なお、お問い合わせには「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」が必要です。
- お客様のサポート履歴を記録し、素早い対応ができます。
  お電話でのお問い合わせの際、自動音声でのご案内時に「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」をお伝えいただくと、ソニーの担当者が過去のサポート履歴をお調べし、それまでのご対応内容を踏まえたサポートをご提供します。

各種IDについて

カスタマー登録を行っていただくと、さまざまなサービスやサポートをご利用いただくためのIDやパスワードを発行いたします。下記の種類があります。
これらのIDは後日郵送でお送りする保証書に記載されています。
なお、オンラインで登録いただいた場合も、郵送で登録いただいた場合も、サービス・サポート内容に違いはありません。

オンラインで登録いただいた場合に発行されるもの

❑ My Sony ID

「ソニー共通体系のお客様ID」です。
ひとつのIDとパスワードで、ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスでのお客様ご本人の認証(ログイン=ご本人様であることの確認)に利用でき、またすでに他のIDをご所有の場合もそれらのIDと「IDリンク(ひも付け)」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
My Sony IDとMy Sony ID用パスワードの文字列はお客様が設定された任意の文字列で取得できます。
このMy Sony IDは、VAIOホームページやソニーグループの各種ホームページなどでご提供するさまざまなサービスをご利用いただくために大切なものです。My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)をご覧ください。

❑ お客様サポート番号

お客様が電話で技術的な質問をVAIOカスタマーリンクにお問い合わせいただく際に必要なもので、お客様固有の番号(16桁)となっています。

郵送で登録いただいた場合に発行されるもの

❑ VAIOカスタマーID

お客様固有の番号（数字13桁）です。
このVAIOカスタマーIDは郵送で登録を行われたお客様向けに発行され、VAIOホームページなどでご提供するさまざまなサービスをご利用いただいたり、お客様が電話で技術的な質問をVAIOカスタマーリンクにお問い合わせいただくために必要です。このVAIOカスタマーIDを、後日、My Sonyホームページで取得いただいたMy Sony IDとIDリンク（ひも付け）することも可能です。

！ご注意

- ご所有の方が変更になった場合は、新たにご所有者となられる方が、新規VAIOカスタマー登録いただければIDやパスワードを記載した用紙をお送りします。なお、その場合は保証書（1年保証書）の発行は行われません。
- 「My Sony ID」「お客様サポート番号」「VAIOカスタマーID」はお客様個人を対象とするものですので、他の方へは譲渡をしないようにお願いします。

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ先

VAIOカスタマー登録や登録内容の変更、送付物についてのお問い合わせは、カスタマー専用デスクにお問い合わせください。
お問い合わせ先については、「VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ」（145ページ）をご覧ください。

「VAIO Update」を利用するには

「VAIO Update」は、ソニーがご提供するお客様への「重要なお知らせ」や「アップデートプログラム」の情報を、定期的にお知らせするソフトウェアです。
ソニーがご提供する情報が更新されると、「VAIO Update」はタスクバーの通知領域からアイコンとバルーンでお知らせします。

！ご注意

- VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」（67ページ）をご覧ください。
- VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。設定は「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示されたときに当バルーンをクリックする、もしくはVAIO Updateを最初に起動したときに設定できます。

！ご注意

ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。

- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号、OSおよびインストールソフトウェアなどの個人情報をサーバーに送信しません。お客様の個人情報を送信することなくサービスをご提供しておりますので、安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためにあり、ここから個人情報への結びつけは行いません。

❑ VAIO Updateバルーン表示画面

❑ VAIO Update画面（上記のバルーン表示をクリックすると表示されます）

①重要なお知らせ

②アップデートプログラム

①重要なお知らせ
セキュリティ関連情報などソニーがお客様へご提供する「重要なお知らせ」を確認することができます。
件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

②アップデートプログラム
お客様がご使用のバイオを最新の状態にできるアップデートプログラムを確認できます。アップデートプログラムには自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。それぞれ、プログラムの左にあるチェックボックスにチェック（複数選択可）を入れ、［アップデート開始］をクリックすることで、アップデートを開始します。
自動アップデートの場合には、ダウンロードとインストールを行います。
手動アップデートの場合には、ダウンロードまで行いますので、ダウンロード後はプログラムの件名をクリックすると表示される内容に従ってインストールしてください。

* アップデートを行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

バイオ内の情報を調べる

本機には、本機の使いかたを簡単に検索できる「バイオ電子マニュアル」が付属しています。「バイオ電子マニュアル」を使って、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。困ったときはまず「バイオ電子マニュアル」を起動してみましょう。
「ヘルプとサポートセンター」では、Windowsのヘルプの検索、サポートツールの実行、最新情報の入手など、おもにWindowsのサポートに関する機能をご利用になれます。
また、Windowsのヘルプ、ソフトウェアに付属しているヘルプを使って解決方法を閲覧することもできます。

更に、「困ったときは」（94ページ）や関連する項目（目次や索引をご利用ください）をご覧ください。

「バイオ電子マニュアル」を見る

「バイオ電子マニュアル」はバイオの使いかた、楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明するソフトウェアです。

［スタート］→［すべてのプログラム］→［バイオ電子マニュアル］の順にクリックする。

❑ 画面の見かた

①

- トップへ戻る
  「バイオ電子マニュアル」を開いたときに、最初に表示される画面に戻ります。
- 戻る　進む
  前に見ていた画面に戻ったり、進んだりできます。
- プリント
  「バイオ電子マニュアル」の情報を印刷することができます。
- −A+ 文字サイズ
  「バイオ電子マニュアル」に表示する文字の大きさを変えることができます。
- 用語集
  コンピュータ用語の説明を見ることができます。

②

- 検索
  質問文を入力して情報を探すことができます。
- 検索オプション
  検索条件を設定したり、あらかじめ用意された質問文例などから質問文を選んで情報を探すことができます。
- 検索のしかた
  検索のしかたを見ることができます。

③

トップ＞バイオの使いかた＞各部の説明

「バイオ電子マニュアル」内での現在位置を知ることができます。また青色の文字をクリックすると該当画面に戻ることもできます。

④

ご覧になりたい内容に応じて下記のボタンをクリックしてください。

- バイオの使いかた
  基本的な使いかたから便利な活用法までを説明しています。
- できるWindows for VAIO
  コンピュータの基礎を学習できます。
- バイオを楽しく学ぶ
  クリックすると「How to VAIO」が起動します。写真や映像、音楽の楽しみかたを学習できます。
- ソフト紹介／問い合わせ先
  付属のソフトウェアをご紹介します。お問い合わせ先や起動方法を調べることもできます。
- Q&Aで調べる
  よくあるトラブルと解決方法を説明しています。トラブルが発生したときは、まずこちらをご覧ください。
- 他の情報で調べる
  Q&Aで解決しない場合はこちらをご覧ください。
- サービスとサポート
  有償サービスなど、安心してお使いいただくための情報をご案内します。

「バイオ電子マニュアル」で検索する

検索機能を使用すると、バイオの使いかたについてわからないことや知りたいこと（バイオにインストールされているOS（Windows）やソフトウェア、ハードウェアなどについて）を調べることができます。
調べたい内容を入力することで、コンピュータ内にあるバイオ電子マニュアルやソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネットに接続している場合はVAIOカスタマーリンクのホームページから最適な解説がすばやく検索できます。

1 「バイオ電子マニュアル」画面左上部にある入力欄に、検索したい内容をキーワード（単語）や質問文で入力する。

バイオ電子マニュアル内の情報を検索する場合は、質問文を入力するとより適切な検索結果が得られます。
また、入力欄に複数のキーワード（単語）をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。
例：「CD 再生」

ここに入力する

2 [検索]をクリックする。

画面左側に検索結果が質問の内容に近い(類似度が高い)ものから順に表示されます。

ホームページの検索結果はここをクリックする

コンピュータ内の検索結果はここをクリックする

[次の20件]をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
[前の20件]をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

画面右側に選んだ文書の内容が表示されます。

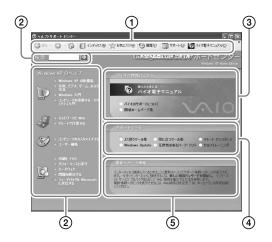
VAIOカスタマーリンクホームページの文書は別画面で表示されます。

ヘルプとサポートセンターを見る

❏ ヘルプとサポートセンターを見るには

1 [スタート]ボタンをクリックして[ヘルプとサポート]を選ぶ。

ヘルプとサポートセンターの初期画面が表示されます。

ヘルプとサポートセンターの初期画面と、各エリアの機能は以下のようになっています。
この初期画面および各機能は、バイオ用にカスタマイズされたものです。
店頭でパッケージ販売されるWindows XP Home Edition/Professionalに標準で搭載されているヘルプとサポートセンターとは異なります。下記はバイオ用にカスタマイズされたWindows XP Home Editionの画面例です。

①ナビゲーションバー

参照ページの戻り、お気に入りへの追加、履歴の参照、バイオ電子マニュアルの起動などこちらから操作できます。

②ヘルプ検索

Windowsに関するヘルプの参照や検索が行えます。

- 分類分けによる参照
- キーワード検索

③バイオに関する情報

バイオに関する情報は、こちらからすべて参照できます。

- バイオ電子マニュアルの起動
- バイオ関連ホームページへのリンク
- VAIOカスタマーリンクへのお問い合わせについて

④サポートツール

困ったときに有効なさまざまなサポートツールをこちらから実行できます。

- よく使われるツール(コントロール パネルやマイコンピュータなど)
- システムの復元ツール
- Windows Update
- ディスクツール
- リモートアシスタンスなど…

⑤最新サポート情報

ネットワークに接続すると、こちらからバイオに関するおすすめ情報などの最新情報を見ることができます。いつもチェックするようにしましょう。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、バイオ電子マニュアルの[ソフト紹介/問い合わせ先]をクリックして表示される内容には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント

ヘルプとは

ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する

本機をインターネットに接続し、VAIOカスタマーリンクホームページをご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページではお客様の疑問や質問を解決するための各種サービスと、バイオに関するサービスやサポート体制についての最新情報を提供しておりますので定期的にご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

!ご注意

本書内の「サービス・サポート」の内容は、2005年1月現在のものです。
サービス・サポートの内容は随時更新されますので、最新の内容はVAIOカスタマーリンクホームページでご確認ください。

ヒント

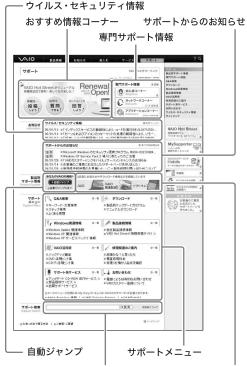
VAIOカスタマーリンクホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。
インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(67ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには

1 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する。

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
困ったときは
サービス・サポート
その他
注意事項

2 ［お気に入り］をクリックして［3.VAIOサポートページ］にポインタを合わせ、［1.サポート（サービス・サポート情報）］をクリックする。

VAIOカスタマーリンクホームページが表示されます。

製品サポート情報

製品別にお知らせやダウンロードなどのサポート情報をまとめた「製品別サポート情報ページ」が用意されています。製品ごとのアップデートプログラムや他社製品の接続情報が掲載されています。お使いの製品のページをウェブブラウザの「お気に入り」などに追加することをおすすめします。

ウイルス・セキュリティ情報

バイオをご使用する際におけるセキュリティ関連の最新のお知らせを掲載しています。インターネットの普及に伴い、ソフトウェアの脆弱性を狙った悪意のある第三者の攻撃や、ウイルスによる被害が増えてきています。バイオを安全にお使いになるために、常にセキュリティ関連の情報をチェックしていただいて必要な対策をとられることを強くおすすめします（専用ページをクリックすることでウイルス・セキュリティ情報をご覧になれます）。

サポートからのお知らせ

お客様への重要なお知らせおよびVAIOカスタマーリンクからの最新のお知らせを掲載しています（すべてのお知らせをクリックすることでその他のお知らせをご覧になれます）。

専門サポート情報

VAIOカスタマーリンクの専門オペレーターと連携して、サポート情報を提供する専門サポートコーナーです。「初心者」、「ネットワーク」、「アプリケーション」の3つの専門分野に特化した情報をご提供しています。

サポートメニュー

メニューごとにインデックスページが用意されています。各メニューにある項目をクリックすることにより、ご覧になりたい項目のページへダイレクトに移動できます（一覧をクリックすることで、すべての項目をご覧になれます）。

サポートページ検索

キーワードによるVAIOカスタマーリンクホームページのサイト内検索が行えます（お客様からいただいたお問い合わせとその回答などについては「Q&A検索」からご利用いただけます）。

おすすめ情報コーナー

VAIOカスタマーリンクよりホットなサポート情報をお知らせいたします。

自動ジャンプ

「自動ジャンプ」ボタンをクリックするだけで、ご所有のバイオの製品別サポート情報ページがご覧になれます。

Q&A検索

Q&A検索では5つの検索機能（キーワード検索・文章検索・製品別検索・ステップ検索・よくある質問）を使い、VAIOカスタマーリンクに寄せられた質問（操作や設定、トラブル解決方法など知りたいこと）に対する回答を検索することができます。

検索タブと製品を選んで検索します。
キーワード検索・文章検索・製品別検索・ステップ検索は製品名を引き継いで検索結果を表示させますので、再度製品名を選択する必要はありません。

製品別サポート情報

製品別サポート情報ページでは、ご所有の製品に関連した「お知らせ」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」などの最新情報をご紹介しています。

専門サポート情報

VAIOカスタマーリンク電話サポートの各専門オペレーターと連携し、「初心者コーナー」、「ネットワークコーナー」、「アプリケーションコーナー」という3つの専門分野に特化したサポート情報をわかりやすくご紹介しています。

初心者コーナー

初心者の方から実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者の方が「知りたい情報」、「知っていると便利な情報」をわかりやすくていねいにご紹介しています。

ネットワークコーナー

ネットワーク専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに「ワイヤレスLANを接続するにはどうしたらいいの？」、「ワイヤレスがつながらない！」などのネットワーク接続に関するさまざまな情報をわかりやすくご紹介しています。

アプリケーションコーナー

アプリケーション専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに、ソニー製ソフトウェアに関する「よくあるお問い合わせ」のご紹介やソニー製ソフトウェアでできることをわかりやすい活用術としてご紹介しています。

用語集

基礎的な用語や最新のキーワードを、初心者の方にもわかりやすく解説しています。

①頭文字をクリック

②リストをクリック

キーワードで探す

❑ **調べかた**

頭文字から探す

①調べたい用語の頭文字をクリックする。

②右上のリストから用語をクリックする。

キーワードで探す

調べたい用語を入力して検索します。

VAIOカスタマーリンク モバイル

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、VAIOカスタマーリンクが提供する携帯電話向けサポートサイトです。「ウイルス･セキュリティ情報」や「よくある質問」といったバイオのサポート情報のほか、「最新製品情報」や「リアルタイムアンケート」などのお楽しみコンテンツも掲載しています。

また、「サポート系コンテンツ」の「修理品状況確認」では、VAIOカスタマーリンクへ直接ご依頼いただいた修理の進み具合もご確認いただけます。詳しい操作方法については、「「修理／お預かり品状況確認」について」（141ページ）をご覧ください。

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、下記のURLに携帯電話からアクセスすることでご利用いただけます。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

（対応端末：i-mode･EZWeb･Vodafone live!）

また、バーコード(QRコード)の読み取りに対応した携帯電話をお使いの場合は、下記のQRコードを読み取ることで、簡単に「VAIOカスタマーリンク モバイル」にアクセスできます。

* QRコードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。

マイサポーターで確認する

「マイサポーター」は、バイオをご所有のお客様ひとりひとりに合わせて、ご所有の機種に対応したサポート情報やご案内を自動的に表示したり、VAIOカスタマーリンクへのコンタクト履歴をご確認いただけるサポートサービスです。

マイサポーター

https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/

* マイサポーターの内容は予告なしに変更する場合があります。

ヒント

- マイサポーターをご利用いただくには、お客様がVAIOカスタマー登録を行われていることが必要です（VAIOカスタマーIDとVAIOカスタマーパスワード、またはMy Sony IDとMy Sony IDパスワードを入力してマイサポーターへログインし、ご利用いただくしくみです）。
- VAIOカスタマー登録については http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer/ をご覧ください。
- マイサポーターにログインできない場合は「マイサポーターに関する最近多いお問い合わせ」をご覧ください。

マイサポーターに関する
最近多いお問い合わせ

❑ マイサポーターでできること

機種の選択　　情報コーナー　　VAIOカスタマーリンクへのご利用履歴

機種の選択

複数の機種をお持ちの場合は、表示させる機種を選択し、対象機種のサービス・サポートをご確認いただけます。

情報コーナーでチェック

情報コーナーでは、お客様ひとりひとりのご所有機種に対応したおすすめのサービス・サポートなどをご案内します。

情報コーナーには「新着情報」、「製品別情報」、「サービス／修理」があります。

- **新着情報**
  更新情報や新着のソリューション（問題解決のQ＆A）をお知らせします。
- **製品別情報**
  ご所有のバイオが対象となる「お知らせ」や「アップデートプログラム」をご案内します。
- **サービス／修理**
  バイオの付属品、リカバリディスク、各種サポートディスクを有償で送付するサービス、または修理のご依頼方法などをご案内します。

ヒント

- お買い上げの機種またはお客様によっては表示されるメニューが異なります。
- お知らせの内容は登録機種に対応して表示されます。

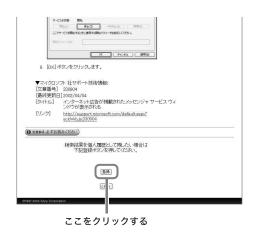
ご利用履歴の確認

お客様のVAIOカスタマーリンクのご利用履歴（テクニカルWebサポート、修理情報）を確認できます。

- **テクニカルWebサポート　ご利用履歴**
  お客様がWebからお問い合わせされた内容とVAIOカスタマーリンクからの回答文の履歴を確認できます（2001年2月以降の履歴を対象とさせていただきます）。
- VAIO**カスタマイズサービス　ご利用履歴**
  メモリの増設など「VAIOカスタマイズサービス」にお申込みいただいたサービスの履歴を確認できます。
- **修理／関連サービス　ご利用履歴**
  VAIOカスタマーリンクに直接修理をご依頼いただいたバイオ本体の修理履歴を確認できます。

Q&A Search結果の登録

お客様が検索されたQ&Aを履歴に登録すると「ご登録済みのQ&A」に保管されます。解決方法の内容を忘れてしまった場合も、あとからもう1度確認するときに便利です。

ここをクリックする

マイサポーターでテクニカルWebサポートを利用する

「テクニカルWebサポート」は、バイオ に関する技術的な質問をマイサポーター内から所定のフォームで入力すれば、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです（質問の内容によっては電話での回答になる場合もございます）。

ヒント

- このサービスをご利用いただくには、VAIOカスタマーIDまたは、My Sony IDが必要です。
  カスタマー登録について詳しくは「VAIOカスタマー登録について」（124ページ）をご覧ください。
- マイサポーターにログインできない場合は、「マイサポーターに関する最近多いお問い合わせ」（133ページ）をご覧ください。

❑「テクニカルWebサポート」で新規にお問い合わせをする場合

1 マイサポーターにログインする。

必要な事項を入力し
［ログイン］をクリックする

2 ［Webによるお問い合わせ「テクニカルWebサポート」］をクリックする。

ここをクリックする

3 ［新規のお問い合わせ］をクリックする。

ここをクリックする

「新規のお問い合わせ［1/2］」画面が表示されます。

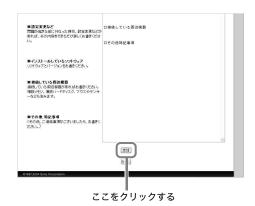
4 画面の指示に従って内容を確認する。

変更箇所がある場合は修正してください。

5 「お問い合わせ製品の選択」で製品の□をクリックして☑にし、[次へ]をクリックする。

「新規のお問い合わせ[2/2]」画面が表示されます。

ヒント
メールアドレスが正しく入力されていることを確認してください。メールアドレスが正しくないと、回答できない場合があります。

6 画面の指示に従って必要事項を入力し、[送信]をクリックする。

ここをクリックする

❑「テクニカルWebサポート」で継続のお問い合わせをする場合

1 マイサポーターにログインする。

必要な事項を入力し
[ログイン]をクリックする

2 [Webによるお問い合わせ「テクニカルWebサポート」]をクリックする。

ここをクリックする

3 ［継続のお問い合わせ］をクリックする。

ここをクリックする

「テクニカルWebサポート履歴」画面が表示されます。

4 ［詳細］をクリックする。

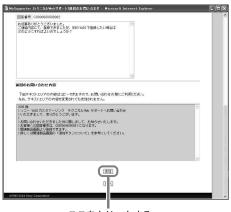
ここをクリックする

5 履歴を確認し、［この回答への返信］をクリックする。

ここをクリックする

ヒント

テクニカルWebサポートの履歴に回答がない場合には、ボタンは「この質問への追加」と表示されます。なお、テクニカルWebサポートの履歴が反映されるまでには時間差が生じます。あらかじめご了承ください。

6 画面の指示に従って必要事項を入力し、［送信］をクリックする。

ここをクリックする

VAIO Hot Street（バイオホットストリート）

VAIO Hot Street（バイオホットストリート）
https://hotstreet.vaio.sony.co.jp/
VAIO Hot Streetは、バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
バイオを活用するための「投稿」、「質問」、「回答」などをお客様どうしでやりとりしていただけます。

VAIO Hot Street では次の4テーマを展開中です。

- 周辺機器接続情報
- アプリケーションソフト情報
- Windows アップグレード情報
- VAIO 活用情報

各テーマ

！ご注意
投稿、質問、回答、コメントの書き込み、マイプロフィールの登録などを行うには、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です。

主な機能は以下のとおりです。

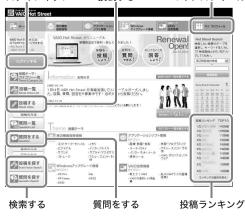
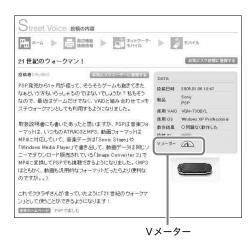
[投稿する・コメントを書き込む]
ご所有のバイオでお試しになった情報をぜひご投稿ください。
更に他のお客様からの投稿に対してコメントを書き込むことができますので、活発な情報交換をしていただけます。

[質問する・回答する]
バイオをお使いの上でわからないことをお客様どうしで質問、回答していただけます。
質問に対して解決策やヒント、アドバイスなどをお持ちのお客様は、ぜひ回答をお寄せください。

[検索する]
バイオの製品型名やキーワードなどから投稿を検索することができます。

[マイプロフィール]
お客様専用のプロフィールページです。
ご自分のプロフィールを登録、編集できる他に、ご自分の投稿履歴を確認したり、お気に入りのユーザーや投稿を登録することができます。
ご投稿をいただかなくてもプロフィールページのみ作成することができます。

[投稿ランキング]
投稿数の多いお客様の順位がランキング一覧に表示されます。

[投稿の評価]
投稿内容の評価はVメーターで表示されます。
[この投稿を評価する]をクリックするとVメーターにカウントされます。
評価の高い投稿は、各テーマトップページの「Vメーターランキング」欄に掲載されることがあります。

＜実際の投稿例＞

！ご注意
最新の詳しい説明ページは、下記URLからご確認ください。
https://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる

電話でのサポートをご利用の前に

「バイオ内の情報を調べる」(126ページ)や「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」(129ページ)を行ってもトラブルが解決しなかったときは、VAIOカスタマーリンクに電話でお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問や修理の受付を電話で承っております。

ヒント
VAIOカスタマー登録をされると、VAIOカスタマーリンクへの電話での技術的なお問い合わせが行えます。

!ご注意
- 通話料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承の上、お問い合わせください。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS、ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

> Windows XP Home EditionとWindows XP Professionalではサポート体制が異なります。
> お使いのバイオがWindows XP Home Edition搭載モデルかWindows XP Professional搭載モデルのどちらなのかわからない場合は、「システムのプロパティ」をご覧ください。「システムのプロパティ」を表示するには、[スタート]ボタンをクリックし、[マイ コンピュータ]を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]を選びます。

技術的なお問い合わせは(Windows XP Home Edition搭載モデルをお使いの場合)

バイオの使いかたのご相談や技術的なご質問については、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。本機をお手元に準備し、電源を入れた状態でお電話ください。担当オペレーターが対応いたします。
VAIOカスタマーリンク
電話番号:(0466)30-3000

詳しくは、「使いかたのお問い合わせ/修理の受付」(145ページ)をご覧ください。

技術的なお問い合わせは(Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合)

> 電子マニュアルおよびインターネットを使ったお問い合わせについて
> バイオには、お客様のご都合のよい時間にいつでも無料でご利用になれる豊富なサポート用ソフトウェアとインターネットを通じたサポートサービスがございます。バイオに関する技術的なお問い合わせをインターネット経由で受け付ける「テクニカルWebサポート」(https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/)(134ページ)を、ぜひご活用ください。

❑ お電話でのお問い合わせについて

バイオの使いかたのご相談や技術的なご質問については、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。本機をお手元に準備し、電源を入れた状態でお電話ください。担当オペレーターが対応いたします。
VAIOカスタマーリンク
電話番号:(0466)30-3000

詳しくは、「使いかたのお問い合わせ/修理の受付」(145ページ)をご覧ください。

購入日から90日間は・・・

バイオのご購入日から90日間は、お問い合わせ回数にかかわらず無料でご利用いただける電話サポートをご用意しています。バイオの使いかたなど、ご購入直後のお客様の疑問にお答えします。

購入日から90日以降は・・・

バイオご購入日から90日を過ぎたあとも電話サポートをご利用になれるように、「アドバンストサポート」という有料の電話サポートのメニューをご用意しています。お客様のお電話をWindows XP Professional搭載モデル専用のオペレーターにおつなぎして、迅速なサポートをご提供いたします。
ご購入日から90日を過ぎた場合のお電話でのお問い合わせは、下記の「アドバンストサポートチケット」をご購入の上、ご利用ください。

❑ インターネット経由でのお問い合わせについて

バイオに関する技術的なお問い合わせをインターネット経由で受け付ける「テクニカルWebサポート」(https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/)において、原則24時間以内にご回答を返信し迅速な対応をいたします(午前10時までにお受けしたご質問につきましては、原則としてその日のうちに返信させていただきます)。

* 本サポートは、特に期限はなく無料でご利用いただけます。
* メールでのお問い合わせは承っておりません。
* 24時間以内での返信はWindows XP Professional搭載モデルのみのサービスとなっております。

❑「アドバンストサポートチケット」をご購入いただくと

ご購入日から90日以降の電話サポートがご利用いただけます。

「アドバンストサポートチケット」とは

ご購入日から90日を過ぎてからお電話でバイオに関する技術的なお問い合わせ(使いかたのご説明など)をされる場合のメニューです。
下記のチケットをご購入いただくと、チケット1枚でお客様のご質問内容1件について、担当のオペレーターが対応いたします。

ヒント

- 本チケットは電子チケットです。お客様のお手元に紙のチケットなどをお届けすることはありません。
- ご質問内容1件とはお電話の回数ではなく、1つの独立した質問で複数に分割できない内容と弊社が判断したものとします。回答完了の判断は弊社の裁量によるものとし、回答完了前に派生した問題は別の問題として数えます。

■チケットの種類と価格(2004年12月現在)

- チケット1枚(単品):2,100円(税抜価格2,000円)
- チケット3枚:5,250円(税抜価格5,000円)
- 1年間有効(回数フリー):10,500円(税抜価格10,000円)

■有効期間

ご購入の当日より1年間

ご購入について

「アドバンストサポートチケット」のご購入には「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」が必要になります。「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」について詳しくは、「VAIOカスタマー登録について」(124ページ)をご覧ください。

購入方法

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口(146ページ)でお電話でお申込みいただけます。

支払方法

クレジットカード(VISA･MASTER･JCB、1回払いのみ可能)をご利用ください。

ヒント

ご利用者本人のクレジットカード番号、有効期限をご購入時にお伺いいたします。
代金のお支払いは各クレジットカード会社の会員規約に従い、ご指定の口座から自動引き落としとなります。

返品･キャンセル･交換について

商品の性質上、お客様のご都合によるご返品、キャンセル、および交換は受け付けておりません。

その他

本サービスは、サービス購入者が行うすべてのお問い合わせに完全な回答を差し上げることを保証するものではありません。他社製品との接続、弊社にて再現できない使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

「アドバンストサポートチケット」についてのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口(146ページ)にお問い合わせください。

ヒント

「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIOカスタマーリンクでの電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。一般的に午前中は電話が混雑しており、午後の方がお電話がつながりやすくなっております。
VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況を見るには、VAIOカスタマーリンクホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)にある「お問い合わせ」の中の[電話による技術的なお問い合わせ]を選択し、本文中央にある[VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況表]をクリックします。

修理を依頼されるときは

修理依頼の手順

修理を依頼される前に、「バイオ電子マニュアル」の画面上部のキーワード検索で調べたり、「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」（129ページ）の操作を行い、お使いのバイオの症状に合うものがないか確認してください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作を行うことで直ることがあります。
それでも解決できない場合は、以下の手順に従ってお電話ください。

ヒント

点検サービスも行っております
バイオの各機能（キーボード、ハードディスクドライブなど）が正常に動作しているか点検するサービスも行っております（有料）。

！ご注意
修理時の代替機は用意しておりません。あらかじめご了承ください。

1 データのバックアップをおとりください。

データのコピーが可能な場合は、修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりくださるようお願いいたします。弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
データのバックアップをとるには以下のような方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- 書き込み可能なCDやDVDなどのディスクにコピーする。

それぞれの操作方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の[バイオの使いかた]をクリックして表示される情報をご覧ください。

！ご注意
- お使いの機種により、フロッピーディスクドライブやDVD-RW／CD-RWドライブが搭載されておらず、別売りの場合があります。バックアップなどで別売りのドライブが必要な場合、お客様にてご用意をお願いします。
- OSが起動しないなど、バックアップを行うことができない状態の場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

2 VAIOカルテと筆記用具をご用意ください。

VAIOカルテは本機に付属しています。紛失された場合は、VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/karte.html）またはFAX情報サービス（144ページ）より入手してください。
筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

VAIO

VAIOカルテ

このVAIOカルテは、バイオ修理受付の際にご記入いただくものです。

1. VAIOカスタマーリンクに修理依頼される場合
修理添付用VAIOカルテのおもて面（お客様情報とお支払方法について）と裏面（症状と製品の情報について）の両面にご記入いただき、ソニー指定業者が修理品をお預かりにお伺いした際に、修理品と一緒にお預けください。

2. 販売店様に修理品をお持ちになる場合
修理添付用VAIOカルテの裏面（症状と製品の情報について）のみご記入いただき、店頭で修理品と一緒にお預けください。

修理に関するご相談およびお申込みは
VAIOカスタマーリンク修理窓口　電話番号 0466-30-3030

お電話いただく前にお読み下さい

1. お客様のバイオをお手元にご用意ください。ご指摘症状によっては、ご案内した操作をしていただく事で改善され、お預けいただかなくても問題が解決する場合があります。
2. 販売店様独自の延長保証にご加入されている場合は、延長保証適用について、販売店様へ事前にご確認ください。
3. お客様ご自身によるトラブルシュート「故障かな？と思ったら」が、下記URLから直接ご確認いただけます。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/index.html
4. 修理窓口0466-30-3030へお電話いただく場合の通話料は、お客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
5. お電話いただいた際の受付フローは、おおむね以下の通りです。
(1) 担当にお繋ぎするために、音声ガイドでご案内を行なっています。
(2) カスタマー登録されている方は、16桁のサポート番号または13桁のバイオカスタマーIDの入力が必要になります。これらの番号をあらかじめお手元にご用意ください。
(3) 初めの案内で、これからの修理のご依頼をされる方は1、すでに修理をご依頼されている方は2を、お手持ちの電話機から入力していただくことになります。以降は音声ガイドの案内に従って、操作をお願いいたします。
6. 修理品をお預りのお客様へ
WEBから修理お預り品の状況検索が可能です。下記URLから直接ご確認いただけます。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/index.html

詳細につきましては、ご購入商品に同梱されている「サービスサポートのご案内」をご参照ください。

VAIOはソニー株式会社の商標です。　SONY

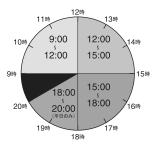
ヒント
弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証にご加入されている場合は、そちらの保証内容もご確認されることをおすすめいたします。

3 VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。

VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号：（0466）30-3030
詳しくは、「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」（145ページ）をご覧ください。
不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合がありますので、ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。お電話は音声認識を用いた自動音声応答で受け付けます。自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

ヒント
自動音声応答において機種情報などが正確に認識できると、担当のオペレーターにつながります。

4 修理が必要と判断させていただいた場合は修理の受付をさせていただきます。

修理受付の際に修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのVAIOカルテにご記入ください。また、修理品のお引き取り時間を翌日以降で以下の時間帯よりお選びください（一部地域を除く）。

- 9：00〜12：00
- 12：00〜15：00
- 15：00〜18：00
- 18：00〜20：00（平日のみ）

！ご注意
上記は2004年12月現在での選択可能な時間帯です。一部地域ではご利用いただけない時間帯があります。

5 ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお引取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ（本機に付属しています。あらかじめご記入ください。）
- 保証書（保証期間中のみご用意ください。）
- 必要な付属品類

ヒント

- 受付時に修理品の引き取り日時、場所などを調整させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。
- 引取修理は、VAIOカスタマーリンク修理窓口で修理を受け付け、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅より集中修理拠点へ直送するサービスです。（送料はソニー負担です。）

6 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けいたします。

！ご注意

- 保証期間中でも有償になる場合がございます。詳しくは、保証書に記載されている「無料修理規定」をご覧ください。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いの他に、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは付属の「VAIOカルテ」内『修理代金のお支払い方法について』の欄をご覧ください。（なお、このカードによる分割払いは、VAIOカスタマーリンクで修理受付させていただいた場合の適用となります）

「修理／お預かり品状況確認」について

VAIOカスタマーリンクホームページの「修理／お預かり品状況確認」およびVAIOカスタマーリンクモバイルの「修理品状況確認」では、VAIOカスタマーリンクへ直接修理のご依頼をいただいた方に、修理の進み具合に応じて「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をご案内しております。
修理／お預かり品状況確認を見るには、以下の手順に従って操作します。

！ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合の修理完了日は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

1 VAIOカスタマーリンクホームページにある[修理／お預かり品状況確認]をクリックする。

コンピュータから利用する場合

VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）にある[修理／お預かり品状況確認]をクリックします。

携帯電話から利用する場合

VAIOカスタマーリンク モバイル（http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/）に携帯電話からアクセスして、“修理品状況確認”を選択します。

2 確認画面を表示させる。

コンピュータから利用する場合

画面下の[このサービスを利用する]をクリックすると、「修理／お預かり品状況確認」画面が表示されます。

携帯電話から利用する場合

画面中の“確認ページはこちら”をクリックすると、「修理品状況確認」画面が表示されます。

ここをクリックする

3 修理受付番号と電話番号を入力し、[検索]をクリックする。

修理完了の予定日が表示されます。

❑ 修理対応について

ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になりますのでご了承ください。

❑ 修理用補修部品について

ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品を使用することがあります。
また交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

❑ 海外でのご使用時の修理対応について

お買い求めいただいたバイオは、製品に必要な各種の安全規格の認証を日本で取得した日本国内専用モデルです。
また、製品に付属する保証規定は日本国内のみ有効です。
海外において国内保証規定以外のご使用が起因となり、製品に不具合が発生した場合は、保証（無償修理）の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。
なお、VAIO Overseas Service（海外サポート修理サービス）の用意もございます。詳しくは「有償サービスの種類」（142ページ）をご覧ください。

その他のサービスとサポート

有償サービスの種類

バイオをより快適に安心してお使いいただくためのサービス、バイオのクリエイティブな世界を体験していただくためのサービスなど各種サービスをご用意しております。

！ご注意
一部の機種では提供されません。

❑ VAIO延長保証サービス

VAIOご登録カスタマー専用の有料サービスとして「VAIO延長保証サービス」をご用意しております。
通常の故障を3年間保証する「故障対応タイプ」と、通常の故障に加え破損･漏水などの事故を3年間保証する「故障プラス事故対応タイプ」の2種類をご用意しております。
また、このサービスは購入日から一定の期間を過ぎますとお申し込みができなくなります。
詳しくはVAIOホームページ内の以下のページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VP2

❑ 訪問サポートサービス（有償）

スタッフが直接お客様のご自宅へお伺いし有償で行なうサポートサービスをご用意しております。
詳しくは「自宅で「訪問サポートサービス（有償）」を受ける」（143ページ）または下記ホームページ「デジホームサポート」をご覧ください。
http://www.sony.jp/support/service/Support/index.html

❑ VAIOカスタマイズサービス

バイオをより快適にお使いいただくために、ソニー純正のカスタマイズサービスをご用意しております。
詳しくは「VAIOカスタマイズサービスを利用する」（143ページ）をご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Customize/

❑ アップデートCD-ROM送付サービス（有償）

ご所有機種に応じた各種サポートCD-ROMを有償で送付させていただくサービスをご用意しております。
詳しくは下記ホームページ「アップデートCD-ROM送付サービス（有償）」をご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/index.html

❑「アドバンストサポート」
Windows XP Professional、Windows 2000 搭載モデル用のサポートプログラムをご用意しております。
詳しくは「技術的なお問い合わせは（Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合）」（138ページ）をご覧ください。

❑ 訪問修理サービス（有償）
ソニーのサービスエンジニアが直接お客様のご自宅へお伺いし修理を行うサポートサービスをご用意しております。なお、対象機種はパーソナルコンピューターVGCシリーズのみとなります。
詳しくは「自宅で「訪問サポートサービス（有償）」を受ける」（143ページ）をご覧ください。

❑ VAIO Overseas Service（海外サポート修理サービス）
日本国内でご購入されたパーソナルコンピューターVGNシリーズが、海外の対象地域にご滞在中に故障した場合、1年間お電話でサポートいたします。
詳しくは下記ホームページ「VAIO Overseas Service（海外サポート修理サービス）」をご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Overseas/

自宅で「訪問サポートサービス（有償）」を受ける
スタッフがお客様のご自宅へ直接お伺いして、各種アップグレード作業やインターネットの接続などを有償で行う「訪問サポートサービス」をご提供しています。
以下のようなサービスがあります。（2004年12月現在）

- **パソコンはじめてパック：**
  バイオをお買い上げいただいたときの開梱、接続、動作確認など。
- **インターネット設定パック：**
  モデム、ウェブブラウザ、電子メールソフトウェアの設定と簡単な操作説明。
- **個人レッスン：**
  バイオの使いかたや、楽しみかたをご自宅で学べる。
- **VAIOカスタマイズサービス**（143ページ）
- **パーソナルコンピューターVGCシリーズの訪問修理サービス：**
  パーソナルコンピューターVGCシリーズのみ、お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。パーソナルコンピューターVGNシリーズは対象外とさせていただきます。

ヒント
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込み前にVAIOカスタマーリンク ホームページでご確認ください。

訪問サポートサービスの詳細を見るには、次のように操作します。

1 VAIOカスタマーリンク ホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）にある[サポート系サービス]をクリックする。

ここをクリックする

2 [訪問サポートサービス]をクリックする。

「訪問サポートご案内」画面が表示されます。

ホームページでのお申し込み
VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）にある「パソコン訪問サポート」よりお申し込みください。お申し込み手順は、デジホームサポートのホームページ上の記載に従ってください。

VAIOカスタマイズサービスを利用する
ソニーではお買い上げいただいたバイオをより快適にお使いいただくために、以下のようなソニー純正の各種カスタマイズサービスをご提供しております。
各サービスの対象機種やサービス期間、料金についてはVAIOカスタマイズサービス ホームページでご確認ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Customize/

❑ ハードディスクアップグレードサービス
動画ファイルの記憶領域やユーザーデータの保存領域が拡張できます。
一部のパーソナルコンピューターVGN/PCGシリーズのみのサービスとなります。

- **データ移行サービス**
  現在お使いのハードディスク上の内容をそのまま交換後のハードディスクに移行するサービスです。
- **ポータブルi.LINKハードディスクケース 移設サービス**
  ハードディスク交換後、元のハードディスクをポータブルi.LINKハードディスクケースに移設してお返しするサービスです。

❑ メモリーアップグレードサービス

データの処理速度や複数のアプリケーションソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

❑ キーボード交換サービス

標準キーボードから英語配列キーボードに交換いたします。
英語配列キーボードでプリインストールのOSが使用可能になります。なお、サービスは英語のみになっております。
パーソナルコンピューターVGNシリーズ（一部対象外）のみのサービスとなります。

❑ VAIOぴかぴかサービス

ご使用により汚れたり傷ついてしまった外装部品を交換するサービスです。
一部のパーソナルコンピューターVGN/PCGシリーズのみのサービスとなります。

ホームページでのお申し込み

VAIOホームページ内「サービス」にある「VAIOカスタマイズサービス」（http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Customize/）よりお申し込みください。お申し込み手順は、ホームページ上の記載に従ってください。

電話でのお申し込み

VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。
お問い合わせ先については、「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」（145ページ）をご覧ください。

!ご注意

お申込みに関するご注意

VAIOカスタマイズサービスは、バイオ本体にソニー純正の製品をお取り付けするサービスです。
他社製のコンピュータに対してのアップグレードおよび他社製の製品を使用してのアップグレードサービスはお受けいたしません。
カスタマイズサービスご依頼の前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様自身にてバックアップされますようお願いいたします。弊社の作業により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、アップグレードに使用する増設メモリや増設ハードディスクなどの在庫が無くなり次第、サービスは終了させていただきます。

「アップグレード完了予定日インフォメーション」サービス

VAIOカスタマーリンク ホームページの「修理／お預かり品状況確認」を使って「本体お預かり予定日」、「アップグレード完了予定日」、「アップグレード完了日」の日程を検索できますのでご利用ください。
アップグレード完了予定日インフォメーションを見るには、「「修理／お預かり品状況確認」について」（141ページ）の手順に従って操作します。

ヒント

ホームページの画面中で「修理品」と記載されている箇所は「アップグレード品」と読みかえてください。

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

!ご注意

一部の機種では提供されません。

FAX情報サービス

FAX番号：（0466）30-3040

お問い合わせ先について

付属ソフトウェアに関するお問い合わせ

付属のソフトウェアについてはソフトウェアごとにお問い合わせ先が異なります。
バイオ電子マニュアルの[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(196ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

❑ VAIOカスタマー登録(124ページ)に関するお問い合わせは

カスタマー専用デスク
電話番号:(0466)38-1410
受付時間:平日　10:00〜18:00(年末年始を除く)
通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
なお、バイオの使いかたについてのお問合せ、修理の受付については下記「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたのお問い合わせ／修理の受付

お電話は音声ガイドでご案内しています。お問い合わせの内容に応じたご希望の番号をお選びください。担当オペレーターが対応いたします。

使いかたのお問い合わせは
VAIOカスタマーリンク
電話番号:(0466)30-3000
「インターネットやメール、ネットワーク接続に関するお問い合わせ」や「ソニー製ソフトウェアのお問い合わせ」など、専門のオペレーターをご用意しております。(2004年12月 現在)

修理の受付は
VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号:(0466)30-3030
お問い合わせの際は、お手元にバイオ本体をご用意ください。ご指摘の症状によっては、ご案内した操作で問題が解決する場合があります。

- 通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合、技術的なお問い合わせに対しては、本機のご購入日から90日間無料で対応いたします。ご購入日から91日以降は、「アドバンストサポート」による有償でのサポートメニューをご用意しております。(138ページ)
- 受付時間外でのお問い合わせや通話料が気になる方には、VAIOカスタマーリンクホームページのMySupporterにてサポート情報をご用意しておりますのでご活用ください。(134ページ)
- 付属のソフトウェアについては、バイオ電子マニュアルの[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(196ページ)をご覧になり、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお電話ください。
- お問い合わせには、あらかじめ「VAIOカスタマー登録」しておくことが必要です(58ページ)。
  なお、登録時にご提供いただく個人情報のお取扱いについては、「お客様の個人情報のお取扱いについて」(147ページ)をご覧ください。

受付時間
平日 **10:00〜20:00**
土、日、祝日 **10:00〜17:00**
(365日年中無休)

お電話は午前11時以降、または午後の方がつながりやすくなっております。
VAIOカスタマーリンクホームページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)にある「お問い合わせ」の中の[電話による技術的なお問い合わせ]を選択して、本文中央に表示される[VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況表]もあわせてご確認ください。

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

① お客様のお客様サポート番号、またはVAIOカスタマーID(124ページ)
② 本機の型名(保証書などに記載されているものです)
③ 本機の製造番号(保証書などに記載されている7桁の番号です)
④ カスタマー登録いただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

ヒント
発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

⑤ 本機に接続している**周辺機器名**(メーカー名と型名)

⑥ 表示された**エラーメッセージ**

⑦ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン

⑧ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**

⑨ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか

⑩ その他お気づきの点

修理の場合は

⑪ VAIOカルテ（修理をお申し込みになるとき）

⑫ 筆記用具（修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です）

その他のお問い合わせ

通話料および通信料はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

！ご注意

- バイオの使いかたに関するお問い合わせや、修理の受付については「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」（145ページ）をご覧ください。
- 下記のお問い合わせ先では技術的なお問い合わせなどはお受けできません。あらかじめご了承ください。

❑ **VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口（138ページ）は**

電話番号：（0466）30-3099

受付時間：平日　10：00〜20：00

土・日・祝　10：00〜17：00（365日年中無休）

❑ **FAXでの情報提供（144ページ）は**

VAIOカスタマーリンクFAX情報サービス

FAX番号：0466-30-3040

❑ **VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口は**

電話番号：（0466）30-3016

受付時間：平日　10：00〜20：00

土・日・祝　10：00〜17：00

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月間です。カスタマー登録していただいたお客様は1年間になります。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、保証期間内であっても、有償修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」（140ページ）をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

お客様の個人情報のお取扱いについて

ソニーマーケティング(株)およびソニー(株)(以下「ソニー」)は、ご登録いただいたお客様の個人情報ならびにお客様がVAIOご登録カスタマー向けのサービス等を利用した際にソニーが記録した履歴について、以下の定めに従い取扱いをいたします。(以下、個人情報と履歴を総称して「お客様の情報」とします)

1.お客様の情報の使用目的について

お客様の情報は、下記の目的で使用させていただきます。
お客様の事前のご了承なく下記目的以外の使用はいたしません。

(1)VAIOカスタマーサポートのご提供(製品の保証、修理など)
(2)製品やサービス・キャンペーン情報(含む広告)のご案内
(3)お客様のご意見やご感想の回答のお願い
(4)その他の特典サービスの提供
(5)統計資料の作成

2.お客様の情報の保管・消去

不当に第三者が触れないよう、合理的な範囲内で、厳重に保管します。
なお、ソニーは、使用目的の達成により継続保管の必要がなくなったと判断した場合、お客様の情報を消去する場合がございます。

3.お客様の情報の開示

下記の場合を除き、お客様のご了承なく第三者に開示いたしません。
但し、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。

(1)お客様にお知らせした使用目的のために、業務を委託する協力会社に開示が必要な場合。(ソニーは、当該協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。)
(2)司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合。

4.他人の情報の提供について

お客様が、ご自分以外の方の個人情報を登録する場合には、お客様が必ずその方から、ソニーに対して個人情報を提供することについてご了解をいただいてください。

5.お問い合わせ及びその他のご連絡

(1) 個人情報の照会・修正、またはソニーからの情報配信を終了する場合、VAIOホームページ(http://www.vaio.sony.co.jp/)上からお客様ご自身で必要な手続を行ってください。
(2) 個人情報の削除をご希望の場合、またはVAIOホームページがご利用できない場合、前述のカスタマー専用デスクまでお問い合わせください。

6.ソニーは、必要に応じて、本内容を変更・修正・追加・削除できるものとします。

ソニーマーケティング株式会社
パーソナル・インフォメーション・マネージメント委員長
発行日:2002年5月1日

その他

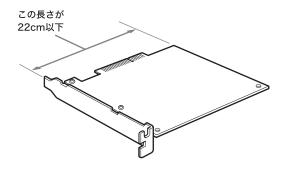
拡張ボードを増設する

本機では「拡張ボード」と呼ばれる別売り品を装着することで、さまざまな機能を拡張し、よりご自分に合った作業環境を構築することができます。

❑ 拡張ボードの種類

本機では拡張ボードは「PCI」および「PCI Express x1」という規格に対応した拡張ボードを取り付けることができます。
拡張ボードをお買い求めの際は、Windows XPとPCI規格およびPCI Express x1規格に対応していることをご確認ください。
本機では空きスロット（拡張ボードを増設できる場所）が1か所あり、PCI拡張ボードを1枚取り付けることができます。
また、本機のモデムボードを取りはずして、PCI Express x1規格に対応した拡張ボードを取り付けることができます。

❑ 空きスロットに取り付けられる拡張ボードの大きさについて

本機に取り付けられる拡張ボードの長さは、22cmまでです。

ヒント

増設できる拡張ボードについて

ご購入されるメーカーまたは販売店にお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）では、増設できる拡張ボードの情報を掲載しています。

拡張ボード取り付けの流れ

以下の流れに沿って、拡張ボードを増設します。

1 **本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜く**
本機前面の⏻（電源）ランプが消灯していることを確認してください。電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」（53ページ）をご覧ください。

2 **拡張ボードを取り付ける**
拡張ボードの取り付けかたについて詳しくは、「拡張ボードを取り付けるには」（151ページ）をご覧ください。

3 **電源コードを電源コンセントに差し込み、本機の電源を入れる**
電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」（52ページ）をご覧ください。

4 **ドライバの設定、インストールを行う**
拡張ボードが本機に認識されるとメッセージが表示されるので、拡張ボードの取扱説明書なども参照の上、指示に従って操作してください。

ヒント

ドライバとは

どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピュータ側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアです。拡張ボードを増設したときには、ドライバのインストールが必要となる場合があります。

拡張ボードを取り付けるには

以下の手順に従って拡張ボードを取り付けます。

!ご注意

拡張ボードの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードを電源コンセントから抜き、充分時間が経過したあとに行ってください。電源コードを差したまま拡張ボードを取り付けたり取りはずしたりすると、拡張ボードや本機、周辺機器が壊れることがあります。

- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 拡張ボードの部品には直接手を触れないでください。人体の静電気によって部品が故障することがあります。拡張ボードを触る前には、金属製のものに触れて体内の静電気を放電してください。
- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに拡張ボードを放置しないでください。静電気の影響で拡張ボードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部に直接手を触れないようにご注意ください。
- 拡張ボード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないようにご注意ください。
- 拡張ボードを本機から取りはずすときは、必ず本機の拡張ボードの取り扱いかたに従ってください。無理に引き抜くと拡張ボードや本機の故障の原因になります。
- 拡張ボードを水でぬらさないでください。
- 拡張ボード増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いて側面のカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- **ご自分で拡張ボードの取り付けを行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。**

❑ PCI規格に対応した拡張ボードを空きスロットに取り付ける

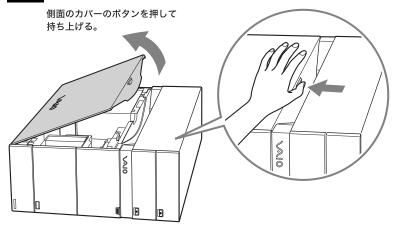
1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

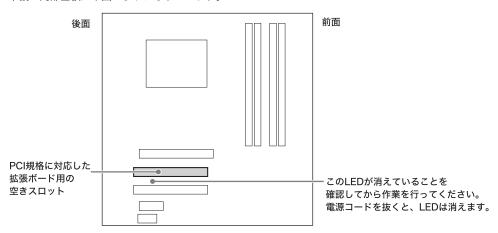
!ご注意

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

2 本機を横にして置く。

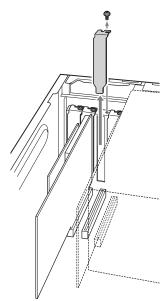
本機の右側面が下になるように置いてください。

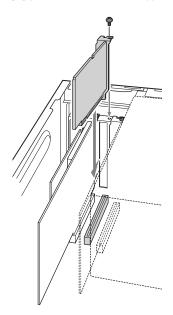
!ご注意
本機を横にして置くときに、本機前面の下にあるふたの取っ手が破損しないようご注意ください。

3 側面のカバーを取りはずす。

本機の内部基板は下図のようになっています。

4 拡張ボードを取り付けるスロットのカバーを取りはずす。

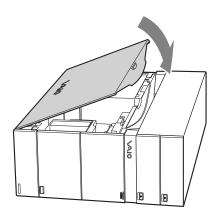
スロットのカバーを取り付けているネジをはずし、本体の内部からカバーを取りはずします。

！ご注意

- 内部の基板やケーブル類を傷つけないようにご注意ください。
- イラストは実際のものと一部異なる場合があります。

5 拡張ボードを取り付ける。

拡張ボードを空きスロットに合わせて取り付け、ネジで固定します。詳しくは、拡張ボードの取扱説明書をご覧ください。

！ご注意

拡張ボードを取り付けるとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

6 側面のカバーを取り付ける。

(1) カバー下部のツメを本体に合わせる。

(2) カバーをはめ込み、
カチッと音がすることを確認する。

7 本機を立てる。

8 手順1で取りはずした電源コードと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

Windowsが起動すると、「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアをインストールしています。」というメッセージが表示されるので、画面の指示と拡張ボードの取扱説明書に従って操作します。

❑ モデムボードを取りはずしてPCI Express x1規格に対応した拡張ボードを取り付ける

1 **本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。**

!ご注意
本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

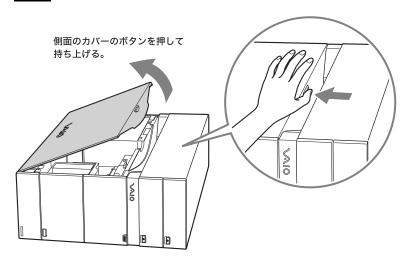
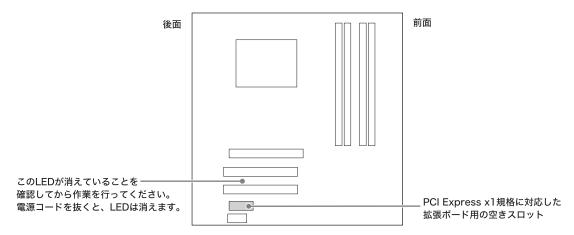
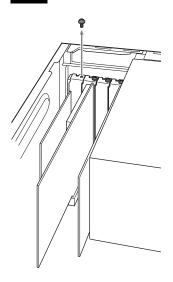
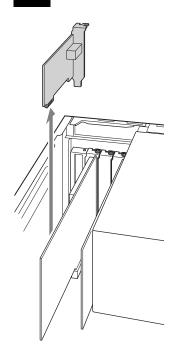
2 **本機を横にして置く。**

本機の右側面が下になるように置いてください。

!ご注意
本機を横にして置くときに、本機前面の下にあるふたの取っ手が破損しないようご注意ください。

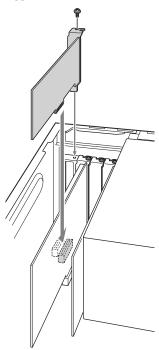
3 **側面のカバーを取りはずす。**

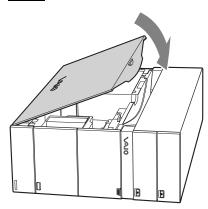
本機の内部基板は下図のようになっています。

4 モデムボードを固定しているネジを取りはずす。

5 モデムボードを取りはずす。

！ご注意
モデムボードを取りはずすとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

6 拡張ボードを取り付ける。

拡張ボードをPCI Express x1のスロットに合わせて取り付け、ネジで固定します。詳しくは、拡張ボードの取扱説明書をご覧ください

!ご注意
拡張ボードを取り付けるとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

7 側面のカバーを取り付ける。

（1）カバー下部のツメを本体に合わせる。

（2）カバーをはめ込み、
カチッと音がすることを確認する。

8 本機を立てる。

9 手順1で取りはずした電源コードと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

Windowsが起動すると、「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアをインストールしています。」というメッセージが表示されるので、画面の指示とボードの取扱説明書に従って操作します。

拡張ボードを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずしてから行ってください。

メモリを増設する

メモリを増設するときのご注意

本機内部の拡張メモリスロットにメモリを増設することができます。
メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

！ご注意

- **メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。**
- **メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。**
- **ソニー製のメモリをご購入された方、またはご購入予定の方で、ご自分で取り付けられない場合は、VAIOカスタマーリンクで有料取り付けサービスを承っております。**

- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- **本機の電源を切って、電源コードを抜いて、1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっておりやけどをするおそれがあります。**
- **ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの挿し忘れ、メモリの逆挿し、半挿しなどにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。**

メモリを増設するには

VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）で画面右側から有償サービスの項目を選んで表示される画面よりご依頼ください。
VAIOカスタマー修理窓口、または販売店でもメモリの増設サービス（有料）をご依頼いただけます。
詳しくは、「VAIOカスタマイズサービスを利用する」（143ページ）をご覧ください。

取り付けられるメモリモジュール

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが4つあり、最大2Gバイトまで増設することができます。
別売りのメモリモジュールを取り付けることにより、メモリを増設します。
ソニー製のメモリーモジュールは、以下のものが本機に取り付けられます。

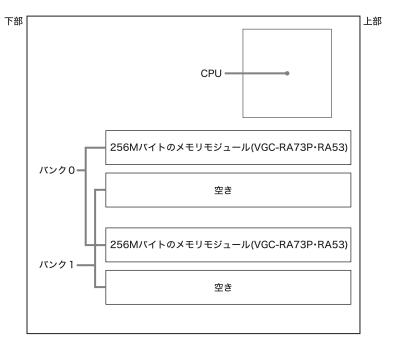
取り付けられるソニー製のDDR2 533（PC2-4200）対応メモリーモジュール

容量	スピード	メモリモジュール
512Mバイト	DDR2 533（PC2-4200）対応	VGP-MM512J*

* DDR2 533SDRAM DIMM（VGP-MM512J）を必ずご使用ください。

本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが4か所あります。
本機のメモリスロットは2か所のバンクに分かれていますので、メモリを増設するときは、以下の点にご注意ください。

- メモリを取り付ける場合には必ずバンク0から取り付けてください。
- 同一バンク内の各スロットには同じ型名で同じ容量のメモリモジュールを取り付けてください。
- 取り付けるメモリモジュールは、すべて同じスピードのメモリモジュールを取り付けてください。
  VGC-RA73シリーズ・RA53シリーズは標準で、DDR2 533（PC2-4200）スピードのメモリモジュールが装着されています。

VGC-RA73P･RA53では、標準でバンク0の各スロットに256Mバイトのメモリがそれぞれ1枚ずつ（計2枚）、合計512Mバイトのメモリが搭載されています。

以下の条件を満たすメモリモジュールの組み合わせをおすすめします。

- 全部同じスピードのメモリモジュールを使用する。
- 同じバンクには、同じ容量／型名のメモリモジュールを2枚使用する。

増設後の容量は、次の「おすすめ増設一覧表」をご覧ください。

以下の条件でメモリモジュールを使用するとパフォーマンスが低下するため、おすすめしません。

- 同じバンクに1枚だけ装着する。

増設後の容量は以下の表のとおりです。

❑ VGC-RA73P･RA53をお使いの場合（おすすめ増設一覧表）

DDR2 533（PC2-4200）	標準	増設	
総容量	バンク0	バンク1	スピード （メモリ帯域幅　理論値）
標準（512Mバイト）	256Mバイト×2 DDR2 533	-	8528Mバイト/Sec デュアルチャンネル
1536Mバイト	256Mバイト×2 DDR2 533	512Mバイト×2 DDR2 533	8528Mバイト/Sec デュアルチャンネル

標準のメモリをはずし、DDR2 533（PC2-4200）　512Mバイト×4枚を増設したとき			
DDR2 533（PC2-4200）	標準	増設	
総容量	バンク0	バンク1	スピード （メモリ帯域幅　理論値）
2048Mバイト	512Mバイト×2 DDR2 533	512Mバイト×2 DDR2 533	8528Mバイト/Sec デュアルチャンネル

取り付けの際には、メモリモジュールの取扱説明書もあわせてご覧ください。

！ご注意

メモリモジュールを選ぶときのご注意

- **メモリモジュールには、さまざまな種類のものが存在します。市販のメモリモジュールを取り付ける際には、その製品が本機での動作保証を明記していることをご確認ください。**
- **市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。**

ヒント

デュアルチャンネルとは、同じスピードで同じ容量のDDRメモリを2枚1組で装着することによって、64ビット幅DDRメモリインターフェイスを2チャンネル、合計128ビット幅のデュアルチャンネルDDRメモリインターフェイスを実現し、128ビットアクセス転送を行い、2倍のメモリ帯域幅を実現した技術です。

メモリモジュールを取り付ける／取りはずす

❑ メモリモジュールを取り付ける／取りはずすときのご注意

メモリモジュールの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したままメモリモジュールを取り付けたり取りはずしたりすると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。

- 静電気でメモリモジュールが破損しないように、メモリモジュールを取り付けるときは、次のことをお守りください。
  - メモリを増設するときは、静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。
- **メモリモジュールには、向きがあります。**
- **メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ（溝の内側）部分の突起の位置を正しく合わせてください。**
- **無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。**

メモリモジュールを取り付けるには

1　本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

！ご注意

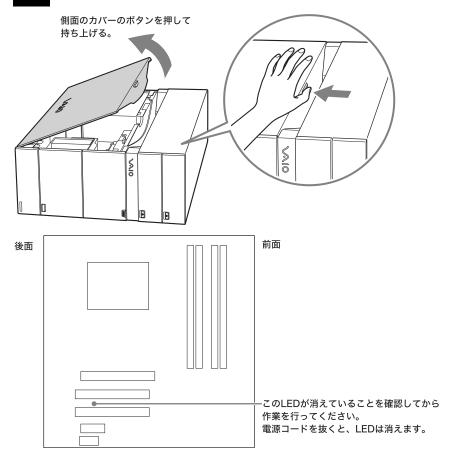
本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

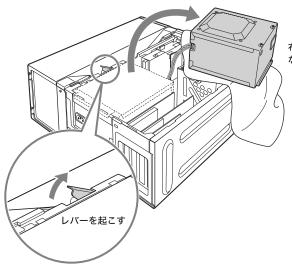
2　本機を横にして置く。

本機の右側面が下になるように置いてください。

！ご注意

本機を横にして置くときに、本機前面の下にあるふたの取っ手が破損しないようご注意ください。

3 側面のカバーを取りはずす。

ヒント

電源ユニットを取りはずすこともできます。
電源ユニットを取りはずす場合は、電源ユニットの横にあるレバーを起こし、電源ユニットを取り出して通風孔が上になるように、イラストのように置きます。電源ユニットを置く位置には、布を敷いてください。

!ご注意

- 電源ユニットは、つながっているケーブルを引っぱらないように、慎重に取り出してください。
- 電源ユニットは取りはずしにくい場合があります。取りはずす際には充分ご注意ください。

4　メモリモジュールを梱包から取り出す。

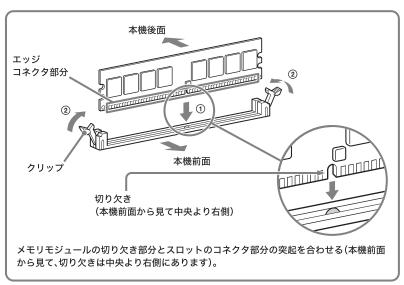
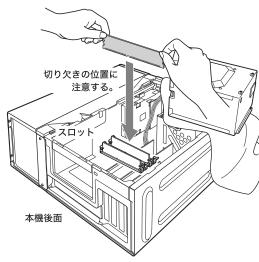
本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出します。

5　メモリモジュールを取り付ける。

メモリモジュールの取り付けについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にお問い合わせください。

① 下記のイラストのとおりに、切り欠き方向に注意してメモリモジュールをスロットに合わせる。

② クリップが起き上がり、固定されるまでメモリモジュールを垂直にスロットへ押し込む。

メモリモジュールの切り欠き部分とスロットのコネクタ部分の突起を合わせる（本機前面から見て、切り欠きは中央より右側にあります）。

取り付けるときは、以下の点にご注意ください。正しい方法で取り付けないと故障の原因となります。

・切り欠きの位置を確認して正しい方向に差し込む。
・垂直に差し込む。
・両方のクリップが起き上がるまで押し込む。

！ご注意

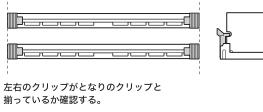
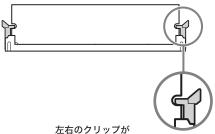
- メモリモジュールは2枚1組で取り付けてください。1枚だけメモリモジュールを取り付けた場合の動作保証はいたしません。また、同じバンクに取り付ける2枚のメモリモジュールは同じ型名で同じ容量のものをお使いください。
- メモリ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際、ハーネスのコネクタが浮くことがあります。ハーネスのコネクタを押して、浮きがないことを確認してください。
- メモリ増設の際には、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。

6 メモリモジュールがきちんと取り付けられているか確認する。

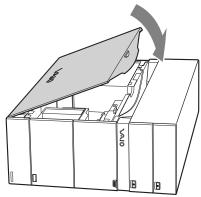
メモリモジュールを取り付けたら、以下の点を確認してください。

① 左右のクリップが、となりのクリップと揃っているかどうか。

② 左右のクリップが、きちんとメモリモジュールの溝にはまっているかどうか。

左右のクリップがとなりのクリップと
揃っているか確認する。

左右のクリップが
きちんとはまっているか確認する。

7 電源ユニットを元の位置に取り付けて、レバーを戻す。

8 側面のカバーを取り付ける。

(1) カバー下部のツメを本体に合わせる。

(2) カバーをはめ込み、
カチッと音がすることを確認する。

9 本機を立てる。

10 手順1で取りはずした電源コードと周辺機器を接続し、本機の電源を入れる。

11 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[バイオの設定]をクリックする。

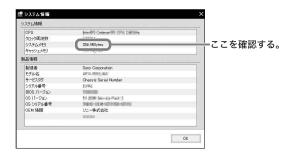
「バイオの設定」画面が表示されます。

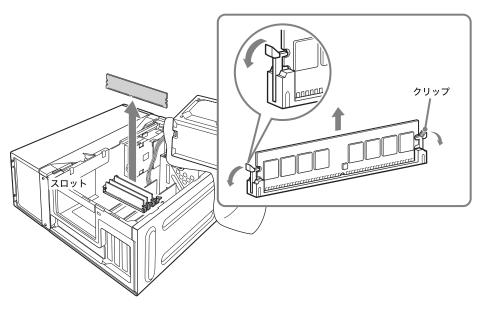
12 [システム情報]をダブルクリックする。

13 ［システム情報］をダブルクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

14 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう1度正しく増設の手順を繰り返してください。

メモリモジュールを取りはずすには

本機の金属部分に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリスロットの両端のクリップを外側に押し、メモリモジュールをはずし、スロットからゆっくり抜き取ります。

ハードディスクドライブを増設する

本機内部のハードディスクドライブベイにSerial ATA（シリアルATA）に対応したハードディスクドライブを4台まで搭載することができます。

！ご注意

- ハードディスクドライブの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。
- ハードディスクドライブの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- ハードディスクドライブ増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- ハードディスクドライブ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- ハードディスクドライブ増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- ドライブベイは3.5インチサイズです。
- 増設するハードディスクドライブによっては本機で動作しないものがあります。
増設について詳しくは、増設機器メーカーにお問い合わせください。
- 増設するハードディスクドライブによってはi.LINK対応機器から動画を取り込む際に制限が生じる場合があります。
- **ハードディスクドライブの取り付けや取りはずしは、必ず本機および周辺機器の電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。電源コードを差したまま、ハードディスクドライブを取り付けたり取りはずしたりすると、ハードディスクドライブや本機、周辺機器が壊れることがあります。**
- **電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをする可能性があります。本機が冷えるのを待ってから作業を行ってください。**
- **ご自分でハードディスクドライブの増設を行い、故障や事故が起きた場合は、修理は有償となります。**
- 増設したハードディスクドライブのドライブ文字は、お客様の使用環境により異なります（「ローカル ディスク（E:）」または「ローカル ディスク（F:）」などと表示されます）。また、本機のリカバリを行うと、増設したハードディスクドライブのドライブ文字が変わることがありますので、ご注意ください。
- Do VAIOでテレビ番組を録画すると、お買い上げ時の設定では録画した映像は「D:ドライブ」に保存されます。映像の保存先を増設したハードディスクドライブ（「E:ドライブ」など）に変更して、より多くの映像を保存することができます。増設したハードディスクドライブに保存先を変更したあとも、映像の保存先を変更する前のハードディスクドライブに保存しておいた番組を再生したり、削除したりすることができます。なお、i.LINKドライブなどの取りはずし可能なドライブには対応しておりません。詳しくは、Do VAIOのヘルプをご覧ください。

ハードディスクドライブを増設するには

本機内部のハードディスクドライブベイにSerial ATA（シリアルATA）に対応したハードディスクドライブを4台まで搭載することができます。
ハードディスクドライブを取り付ける際には、本機のカバーを取りはずす必要があります。次の手順に従ってハードディスクドライブを取り付けます。
増設するハードディスクドライブの取扱説明書もあわせてご覧ください。

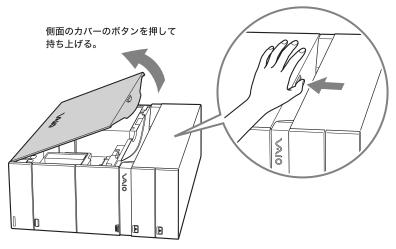
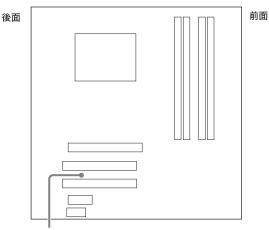
1　本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずす。

！ご注意

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

2　本機を横にして置く。

本機の右側面が下になるように置いてください。

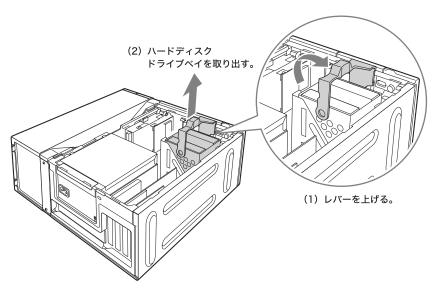
！ご注意
本機を横にして置くときに、本機前面の下にあるふたの取っ手が破損しないようにご注意ください。

3　側面のカバーを取りはずす。

4 ハードディスクドライブを増設する。

本機では、ハードディスクドライブをハードディスクドライブベイに3台まで搭載することができます。また、フロッピーディスクドライブと交換することにより、さらに1台追加することができます。

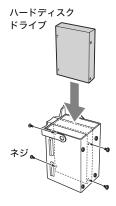
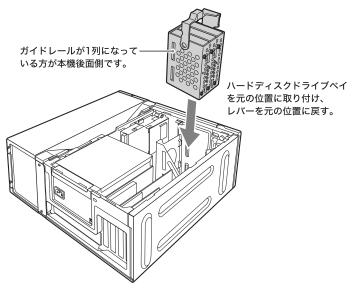
ハードディスクドライブベイに空きがある場合、増設するハードディスクドライブはハードディスクドライブベイに取り付けてください。

❑ ハードディスクドライブベイに増設する場合

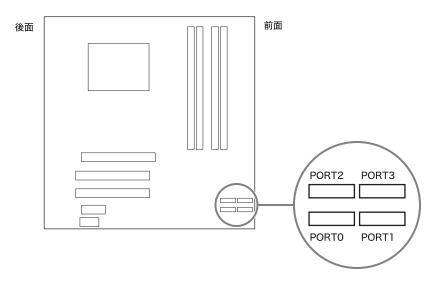
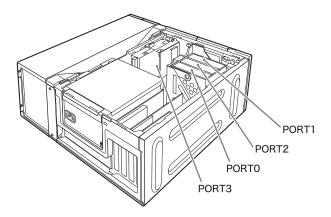
① ハードディスドライブベイを取り出す。
お買い上げ時に搭載のハードディスクドライブに接続されているケーブル類を取りはずし、ハードディスクドライブベイを取り出します。

!ご注意
ハードディスクドライブベイを取り出すとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

② 増設するハードディスクドライブをハードディスクドライブベイに取り付ける。
増設するハードディスクドライブをハードディスクドライブベイにネジで固定します。本機前面側のベイが空いている場合は、本機前面側のベイに取り付けてください。

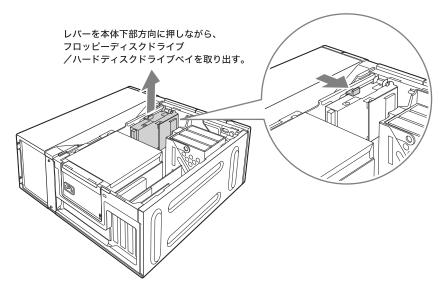
③ ハードディスクドライブベイを元の位置に取り付ける。

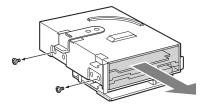
!ご注意
ハードディスクドライブベイを取り付けるとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

④ ケーブル類をお買い上げ時に搭載のハードディスクドライブおよび増設したハードディスクドライブの両方に接続する。
シリアルATA専用電源ケーブルとシリアルATAケーブルは必ず取り付けてください。なお、シリアルATAケーブルは、本機内部基板上のPORT（Serial ATA）コネクタと接続するハードディスクドライブの対応関係が次の表のとおりになるように接続してください。

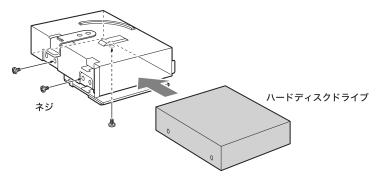
本機内部基板上のコネクタの表記	接続するハードディスクドライブ
PORT0（ポート0）	本機後面側のハードディスクドライブ
PORT1（ポート1）	本機前面側のハードディスクドライブ
PORT2（ポート2）	ドライブベイ中央のハードディスクドライブ

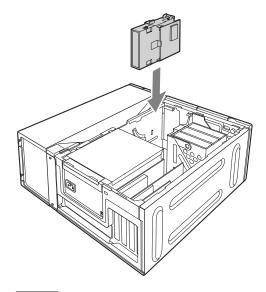
- 本機内部基板上のPORT（Serial ATA）コネクタの位置

- ハードディスクドライブの取り付け位置とPORT（Serial ATA）コネクタの対応

！ご注意
本機の構造上、市販のシリアルATAケーブル（コネクタ部がストレートになっているもの）を使用すると、カバーを開閉した際などにケーブルが抜けてしまうことがあります。
本機専用のシリアルATAケーブル（コネクタ部がL型のもの）のご使用をおすすめします。本機専用のシリアルATAケーブルは、VAIOカスタマーリンク ホームページのMySupporter（https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/mysupporter/index.html）ページ内「サービス＆サポート」より部品としてお買い求めいただけます。

❑ フロッピーディスクドライブ／ハードディスクドライブベイに増設する場合

① フロッピーディスクドライブ／ハードディスクドライブベイを取り出す。
ハードディスクドライブベイに空きが無く、フロッピーディスクドライブを取りはずしてハードディスクドライブを取り付ける場合は、お買い上げ時に搭載のフロッピーディスクドライブとフロッピーディスクドライブ／ハードディスクドライブベイ下部の基板に接続されているケーブル類を取りはずし、フロッピーディスクドライブ／ハードディスクドライブベイを取り出します。

！ご注意
フロッピーディスクドライブ／ハードディスクドライブベイを取り出すとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

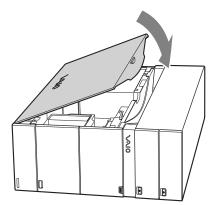
② フロッピーディスクドライブをフロッピーディスクドライブ／ハードディスクドライブベイから取りはずす。
フロッピーディスクドライブを固定するネジを取りはずして、フロッピーディスクドライブを取りはずします。

ネジをはずして、フロッピーディスクドライブを取り出す。

③ 増設するハードディスクドライブをフロッピーディスクドライブ／ハードディスクドライブベイに取り付ける。
増設するハードディスクドライブをフロッピーディスクドライブ／ハードディスクドライブベイにネジで固定します。

ハードディスクドライブをフロッピーディスクドライブ／ハードディスクドライブベイにネジで固定する。

④ フロッピーディスクドライブ／ハードディスクドライブベイを元の位置に取り付ける。

！ご注意
フロッピーディスクドライブ／ハードディスクドライブベイを取り付けるとき、まわりの部品にぶつけると、故障の原因となります。

⑤ 増設したハードディスクドライブにシリアルATA専用電源ケーブルとシリアルATAケーブルを接続し、フロッピーディスクドライブ／ハードディスクドライブベイ下部の基板に接続されていたケーブルを元どおりに接続する。
シリアルATAケーブルの一方は増設したハードディスクドライブに接続し、もう一方は基板上のPORT3（ポート3）と表記されたPORT（Serial ATA）コネクタに接続します。

！ご注意
本機の構造上、市販のシリアルATAケーブル（コネクタ部がストレートになっているもの）を使用すると、カバーを開閉した際などにケーブルが抜けてしまうことがあります。
本機専用のシリアルATAケーブル（コネクタ部がL型のもの）のご使用をおすすめします。本機専用のシリアルATAケーブルは、VAIOカスタマーリンク ホームページのMySupporter（https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/mysupporter/index.html）ページ内「サービス＆サポート」より部品としてお買い求めいただけます。

5 側面のカバーを取り付ける。

（1）カバー下部のツメを本体に合わせる。

（2）カバーをはめ込み、
カチッと音がすることを確認する。

6 本機を立てる。

ハードディスクドライブを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべてのケーブルを取りはずしてから行ってください。

本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

増設したハードディスクドライブを使用する前に

ハードディスクドライブを増設したあとは、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしてから、下記の手順に従って「パーティションの作成」、「パーティションの種類の設定」、「パーティションのフォーマット」を設定してください。
パーティションについて詳しくは、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックし、[ヘルプとサポート]をクリックして「ヘルプとサポートセンター」を表示させ、ディスクの管理の概要などの説明をご覧ください。
なお、増設されたハードディスクドライブは拡張パーティションとして作成され、NTFSフォーマットされていないと、本機が正しく動作しなくなることがあります。

1 本機の電源を入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(52ページ)をご覧ください。

ヒント
「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしてください。

2 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[コントロールパネル]をクリックする

「コントロールパネル」画面が表示されます。

3 [パフォーマンスとメンテナンス]をクリックし、[管理ツール]をクリックする。

「管理ツール」画面が表示されます。

4 (コンピュータの管理)をダブルクリックする。

「コンピュータの管理」画面が表示されます。

5 「コンピュータの管理」画面の左側のウィンドウの中の[ディスクの管理]をクリックする。

「コンピュータの管理」画面の右側のウィンドウに、接続されているディスクのパーティションの状況が表示されます。新しく増設したハードディスクドライブなど、目的のハードディスクドライブがこれまで使用されたことがなければ「未割り当て」と表示されます。

6 「記憶域」に表示される増設したハードディスクドライブの[ディスクx]*を右クリックして「ディスクの初期化」を選ぶ。

* ディスクxのx部分は、1、2、3のいずれかが表示されます。

!ご注意
増設するハードディスクドライブの状態によっては、上記の手順は不要な場合があります。

7 手順6で選んだディスクがチェックされていることを確認して、[OK]をクリックする。

!ご注意
増設するハードディスクドライブの状態によっては、上記の手順は不要な場合があります。

8 「未割り当て」の部分を右クリックして、表示されるメニューから[新しいパーティション]をクリックする。

「新しいパーティションウィザード」画面が表示されます。

9 [次へ]をクリックする。

「パーティションの種類を選択」画面が表示されます。

10 ［拡張パーティション］をクリックして選び、［次へ］をクリックする。

「パーティションサイズの指定」画面が表示されます。

！ご注意
作成するパーティションは必ず［拡張パーティション］を選んでください。［プライマリパーティション］を選んだ場合は、ソフトウェアの動作に不具合が生じます。

11 「パーティションサイズ」の入力欄に、作りたいパーティションの大きさを入力し、［次へ］をクリックする。

「パーティションの作成ウィザードの完了」画面が表示されます。

12 ［完了］をクリックする。

「パーティションの作成ウィザードの完了」画面が閉じます。
「コンピュータの管理」画面の右側のウィンドウで、パーティションの設定を行ったハードディスクドライブの表示が「未割り当て」から「空き領域」に変わります。

13 「空き領域」の部分を右クリックして、表示されるメニューから［新しい論理ドライブの作成］をクリックする。

「新しいパーティションのウィザードの開始」画面が表示されます。

14 ［次へ］をクリックする。

「パーティションの種類を選択」画面が表示されます。

15 ［論理ドライブ］をクリックして選び、［次へ］をクリックする。

「パーティションサイズの指定」画面が表示されます。

16 「パーティションサイズ」の入力欄に、作りたいパーティションの大きさを入力し、［次へ］をクリックする。

「ドライブ文字またはパスの割り当て」画面が表示されます。

17 「ドライブ文字の割り当て」を をクリックしてリストから選び、［次へ］をクリックする。

「パーティションのフォーマット」画面が表示されます。

18 「フォーマット」の各項目を以下のように設定し、［次へ］をクリックする。

使用するファイルシステム：NTFS
アロケーションサイズ：既定値
ボリュームラベル：ボリューム
「新しいパーティションのウィザードの完了」画面が表示されます。

19 ［完了］をクリックする。

パーティションの設定を行ったハードディスクドライブのフォーマットが始まります。フォーマットの状況は「コンピュータ管理」画面の右側のウィンドウにパーセントで表示されます。

フォーマットが終わると、増設したハードディスクドライブが使えるようになります。

ヒント
ハードディスクドライブを増設したあとに、RAID構成を変更することもできます。
詳しくは、「RAID構成を変更してリカバリする」（194ページ）をご覧ください。

！ご注意
- デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［バイオの設定］をクリックし、［電源・バッテリ］→［電源オプション］の順にダブルクリックすると表示される「電源オプションのプロパティ」画面で「ハードディスクの電源を切る」は「なし」に設定してください。
「なし」以外に設定すると、Do VAIOを使って録画を行うとき、録画に失敗することがあります。
- RAIDボリュームとRAIDを構成していないドライブ（ボリューム）がシステム内に混在するときは、Windowsが起動しない場合があります。この場合は、「よくあるトラブルと解決方法」の「Windowsが起動しない」（101ページ）をご覧ください。

IDEデバイスを増設する
（VGC-RA53を含む拡張デバイスベイ搭載モデル）

前面の拡張デバイスベイにIDEデバイスを1つ増設することができます。

！ご注意

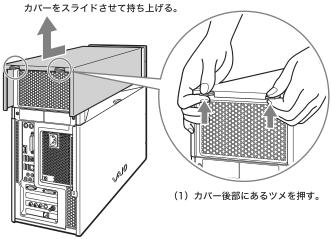
- デバイスの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- デバイスの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- デバイス増設の際には、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- デバイス増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- デバイス増設の際に異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてカバーを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 拡張デバイスベイは5インチサイズです。
- 本機の拡張デバイスベイにはIDEのコネクタが用意されています。増設するデバイスがIDEの場合は、SLAVE（スレーブ）に設定してください。設定方法については、増設するデバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 増設する機器によっては本機で動作しないものがあります。
  増設について詳しくは、販売店または増設機器メーカーにお問い合わせください。
- ご自分でデバイスの増設を行い、故障や事故が起きた場合は、修理はすべて有償となります。

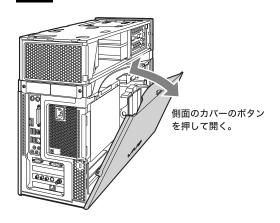
デバイスを取り付けるには

デバイスを取り付ける際には、本機のカバーを取りはずす必要があります。
以下の手順に従ってデバイスを取り付けます。
増設するデバイスの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1　本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずす。

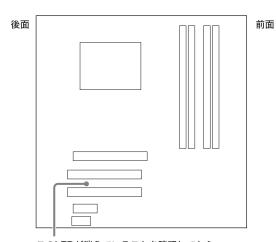
本機の電源を切って1時間ほどおいてから作業を行ってください。
電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。

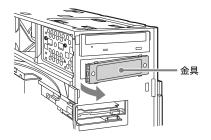
2　上部のカバーを取りはずす。

！ご注意
上部のカバーを取りはずしたあと、本機内部のファンには手を触れないようにしてください。

3　側面のカバーを取りはずす。

4 前面のカバーを取りはずす。

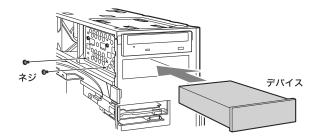
（1）前面パネル左側のツメ（3か所）をはずす。

（2）前面パネル右側のツメを折らないように注意しながら、
前面パネルを取りはずす。

ヒント
前面のカバーがはずしづらいときは、カバーの右側を軽くたたいてください。

このLEDが消えていることを確認してから
作業を行ってください。
電源コードを抜くと、LEDは消えます。

5 デバイスベイをふさいでいる金具をとりはずす。

ヒント
金具が取りはずしにくいときは、金具の穴にボールペンを引っかけるなどして取りはずしてください。

6 増設するデバイスを取り付ける。

デバイスベイに増設するデバイスをネジで固定します。
取り付けかたについて詳しくは、増設する機器の取扱説明書をご覧ください。

！ご注意

- ハードディスクドライブとDVDスーパーマルチドライブを同一のIDEコネクタに接続しないでください。
- 出荷時に搭載されているDVDスーパーマルチドライブはMASTER（マスター）に設定されています。
- 取り付けるデバイスでIDEケーブルをはさまないように、ケーブルを後ろにずらしてからデバイスを取り付けてください。

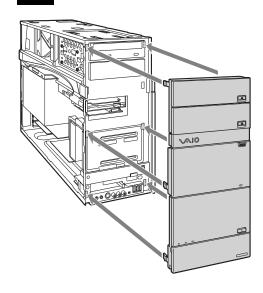
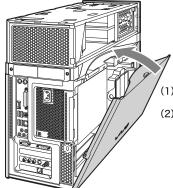
ヒント

増設するデバイスがIDEの場合は、SLAVE（スレーブ）に設定してください。設定方法については、増設するデバイスの取扱説明書をご覧ください。
デバイスの取り付けについて詳しくは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にお問い合わせください。

7 IDEケーブルと内蔵機器用の電源ケーブルを増設したドライブに接続する。

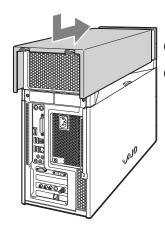
！ご注意

電源ケーブルとIDEケーブルを必ず取り付けてください。

8 前面のカバーを取り付ける。

9 側面のカバーを取り付ける。

(1) カバー下部のツメを本体に合わせる。

(2) カバーをはめ込み、
カチッと音がすることを確認する。

10 上部のカバーを取り付ける。

(1) カバーを少しずらして置く。

(2) カチッと音がするまでスライドさせる。

!ご注意

- 上部のカバーを取り付けるときに、本機内部のファンには触れないようにしてください。
- 取り付けたデバイスによっては、次のような状態になることがあります。
  - イジェクトボタンが押せない、または押しっぱなしになる。
  - ディスクドライブのトレイが引っかかる、または出てこない。

デバイスを取りはずすには

取り付けとは逆の手順で取りはずします。取りはずしの作業は、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードおよび周辺機器を接続しているすべての接続ケーブルを取りはずしてから行ってください。

リカバリについて

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のような場合などにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなったとき
- 何らかの原因で本機の動作が不安定になったとき
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまったとき

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

ヒント

リカバリ領域とは

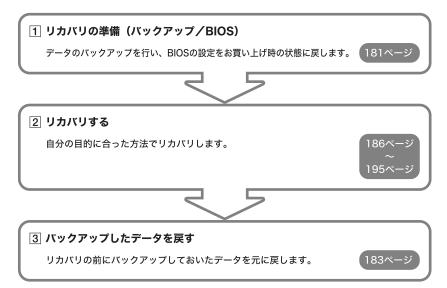
リカバリ領域とは、リカバリを行うための「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」に必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

！ご注意

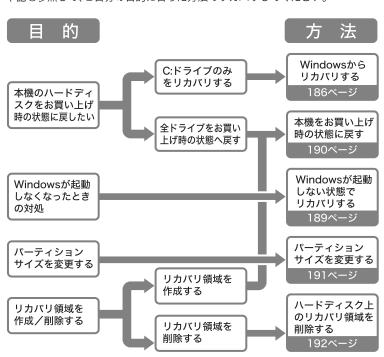
- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストール、インストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。

リカバリの種類／方法

リカバリの流れ

リカバリは、次の流れに従って行います。

ヒント

どの方法でリカバリすればいいの？

下記を参照して、ご自分の目的に合った方法でリカバリしてください。

リカバリの種類

リカバリ方法を次の4種類から選択することができます。通常は、「C:ドライブをリカバリする」を行うことをおすすめします。

リカバリの種類	方法	説明
C:ドライブをリカバリする	• Windowsからリカバリする • Windowsが起動しない状態でリカバリする	C:ドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、お買い上げ時の設定を復元します。 ハードディスクの状態 リカバリ領域 / C:ドライブ / D:ドライブ ※ C:ドライブのデータは削除されますが、D:ドライブのデータは削除されません。
パーティションサイズを変更してリカバリする	パーティションサイズを変更する	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除して、サイズを変更します。その後ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。 ハードディスクの状態 <リカバリ前> リカバリ領域 / C:ドライブ / D:ドライブ C:ドライブとD:ドライブのサイズを変更します。 <リカバリ後> リカバリ領域 / C:ドライブ / D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。
お買い上げ時の状態へリカバリする	本機をお買い上げ時の状態に戻す	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時の状態に戻します。その後ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。 リカバリディスクを使用 ハードディスクの状態 <ハードディスクはすべてお買い上げ時の状態に戻ります> リカバリ領域 / C:ドライブ / D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

また、「リカバリディスク」を使用して、ハードディスクのリカバリ領域を削除することができます。

リカバリの種類	方法	説明
ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	リカバリ領域を削除して、リカバリ領域が使用していた容量(約5GB)をデータの保存用などに使用できるようにします。 ハードディスクの状態 <リカバリ前> リカバリ領域 / C:ドライブ / D:ドライブ リカバリ領域が削除されます。 <リカバリ後> C:ドライブ / D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

リカバリの準備（バックアップ／BIOS）

リカバリする前に、データのバックアップを行い、BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻してください。

データのバックアップを作成する

本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。バックアップをとるには、次の方法があります。

- バックアップソフトウェア「HD革命/BackUp（バンドル版）」を使用する。
  デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］→［HD革命 BackUp（バンドル版）］の順にポインタを合わせ、［HD革命 BackUp起動（ココから始める）］をクリックして起動します。ドライブ全体のバックアップ、またはファイル・フォルダ単位でのバックアップのどちらかを選択してバックアップが行えます。更に、ファイル・フォルダ単位でのバックアップでは、「電子メールのデータ」「マイドキュメント」などを手軽に指定できる手順が用意されています。操作方法などについて詳しくは、本ソフトウェアの起動後にヘルプをご覧ください。
- フロッピーディスクにコピーする。
- CD-R／CD-RWにコピーする。
- DVDライタブルメディアにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、リカバリを行う。

本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「Windowsからリカバリする」（186ページ）の手順5で「C:ドライブをリカバリする」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ヒント
ここでは、DVD+R DL／DVD+R／DVD+RW／DVD-R／DVD-RW／DVD-RAMを総称して「DVDライタブルメディア」と略しています。

ここでは、手動でバックアップをとる場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ方法を紹介します。

1　デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］にポインタを合わせ、［Outlook Express］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「（ダイヤルアップ接続名）へ接続」画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックして画面を閉じてください。

2　［ツール］メニューから［オプション］をクリックする。

「オプション」画面が表示されます。

3　［メンテナンス］タブをクリックし、［保存フォルダ］をクリックします。

「保存場所」画面が表示されます。

4　「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにマウスポインタを合わせ、右クリックして表示されるリストから［すべて選択］をクリックする。

5　再度、「個人メッセージ ストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにマウスポインタを合わせ、右クリックして表示されるリストから［コピー］をクリックする。

6　デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックして［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

7　「名前」のテキストボックスにマウスポインタを合わせ、右クリックして［貼り付け］をクリックし、［OK］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのデータが保存されているフォルダの画面が表示されます。

はじめに
本機をセットアップする
インターネットを始める
困ったときは
サービス・サポート
その他
注意事項

8 **表示されているファイルの中から、拡張子が「＊.dbx」になっているファイルを、すべて外部記憶メディアに保存する。**

以上で「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ作成は完了です。

ヒント

- 「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
  「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタを合わせ、[SonicStage]をクリックします。
- CD-R／CD-RWやDVDライタブルメディアにデータをコピーする方法については、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[CD／DVDへのデータの保存]→「CDに保存」の[CDにデータを保存する]または[バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[CD／DVDへのデータの保存]→「DVDに保存」の[DVDにデータを保存する]の順にクリックする。)
- Do VAIOに登録されているコンテンツの管理データはC:ドライブに保存されています。
  Do VAIOのバックアップツールを使って管理データのバックアップをとってください。
  また、録画したビデオ映像のデータ(VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル)は、Do VAIOで保存先ドライブとして設定されているドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ)に保存されています。ただし、バックアップツールでは録画したビデオ映像のデータのバックアップをとることができません。録画したビデオ映像のデータを残す場合は、保存先ドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ)をフォーマットしないでください。バックアップツールは「VAIO Update」または下記ホームページからダウンロードしてください。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/soft/dovaio1.html

！ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCD-R／CD-RWやDVDライタブルメディアまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻す

BIOSの設定を変えた場合は、お買い上げ時の設定に戻してからリカバリしてください。BIOSをお買い上げ時の状態に戻すには、次のように操作します。

1 **本機の⏻(電源)ボタンを押し、画面に「VAIO」のロゴが表示されたら、キーボードのF2キーを押す。**

BIOSセットアップメニューが起動し、「BIOS SETUP UTILITY」画面が表示されます。

2 **F5キーを押す。**

「Load Setup Defaults」というメッセージが表示されます。

3 **←／→キーを押して[Ok]を選び、Enter(エンター)キーを押す。**

すべての設定項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

4 **F10(Save and Exit)キーを押す。**

「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。

5 **←／→キーを押して[Ok]を選び、Enter(エンター)キーを押す。**

変更された設定が保存され、BIOSセットアップメニューが終了し、Windowsが起動します。

リカバリの前に確認してください

- 本機に接続しているすべての周辺機器を取りはずしてください。周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- 専用のUSBフロッピーディスクドライブ(別売り)を取り付けている場合は、取りはずしてください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう1度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずにリカバリを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。

- **本機は、お買い上げ時に、ライセンス認証は完了されているため、お客様が認証作業を行う必要はありません。**
  リカバリを行った場合は、OSのライセンス認証は自動的に完了するためお客様が認証作業を行う必要はありませんが、Office PersonalまたはOffice Professional Enterpriseのライセンス認証はお客様が認証作業を行う必要があります(「Microsoft Office」ソフトウェア搭載モデルをお使いの方のみ)。
- **BIOSのパスワードを設定している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。絶対にBIOSのパスワードを忘れないでください。**

バックアップしたデータを戻す

リカバリが完了したら、リカバリを行う前にバックアップを取っておいたデータを元に戻し、変更していた設定などがあれば、それもリカバリ前の状態に戻します。
バックアップソフトウェア「HD革命/BackUp(バンドル版)」を使用してバックアップしたデータは、同ソフトウェアを使用して元に戻します(元に戻すことを「復元」といいます)。復元方法について詳しくはヘルプをご覧ください。

ここでは、手動でデータを復元する場合の例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールデータの戻しかたを紹介します。

1 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

2 [ファイル]メニューから[インポート]→[メッセージ]の順にクリックする。

「Outlook Express インポート」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールプログラムを選択してください」から、[Microsoft Outlook Express 6]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「場所の指定」画面が表示されます。

4 [Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする]の ○ をクリックして ◉ にし、[OK]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

5 [参照]をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[OK]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

6 [すべてのフォルダ]の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

7 [完了]をクリックする。

以上で、電子メールのデータが元の状態に戻ります。

リカバリディスクを作成する

リカバリに使用するディスクについて

リカバリでは、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、お買い上げ後すぐに作成してください。

入手方法	使用目的
ご自分で作成	• ハードディスクのリカバリ領域を使用しないでリカバリする。 • ハードディスクのリカバリ領域を作成／削除する。
ご購入（下記参照）	

リカバリディスクのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html
※ご購入にはVAIOカスタマー登録が必要です（58ページ）。

！ご注意
本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。

リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクとは、本機をリカバリするための情報をDVD+RやDVD-R、CD-Rなどのディスクに書き出したものです。「VAIO リカバリユーティリティ」を使うと、リカバリディスクが作成できます。リカバリディスクを用意しておくと、本機のハードディスク上のリカバリ領域を使わなくても、リカバリすることができます。ハードディスク上のデータが破損した（Windowsが起動しない）など、お買い上げ時の状態に戻したいときや、リカバリ領域を削除してより大きなハードディスク容量を確保したいときに使用します。
万一の場合に備えて、本機を使用する準備ができたら、はじめに、次の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

！ご注意

次のような操作を行った場合などに、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き換えてしまい、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。
本機を使用する準備ができましたら、はじめに、次の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

リカバリディスクとは

ハードディスクリカバリに対応した「バイオ」をリカバリする機能をもったディスクです。

ヒント
リカバリディスクを作成するときには、必ず「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーでログオンしてください。

1　デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックして［すべてのプログラム］→［VAIO リカバリツール］の順にポインタを合わせ、［VAIO リカバリユーティリティ］をクリックする。

ここをクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

2 ［リカバリディスクを作成する］を選んでクリックし、［OK］をクリックする。

「リカバリディスク作成ウィザード」画面が表示されます。

3 内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。

「ディスクの確認」画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

DVD-RまたはDVD+Rを使ってリカバリディスクを作成したいときは、［X枚のDVD-RまたはDVD+R（4.7GB）を使って作成する］を選んでクリックし、［次へ］をクリックします。
CD-Rのみを使ってリカバリディスクを作成したいときは、［X枚のCD-Rを使って作成する］を選んでクリックし、［次へ］をクリックします。

！ご注意
DVD+R DL／DVD+RW／DVD-RW／DVD-RAM／CD-RWはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。

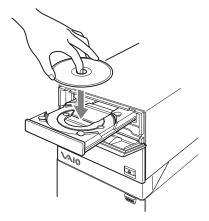
リカバリディスク作成用に必要なディスクの枚数は、手順4の画面で確認できます。
「リカバリディスクの作成」画面が表示されます。

5 ［作成開始］をクリックする。

ヒント
リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

リカバリディスクの作成が始まります。
未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 指示されたディスクをDVDスーパーマルチドライブに挿入し［OK］をクリックする。

① ディスクをトレイの中央に置く。

② ディスクトレイを軽く押して、トレイを閉める。
「リカバリディスクの作成」画面に現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

ヒント
画面の指示に従ってディスクを入れ換える手順を数回繰り返します。
ディスクへの書き込みが完了すると、DVDスーパーマルチドライブからディスクトレイが自動的に引き出され、ディスク作成完了のメッセージが表示されます。

7 画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリディスクの作成がすべて完了すると、「ディスクの作成が完了しました。」画面が表示されます。

!ご注意
ディスク名を書き込むときに、ボールペンを使用しないでください。

8 [OK]をクリックする。

以上でリカバリディスクの作成は終了です。

リカバリする

Windowsからリカバリする

Windowsからリカバリするには、次の手順で操作します。Windowsが起動できない状態で本機をリカバリするときは、「Windowsが起動しない状態でリカバリする」(189ページ)をご覧ください。

!ご注意
リカバリする前に、データのバックアップを行い、BIOSの設定をお買い上げ時の状態に戻してください(181ページ)。

1 デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタを合わせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

ここをクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

ヒント
「リカバリ領域が削除されています。」画面が表示された場合は、「本機をお買い上げ時の状態に戻す」(190ページ)をご覧ください。

2 [本機をリカバリする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

①ここをクリックする。

②ここをクリックする。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

ヒント
「HD革命/BackUp」ソフトウェアを使用してデータのバックアップを行う場合は、[バックアップソフトウェアを起動する]を選択し、[OK]をクリックしてください。

3 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

5 [C:ドライブをリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

① ここをクリックする。

② ここをクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

6 画面の内容を確認し、[リカバリ開始]をクリックする。

「リカバリを開始してもよろしいですか？」画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

リカバリを中止するときは、[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。
本機が再起動して、しばらくすると「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

ヒント
リカバリ作業には数十分かかる場合があります。

しばらくすると「「システムリカバリ」が完了しました。」画面が表示されます。

8 [OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

9 [再起動]をクリックする。

本機が再起動します。

!ご注意
- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。途中、（ポインタ）だけがしばらく表示されていますが、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまで、そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

10 「Windowsを準備する」(55ページ)の手順に従って、Windowsをセットアップする。

「「アプリケーションリカバリ」を行います。」画面が表示されます。

!ご注意
Windowsのセットアップ終了後、自動的に再起動します。複数ユーザーを設定している場合は、ユーザー選択画面が表示されます。
この場合は、いずれかのユーザー名をクリックして、Windowsを起動してください。

ヒント
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

11 [OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、アプリケーションのインストールを開始します。

ヒント
途中でディスクを挿入するようメッセージが表示された場合は、ディスクドライブにディスクを入れてください。

12 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003がプリインストールされていないモデルをお使いの方は、アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。

❑ Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003をインストールする

Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003プリインストールモデルをお使いの方は、引き続き次の手順を行ってください。

13 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003をインストールする。

Office Personal 2003プリインストールモデルをお使いの場合
「Office Personal 2003 のインストールを行います。」画面が表示されるので、付属の「Office Personal Edition 2003 プレインストールパッケージ」でOffice Personal 2003をインストールする。

Office Professional Enterprise 2003プリインストールモデルをお使いの場合
「Office Professional Enterprise 2003のインストールを行います。」画面が表示されるので、付属の「Office Professional Enterprise 2003プレインストールパッケージ」でOffice Professional Enterprise 2003をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

① Office Personal 2003 CDまたはOffice Professional 2003 CDをディスクドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。

② 「インストールの種類」画面が表示されたら、[完全インストール]の ◯ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

③ 「ファイルの概要」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
インストールが始まります。

④ 「セットアップの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールが完了しました。

Webサイトでの更新および追加ダウンロードについて
[Web サイトで更新および追加ダウンロードをチェックする]のチェックボックスを ☐ にした場合でも、インストール完了後に次の操作を行うと、追加コンポーネントまたはセキュリティ問題の修正プログラムをオンラインで利用できます。オンラインで利用する場合は、インターネットに接続している必要があります。

① Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアを起動し、[ヘルプ]メニューの[更新のチェック]をクリックする。

② Webサイトが表示されたら、ページの左側にある[ダウンロード]が選択されていることを確認する。

③ 必要なOffice Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のアップデートを行う。

ヒント
本機では、「C:¥Program Files¥Office11¥SP1」にOffice 2003 Service Pack 1のインストール用プログラムが保存されています。リカバリ時にOffice Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールを行うと自動で「Office 2003 Service Pack 1」はインストールされますのでお客様がインストールする必要はありません。

Office Professional Enterprise 2003プリインストールモデルをお使いの場合は、手順15に進んでください。

14 Office Personal 2003プレインストールパッケージで、Microsoft(R) Office Home Style+をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

① Microsoft(R) Office Home Style+ CDをディスクドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。

② 「セットアップ先のフォルダ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。

③ 「インストールタイプ選択」画面が表示されたら、[標準]の ○ をクリックして ◉ にし、[次へ]をクリックする。

④ 「インストールの開始」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
インストールが始まります。

⑤ 「Microsoft(R) Office Home Style+のインストールが正常に終了しました。」メッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。
Office Home Style+のインストールが完了しました。

15 「Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールを行います」画面の[OK]をクリックする。

引き続き、自動的に残りのアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

16 アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。

これでリカバリが完了しました。

17 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。
また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。詳しくは、パッケージに付属の「スタートガイド」をご覧ください。

- Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアを起動する。
- Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアの「ヘルプ」メニューの[ライセンス認証]をクリックする。

なお、ライセンス認証については、次の専用窓口にお問い合わせください。

ライセンス認証専用窓口
電話番号：(0120)801-734　　受付時間：24時間受付

!ご注意
インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませておく必要があります。
インターネットの接続について詳しくは、「インターネットを始める」(67ページ)をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリする

Windowsが完全に起動しないときは、次の手順に従って本機をリカバリします。
また、リカバリディスクを作成(184ページ)している場合には、リカバリディスクを使用してリカバリを開始できます。

1 ⏻(電源)ボタンを押して本機の電源を入れ、「VAIO」ロゴが表示されたあと、F10キーを押す(起動には数分かかる場合があります)。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

ヒント
リカバリディスクでもリカバリウィザードを起動させることができます。本機の電源が入っている状態で、ディスクドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れてください。

!ご注意

- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクドライブ)の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
  ([ソフト紹介／問い合わせ先]→[サポート・ヘルプ]→[VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.0]の順にクリックする。)

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順1からやり直してください。何度やり直しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、「本機をお買い上げ時の状態に戻す」(190ページ)をご覧ください。
- リカバリ領域を削除している方は、リカバリディスクを使用してリカバリしてください。

2 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

3 「Windowsからリカバリする」(186ページ)の手順4以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

本機をお買い上げ時の状態に戻す

本機のすべてのハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すには、次の手順に従って操作します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成を元に戻したい場合も、この手順を行ってください。

！ご注意
この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

1 本機の電源が入っている状態で、「リカバリディスク」をディスクドライブに入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(52ページ)をご覧ください。

2 本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切るには」(53ページ)をご覧ください。

3 30秒ほど待ってから、⏻(電源)ボタンを押して本機の電源を入れる。

「VAIO」ロゴが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます(起動には数分かかる場合があります)。

！ご注意
- [RAID構成変更]をクリックすると、RAID構成を変更するための画面が表示されます(194ページ)。
RAID構成を変更する必要がない場合は、[RAID構成変更]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。
- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクドライブ)の検査を行うことができます。
ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
([ソフト紹介／問い合わせ先]→[サポート・ヘルプ]→[VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.0]の順にクリックする。)

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 [お買い上げ時の状態にリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

7 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

8 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。
リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

9 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

本機が自動的に再起動します。

10 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクをディスクドライブに入れ、[OK]をクリックする。

引き続きリカバリ作業が行われます。
リカバリ実行中に、ディスクを取り出す、または入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

ヒント
リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

11 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら画面の指示に従ってディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

12 「Windowsからリカバリする」(186ページ)の手順9以降の操作を行ってください。

パーティションサイズを変更する

パーティションとは

ハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。
本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、「SonicStage」ソフトウェアや「DVgate Plus」ソフトウェア、Do VAIO(VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル)などで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域(データスペース)として使えるように設定されています(お買い上げ時)。
本機はリカバリ機能を使ってC:ドライブとD:ドライブのパーティションサイズを変更できます。
より多くのハードディスク容量が必要な場合は、リカバリ領域を削除することができます(192ページ)。
動画の取り込みや書き出しを行う場合は、大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化(デフラグ)またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するのに非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ヒント

断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

デフラグ(最適化)とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ(最適化)により、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

パーティションサイズを変更するには

次の手順に従ってパーティションサイズを変更します。

!ご注意

この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

ヒント

- 「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」ソフトウェアのバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。
  バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- Do VAIOに登録されているコンテンツの管理データはC:ドライブに保存されています。
  Do VAIOのバックアップツールを使って管理データのバックアップをとってください。
  また、録画したビデオ映像のデータ(VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル)は、Do VAIOで保存先ドライブとして設定されているドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ)に保存されています。ただし、バックアップツールでは録画したビデオ映像のデータのバックアップをとることができません。録画したビデオ映像のデータを残す場合は、保存先ドライブ(お買い上げ時の設定ではD:ドライブ)をフォーマットしないでください。バックアップツールは「VAIO Update」または下記ホームページからダウンロードしてください。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/soft/dovaio1.html

1 「Windowsからリカバリする」(186ページ)の手順1～4を行う。

「Windowsからリカバリする」(186ページ)

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

2 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

3 C:ドライブのパーティションサイズを ▼ をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

① クリックして選ぶ。

② ここをクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

4 「Windowsからリカバリする」(186ページ)の手順6以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

ハードディスク上のリカバリ領域を削除する

次の手順でリカバリディスクを使ってハードディスク上のリカバリ領域を削除できます。

!ご注意

- 「リカバリディスクを作成するには」(184ページ)の手順に従ってリカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。
- この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

1 本機の電源が入っている状態で、「リカバリディスク」をディスクドライブに入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」(52ページ)をご覧ください。

2 本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切るには」(53ページ)をご覧ください。

3　30秒ほど待ってから、⏻(電源)ボタンを押して本機の電源を入れる。

「VAIO」ロゴが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます(起動には数分かかる場合があります)。

!ご注意

- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。
- [ハードウェアの診断]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクドライブ)の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、[ハードウェアの診断]をクリックせず、[次へ]をクリックしてください。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
  ([ソフト紹介/問い合わせ先]→[サポート・ヘルプ]→[VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.0]の順にクリックする。)

4　内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5　内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6　[パーティションサイズを変更してリカバリする]を選択してクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ領域 オプション」画面が表示されます。

7　[リカバリ領域を削除する]を選択してクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ領域を削除するように設定します。」画面が表示されます。

8　[はい]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。

9　[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

10　「Windowsからリカバリする」(186ページ)の手順6以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

RAID構成を変更してリカバリする

RAIDとは

RAID（Redundant Arrays of Independent Disks）とは、複数のハードディスクを使用して、1台のハードディスクとして管理する技術のことです。
本機では、2台のハードディスクを使用して、RAID 0とRAID 1をサポートします。RAID 0とRAID 1のどちらを使用するかは、お客様の用途に応じて使い分けてください。

！ご注意
RAID 0、またはRAID 1以外のRAID構成に変更した場合、データの書き込みに対する信頼性が低下し、テレビ番組の録画が行われないなど、本機が正常に作動しない場合があります。

ストライピング (RAID 0)	2台のハードディスクに均等にデータを振り分け、同時並行で記録する方式です。 **メリット：** データの読み書きを高速化できます。 **デメリット：** 片方のハードディスクが破損するとデータ全体が失われるため、1台のハードディスクに記録するのと比べて、信頼性が低下します。
ミラーリング (RAID 1)	2台のハードディスクに同じデータを同時に書き込む方式です。 **メリット：** 片方のハードディスクが破損しても、もう一方のHDDからデータを読み出せるので、システムは問題なく稼動し続けることができます。 **デメリット：** 両方のハードディスクに同じデータを書き込むことになるため、実際に使用できる容量は本来のハードディスク容量の半分になります。

RAID構成を変更する

RAID構成を変更する場合は、次の手順に従います。

！ご注意
この操作を行うと、それ以前にあったデータは、C:ドライブ、D:ドライブともに失われてしまいます。

1 本機の電源が入っている状態で、「リカバリディスク」をディスクドライブに入れる。

電源の入れかたについて詳しくは、「電源を入れる」（52ページ）をご覧ください。

2 本機の電源を切る。

詳しくは、「電源を切るには」（53ページ）をご覧ください。

3 30秒ほど待ってから、⏻（電源）ボタンを押して本機の電源を入れる。

「VAIO」ロゴが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます（起動には数分かかる場合があります）。

！ご注意
- 「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。
- ［ハードウェアの診断］をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブ）の検査を行うことができます。
  ハードウェアの検査を行わない場合は、［ハードウェアの診断］をクリックせず、［次へ］をクリックしてください。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［ソフト紹介／問い合わせ先］→［サポート・ヘルプ］→［VAIO ハードウェア診断ツール Ver.3.0］の順にクリックする。）

4 ［RAID構成変更］をクリックする。

「RAID構成変更ウィザード」画面が表示されます。

5 内容をよく読み、［次へ］をクリックする。

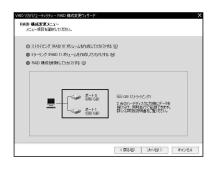
「現在のRAID構成確認」画面が表示されます。

6 現在のRAID構成を確認し、[次へ]をクリックする。

「RAID構成変更メニュー」画面が表示されます。

ヒント
ポート0/1、ポート2/3の組み合わせでのRAID構成が推奨です。

7 RAID構成の種類を選択して、[次へ]をクリックする。

ヒント
VGC-RA73P･RA53は、お買い上げ時にはRAID 0に設定されています。
VGC-RA73PS･RA73Sのうち複数台のハードディスクドライブを搭載したモデルをお買い上げのお客様は、本機に同梱している、選択された仕様を記載した印刷物をご覧になり、お買い上げ時の設定をご確認ください。

「変更後のRAID構成確認」画面が表示されます。

8 変更後のRAID構成を確認し、[次へ]をクリックする。

9 [はい]をクリックする。

「RAID構成を変更しています。しばらくお待ちください。」というメッセージが表示され、RAID構成の変更が開始されます。
RAID構成の変更が完了すると、「RAID構成の変更が完了しました。」という画面が表示されます。

10 [再起動]をクリックします。

終了確認の画面が表示されるので、「はい」をクリックします。

11 再度、「リカバリウィザード」画面が表示されるので、[次へ]をクリックする。

！ご注意
RAID構成の変更後は、[RAID構成変更]をクリックせず、[次へ]をクリックして手順を進めてください。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

12 「本機をお買い上げ時の状態に戻す」(190ページ)の手順4以降の説明に従って「システムリカバリ」および「アプリケーションリカバリ」を行ってください。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で本機の電子マニュアル「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

1 **デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。**

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 **画面左側の[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックする。**

3 **表示されたリストから項目を選びソフトウェア名をクリックする。**

!ご注意

- Windows XPでは、使用者がOS上で作業を行うために機能を使用するための権限とアクセス許可を必要とします。本機に付属するソフトウェアの中でも、同様に使用するための権限とアクセス許可が必要なものがあります。
  インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログオンしているユーザーに対し、必要な権限とアクセス許可が与えられていない可能性があります。その場合は、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーで再度ログオンするか、お使いのユーザーに「コンピュータの管理者」アカウントの権限を与える設定にして作業をやり直してください。
  「コンピュータの管理者」アカウントの使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。
  権限とアクセス許可について詳しくは、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[コントロール パネル]→[ユーザーアカウント]の順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストール、インストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

AVエンターテインメント

❑ Do VAIO（ドゥー・バイオ）
VAIOカスタマーリンク

❑ Image Converter（イメージ コンバーター）
VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集・再生

❑ DVgate Plus（ディーブイゲート プラス）（DolbyDigital5.1ch Decライセンスあり）
VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe(R) Premiere(R) Pro 日本語版（アドビ プレミア プロ）
（VGC-RA73P・RA73PS）
アドビシステムズ株式会社テクニカルサポート
電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）または（03）5304-2400
受付時間：月曜～金曜：9時30分～17時30分（年末年始、土日祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：http://www.adobe.co.jp/support/oemsony/

❑ Adobe(R) Premiere(R) Standard 日本語版（アドビ プレミア スタンダード）
（VGC-RA53・RA73S）
アドビシステムズ株式会社テクニカルサポート
製品の不具合やトラブルに関するお問合せ先アドビソフトウェア使用中に発生したクラッシュやエラーなどのトラブル・製品の不具合に関するお問合せのサポートをご提供します。
電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）または（03）5304-2400
受付時間：月曜～金曜：9時30分～17時30分（年末年始、土日祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：http://www.adobe.co.jp/support/oemsony/

❑ VAIO Edit Components（バイオ エディット コンポーネンツ）
VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Media(TM) Player（ウィンドウズ メディア プレーヤー）
VAIOカスタマーリンク

❑ WinDVD for VAIO（ウィンディーブイディー フォー バイオ）
（6chドルビーバーチャルスピーカー／ドルビーヘッドホン対応）
VAIOカスタマーリンク

DVD作成

❑ Click to DVD（クリック トゥ ディーブイディー）
VAIOカスタマーリンク

❑ DVDit (R)（ディーブイディー イット）
ソニックサポートセンター
電話番号：（03）5232-5065
受付時間：土曜、日曜、祝日、年末年始を除く
10時～12時、13時～17時
電子メール：下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。
ホームページ：http://www.sonicjapan.co.jp/support/

❑ TMPGEnc DVD Author for VAIO（ティーエムペグエンク ディーブイディー オーサー フォー バイオ）
株式会社ペガシス サポートセンター
電話番号：（03）5624-2161
受付時間：月曜～金曜：10時～13時、14時～18時
（土日祝日弊社指定休日を除く）
ホームページ：http://www.pegasys-inc.com/
※製品のサポート情報の閲覧や電子メールでの問い合わせも、こちらからご利用になれます。

❑ TMPGEnc MPEG Editor for VAIO（ティーエムペグエンク エムペグ エディター フォー バイオ）
株式会社ペガシス　サポートセンター
電話番号：（03）5624-2161
受付時間：月曜～金曜：10時～13時，14時～18時
（土日祝日・株式会社ペガシス指定休日を除く）
ホームページ：http://www.pegasys-inc.com/
※製品のサポート情報の閲覧や電子メールでの問い合わせも、こちらからご利用になれます。

❑ TMPGEnc XPress for VAIO（ティーエムペグエンク エクスプレス フォー バイオ）
株式会社ペガシス　サポートセンター
電話番号：（03）5624-2161
受付時間：月曜～金曜：10時～13時，14時～18時
（土日祝日・株式会社ペガシス指定休日を除く）
ホームページ：http://www.pegasys-inc.com/
※製品のサポート情報の閲覧や電子メールでの問い合わせも、こちらからご利用になれます。

音楽

❑ SonicStage（ソニックステージ）
VAIOカスタマーリンク

❑ SonicStage Mastering Studio（ソニックステージ マスタリング スタジオ）
VAIOカスタマーリンク

❑ **DigiOnSound(R) Professional for VAIO（VGC-RA73P・RA73PS）**

株式会社デジオン サポートセンター
電話番号：（092）833-6288
受付時間：月曜～金曜：10時～12時、13時～17時（祝日、特別休業日を除く）
ファックス番号：（092）833-6278
電子メール：support@digion.com
ホームページ：http://www.digion.com/

静止画・写真

❑ **PictureGear Studio**

VAIOカスタマーリンク

❑ **Adobe(R) Photoshop(R) Elements日本語版（ソフトウェアインストーラ搭載モデルのみ）**

アドビシステムズ株式会社テクニカルサポート
電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）または（03）5304-2400
受付時間：月曜～金曜：9時30分～17時30分（年末年始、土日祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.co.jp/support/oemsony/

ホームネットワーク

❑ **VAIO Media**

VAIOカスタマーリンク

❑ **VAIO Media Integrated Server**

VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

❑ **みんなでTV電話スタータ**

NTTコミュニケーションズ（株）
ドットフォン パーソナル インフォメーションセンター
電話番号：（0120）050-506
受付時間：月曜～金曜：9時～17時（指定休業日、祝日を除く）
ホームページ：http://coden.ntt.com/service/pv/

インターネット・メール

❑ **Microsoft(R) Outlook Express**

VAIOカスタマーリンク

❑ **Microsoft(R) Internet Explorer**

VAIOカスタマーリンク

❑ **Google ツールバー(TM) 日本語版**

グーグル株式会社
電子メール：toolbar-support-ja@google.com

ISPサインアップ

❑ **So-net簡単スターター**

ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社
So-net「インフォメーションデスク」
電話番号：
（一般固定電話から）（0570）00-1414
（携帯PHS･IP電話から）札幌（011）711-3765
（携帯PHS･IP電話から）仙台（022）256-2221
（携帯PHS･IP電話から）東京（03）3446-7555
（携帯PHS･IP電話から）名古屋（052）819-1300
（携帯PHS･IP電話から）大阪（06）6577-4000
（携帯PHS･IP電話から）広島（082）286-1286
（携帯PHS･IP電話から）福岡（092）624-3910
受付時間：9時～21時（年中無休）
ファックス番号：（03）3446-7557
電子メール：info@so-net.ne.jp
ホームページ：http://www.so-net.ne.jp/support/

❑ **BIGLOBEでインターネット**

BIGLOBEカスタマーサポート インフォメーションデスク
電話番号：
（0120）86-0962（通話料無料）
（03）3947-0962（携帯電話、PHS、CATV電話の場合）
受付時間：9時～22時（365日受付）
ファックス番号：（03）3798-4198
ホームページ：http://support.biglobe.ne.jp/

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(R) Office Personal Edition 2003（Service Pack 1含む）（VGC-RA73PS・RA73Sのうち「Office Personal 2003」ソフトウェア搭載モデル）

マイクロソフト スタンダードサポート

電話番号：東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ：4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間：月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜：10時～17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜祝日を除く）

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：期間、回数の指定はありません。こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間：月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜日曜：10時～17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2003 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

起動するときは

目的に合わせて、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Microsoft Office]から各ソフトウェアをクリックして起動します。

❑ Microsoft(R) Office Professional Enterprise Edition 2003（Service Pack 1含む）（VGC-RA73PS・RA73Sのうち「Office Professional Enterprise 2003」ソフトウェア搭載モデル）

マイクロソフト スタンダードサポート

電話番号：東京（03）5354-4500／大阪（06）6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ：4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。本件について詳しくは、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間：月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜：10時～17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜祝日を除く）

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：期間、回数の指定はありません。こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間：月曜～金曜：9時30分～12時、13時～19時、土曜日曜：10時～17時（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional Enterprise 2003 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

起動するときは

目的に合わせて、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Microsoft Office]から各ソフトウェアをクリックして起動します。

実用ツール

❑ RecordNow!(レコードナウ)
ソニックサポートセンター
電話番号:(03)5232-6400
受付時間:土曜、日曜、祝日、年末年始を除く 10時〜12時、13時〜17時
電子メール:下記のURLのメールサポートフォーム よりお問い合わせください。
ホームページ:http://www.sonicjapan.co.jp/support/

❑ **駅すぱあと**
ユーザーサポートセンター
電話番号(テクニカル):(03)5373-3522
電話番号(バージョンアップ):(03)5373-3521
受付時間:月曜〜金曜:10時〜12時、13時〜17時(祝日、年末年始、夏期休暇を除く)
ファックス番号:(03)5373-3523
電子メール:support@val.co.jp
ホームページ:http://ekiworld.net/

❑ **デジタル全国地図**
株式会社ゼンリンデータコム お客様相談室
受付時間:月曜〜金曜:10時〜17時(祝日弊社指定休日は除く)
電子メール:itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ:http://www.its-mo.net/

❑ HD(エイチディ) **革命**/BackUp(バックアップ)**(バンドル版)**
株式会社　アーク情報システム　サポート係
電話番号:(03)3234-9251
受付時間:月曜〜金曜:10時〜12時、13時〜17時(年末年始、祝日を除く)
ファックス番号:(03)3234-9252
電子メール:kakumei@ark-info-sys.co.jp
ホームページ:http://www1.ark-info-sys.co.jp/

❑ Adobe(R)(アドビ) Reader(R)(リーダー)
アドビ システムズ 株式会社
ホームページ:http://www.adobe.co.jp/support/products/adobereader.html
製品の操作方法に関するお問い合わせについて:
製品の操作方法に関しては有償となります。
有償サポート "Adobe Expert Program" についての詳しい情報は http://www.adobe.co.jp/support/expert_support/main.html をご参照ください。
また、製品別サポートデータベース http://www.adobe.co.jp/support/main.html にて最新のサポート情報を参照することができ、ご自身でトラブルシューティングしていただくこともできます。

❑ Norton Internet Security 2005(ノートン インターネット セキュリティ)
シマンテックストア
電話番号:(0570)005557(ナビダイヤル)
受付時間:月曜〜金曜:10時〜17時(年末年始、祝日を除く)
ファックス番号:(0570)005558(ナビダイヤル)
ホームページ:http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/sony/
ユーザー登録およびご購入前の一般的なご質問に関するお問合せ:
シマンテックコンシューマカスタマーサービスセンター
電話番号:(0570)054115(ナビダイヤル)
受付時間:月曜〜金曜:10時〜17時(年末年始、祝日を除く)
ファックス番号:(0570)054116(ナビダイヤル)
ホームページ:http://www.symantec.co.jp/
※FAXでのお問い合わせはご回答までにお時間がかかる場合があります。お急ぎの場合は、お電話でのお問い合わせをお勧めいたします。
技術的なお問い合わせ:
シマンテックコンシューマテクニカルサポートセンター
本センターをご利用頂くためには、以下のサイトにて、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートチケットをご購入頂くか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。
受付時間:月曜〜金曜:10時〜18時(年末年始、祝日を除く)
ホームページ:
http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/sony/

設定・ユーティリティ

❑ **バイオメニュー**
VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Action Setup(バイオ アクション セットアップ)
VAIOカスタマーリンク

❑ **メモリースティックフォーマッタ**
ソニー株式会社　テクニカルインフォメーションセンター
ホームページ:
http://www.sony.net/memorystick/support/

❑ **バイオの設定**
VAIOカスタマーリンク

❑ **ディスプレイユーティリティ**
詳細は付属ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

- ❑ DV-アナログ入出力切り替えツール（VGC-RA73Pを含むアナログ変換対応モデル）
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ DV-アナログ変換/i.LINK（TS）機能選択ツール（VGC-RA73Pを含むデジタル放送録画対応モデル）
  VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

- ❑ バイオ電子マニュアル
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ VAIO ハードウェア診断ツール
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ できるWindows XP for VAIO
  インプレスカスタマーセンター
  電話番号：（03）5213-9295
- ❑ How to VAIO
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ VAIOリカバリユーティリティ
  VAIOカスタマーリンク
- ❑ VAIO Update
  VAIOカスタマーリンク

その他

- ❑ Java(TM) Software
  サン・マイクロシステムズ株式会社
  ホームページ：http://www.java.com/ja/
- ❑ VAIOオンラインカスタマー登録
  ソニーマーケティング株式会社
  カスタマー専用デスク
  電話番号：（0466）38-1410
  受付時間：月曜～金曜日 10時～18時（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。

「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。

まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど、異常な高温になる場所には置かないでください。故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 本機は精密機器であるため、ほこりが多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 風通しが悪い場所では使用しないでください。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近くに置かないでください。故障の原因となることがあります。

ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイについて
  画面上に常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。そのままご使用になると故障の原因となります。

結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。

管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に暖まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクドライブの取り扱いについて

本機には、ハードディスクドライブ(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- 衝撃を与えないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買い上げ時に搭載されているハードディスクドライブは取りはずさないでください。取りはずすことができるのは、増設用のハードディスクドライブベイに増設したハードディスクドライブのみです。

ハードディスクドライブのバックアップについて

ハードディスクドライブは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクドライブに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめします。ハードディスクドライブのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。データの損失については、一切責任を負いかねます。

Do VAIOについて（VGC-RA73P・RA53を含むテレビ録画機能搭載モデル）

本機へアナログ入力するときのご注意

「DVgate Plus」ソフトウェアまたはDo VAIOを使って、本機のアナログ入力コネクタから静止画や動画を取り込むとき、静止画や動画にノイズが出たり、一時途切れたり、取り込みに失敗することがあります。これらの現象は、以下のように映像の同期信号が乱れた場合に起こります。

ヒント
「DVgate Plus」ソフトウェアを使って、本機にアナログ入力ができるのはVGC-RA73PのうちDV-アナログ入出力切り替えツール搭載モデルのみです。

- 取り込む動画が乱れたとき、または本機に何も入力されていないとき
- 本機後面のAUDIO/VIDEO INPUT1コネクタ（VGC-RA73シリーズ）／VIDEO 1 INPUTコネクタ（VGC-RA53）または本機前面のVIDEO 2 INPUTコネクタにつないだケーブルをつなぎかえたとき
- テレビ番組を入力中にテレビ局の放送信号が何らかの原因で乱れたとき
- 入力中のテレビ番組の電波が弱いとき、ノイズが入ったとき、または放送が行われてないとき
- ビデオデッキから映像入力中に、ビデオデッキのチャンネルや入力を切り換えたとき
- ビデオデッキや、ビデオカメラレコーダーから映像入力中に、ビデオテープのつなぎ撮りをした部分を再生したとき
- ビデオカメラレコーダーで録画中に振動やゆれを加えて撮ったテープを再生したとき
- 本機へ映像入力中に再生側のビデオデッキやビデオカメラレコーダーに振動やゆれが加わったとき

ケーブルテレビを受信するときのご注意

ケーブルテレビの受信はケーブルテレビの放送（サービス）が行われている地域のみで可能です。ケーブルテレビを受信する場合は、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナルが必要になります。詳しくは、各地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

システムの復元をご使用になるときのご注意

システムの復元を使って復元ポイントに戻すと、レジストリの情報が復元前の状態に戻ります。その場合、Do VAIOの設定が失われることがあります。

CDやDVDなどのディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。

- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部にディスクが貼り付いて、本機の故障の原因となることがあります。
  ラベルが正しく貼られていることを確認してからディスクをお使いください。
  ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- 外縁を支えるようにして持ち、記録面（再生面）に触れないようにしてください。記録面が汚れるとデータの読み込み、書き込みができなくなります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 直射日光が当たって高温になった自動車の中に長時間放置しないでください。
- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなどで文字を書くと、記録面を傷つけ、データの読み込みや書き込みができなくなることがあります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

“メモリースティック”に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 端子部には手や金属で触れないでください。

- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”に付属の収納ケースに入れてください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

"メモリースティック デュオ"使用上のご注意

- メモリースティック デュオ アダプターは、"メモリースティック デュオ"が装着されていない状態で本機に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- "メモリースティック デュオ"のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力がかからないようご注意ください。
- 挿入するときは、"メモリースティック"の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると本機のMEMORY STICK(メモリースティック)スロットや"メモリースティック"本体を破損するおそれがあります。
- "メモリースティック"と"メモリースティック デュオ"は同時に差し込まないでください。本機のMEMORY STICK(メモリースティック)スロットや"メモリースティック"、"メモリースティック デュオ"本体が破損するおそれがあります。

"マジックゲート メモリースティック"使用上のご注意

本機のMEMORY STICK(メモリースティック)スロットは、"マジックゲート メモリースティック"に記録した音楽ファイルなど、著作権保護されたファイルの取り扱いには対応していません。エクスプローラなどでそれらのファイルやディレクトリを操作した場合、ファイルが無効となり、使えなくなる場合があります。著作権保護されているファイルの操作を行う場合は、メモリースティックウォークマンなどの"マジックゲート メモリースティック"に対応した機器と、「SonicStage」ソフトウェアなどの著作権保護されたファイルに対応したソフトウェアをご使用ください。著作権保護されているファイルの操作を行う場合は、本機のMEMORY STICK(メモリースティック)スロットは使用しないでください。

"メモリースティック"以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

"メモリースティック"以外のメモリーカードをコンピュータ以外の機器(デジタルスチルカメラやオーディオ機器など)で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめフォーマット(初期化)してからご使用ください。

機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリーカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でフォーマットしてからご使用ください。フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

xD-ピクチャーカードをお使いになるときのご注意

xD-ピクチャーカードは端子部が露出した形状となっていますので、端子部には直接手や金属で触れないようご注意ください。xD-ピクチャーカードの端子部が汚れていると、本機で認識されない場合があります。

端子が汚れている場合には、柔らかい布で軽く拭いてください。

なお、xD-ピクチャーカードと同様に端子部が露出した形状になっているメモリーカードも、同じようにご注意ください。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると本体内部にディスクが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用、PC/AT互換機用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。

ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作の保証はいたしかねます。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾契約書をよくお読みの上、お使いください。

ドライブの地域番号書き換えについて

お買い上げ時、本機のDVDスーパーマルチドライブおよびDVD-ROMドライブ（VGC-RA73Pを含むDVD-ROMドライブ搭載モデル）の地域番号は「2」（日本）に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

CD再生／録音についてのご注意

- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- 高速読み書き対応のディスクドライブを搭載しているため、ディスクの状態によっては回転音が気になる場合がありますが、機能に問題はありません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。

ただし、この音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証できません。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は、録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

お手入れ

本機／マウスのお手入れ

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

CDやDVDなどのディスクのお手入れ

CD-ROM／DVD-ROMディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

書き込みのできるCDやDVDディスクのお手入れ

- 未記録部分に傷やほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。
- ベンジンやシンナー、クリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

キーボードのお手入れ

キーボードは長く使っていると、キーが汚れたり、キーの間にゴミやほこりがたまります。キーの間にゴミやほこりがたまると、キーを押しても目的の文字を入力できなくなったり、押したキーがへこんだまま元に戻らなくなることがあります。この場合は、キーボードを掃除します。

- 表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- キーの側面は、綿棒でこすり取ってください。
- キーボード（キートップ）の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。
  キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

！ご注意

- 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜き、キーボードを本機から取りはずしてからキーボードを掃除してください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、更に乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化(フォーマット)する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(いずれも有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れなくすることをおすすめします。

なお、消去のための専用ソフトウェアなどについての詳細は、VAIOホームページ内「サポート」ページ(http://vcl.vaio.sony.co.jp/)の「セキュリティについて」より「ハードディスク上のデータ消去に関するご注意」をご覧ください。

主な仕様

VGC-RA73PS･RA73Sをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
本書の「付属品を確かめる」の「VGC-RA73PS･RA73Sをご購入のお客様へ」（20ページ）または、お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

モデル		VGC-RA73P	VGC-RA53
OS		Microsoft® Windows® XP Professional	Microsoft® Windows® XP Home Edition
プロセッサ		インテル® Pentium® D プロセッサ830	インテル® Pentium® D プロセッサ820
動作周波数		3 GHz	2.80 GHz
キャッシュメモリ		1次キャッシュ　12Kμ命令 実行トレースキャッシュ[1]／16KB･データキャッシュ×2／2次キャッシュ 1MB×2（合計2MB）（CPU内蔵）	
システムバス		800MHz	
チップセット		インテル®945P Expressチップセット	
メインメモリ（標準／最大）		512MB（256MB×2）／最大2GB[2][3] （DDR2 SDRAM、DDR2 533対応、デュアルチャンネル転送）	
拡張メモリスロット（空きスロット数）		DIMMスロット（DDR2 SDRAM、240ピン）×4（2）	
表示機能	グラフィックアクセラレータ	NVIDIA®GeForce™ 6600（PCI Express x16接続）	ATI Technologies社製RADEON® X300（PCI Express x16接続）
	ビデオメモリ	256MB（DDR SDRAM）	128MB（DDR SDRAM）
	液晶表示装置	19型 VGP-D19SM2A	17型 PCVD-17SM2A
	表示モード（RGB接続時）[4]	約1677万色（2048×1536、1920×1440、1920×1200、1600×1200、1280×1024、1280×768、1024×768、800×600）	
	表示モード（DVI接続時）[4]	約1677万色（1920×1200、1600×1200、1280×1024、1280×768、1024×768、800×600）[5]	
記憶装置	ハードディスクドライブ[6][7]	約500GB（250GB×2台） （Serial ATA 7200回転/分） （Cドライブ約30GB／Dドライブ約465GB）[8]	約320GB（160GB×2台） （Serial ATA 7200回転/分） （Cドライブ約30GB／Dドライブ約285GB）[8]
	MPEG映像録画時間[9]	高画質 約127時間／標準 約248時間／長時間 約385.5時間	高画質 約77.5時間／標準 約151.5時間／長時間 約236時間
	デジタル放送録画時間	BSデジタルハイビジョン　約34.5時間/ 地上波デジタルハイビジョン　約43時間/ デジタル標準画質　約104時間	-
	DV映像録画時間[9]	約33時間	約20.5時間
	CD／DVDドライブ[10][11]	DVDスーパーマルチドライブ（DVD+R 2層記録対応）（DVD+R/RW･DVD-R/RW･DVD-RAM） • 書き込み：DVD+R DL（Double Layer）最大4倍速[12]、DVD+R最大16倍速、DVD+RW最大8倍速、DVD-R最大16倍速[13]、DVD-RW最大6倍速[14]、DVD-RAM最大5倍速[15]、CD-R最大40倍速、CD-RW最大24倍速 • 読み出し：最大16倍速（DVD-ROMの場合）、最大40倍速（CD-ROMの場合） ＜バッファーアンダーランエラー防止機能搭載＞	
		DVD-ROMドライブ • 読み出し：最大16倍速（DVD-ROMの場合）、最大40倍速（CD-ROMの場合）	-
	フロッピーディスクドライブ	内蔵3.5型（1.44MB／720KB[16]）×1	
外部接続端子	背面	• Hi-Speed USB（USB2.0）×4（high/full/low speed対応） • 音声出力（フロント／ヘッドホン兼用：ステレオ、ミニジャック×1、リア：ステレオ、ミニジャック×1、サブウーハー／センター：ミニジャック×1、アクティブスピーカー用） • 音声入力（ステレオ、ミニジャック）×1 • マイク入力（ステレオ、ミニジャック）×1 • 光デジタル音声出力（角型光ジャック）×1[17] • ネットワーク（LAN）コネクタ（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T ）×1 • モデム用モジュラージャック（LINE）×1 • i.LINK S400（6ピン）×1 • キーボード（PS/2、MiniDIN）×1 • マウス（PS/2、MiniDIN）×1 • パラレル（D-sub 25ピン）×1 • ディスプレイ出力（VGAタイプ、D-sub 15ピン×1／DVI-Dタイプ×1）[18]	
	MPEG2ハードウェアエンコーダボード用端子（背面）	• 映像／音声出力（映像･S映像･音声共用特殊端子、miniDIN）×1[19] • 映像／音声入力（映像･S映像･音声共用特殊端子、miniDIN）×1[19] • TVアンテナ入力（75Ω、F型コネクタ×1） • i.LINK S400（TS）（4ピン）×1[20]	• 映像入力（映像×1、S映像×1） • 音声入力（ステレオ、ピンジャック）×1 • TVアンテナ入力（75Ω、F型コネクタ×1）
	前面	• Hi-Speed USB（USB2.0）×3（high/full/low speed対応） • 映像入力（映像×1、S映像×1） • 音声入力（ステレオ、ピンジャック）×1 • 音声入出力（ライン入力／ヘッドホン出力兼用：ステレオ、ミニジャック）×1 • マイク入力（ステレオ、ミニジャック）×1 • i.LINK S400（4ピン）×1	
メモリーカードスロット		メモリースティック（標準／Duoサイズ対応、メモリースティックPRO対応、高速データ転送対応）×1[21]、 コンパクトフラッシュ™（TypeI/II）×1、xD-ピクチャーカード ™×1、SDメモリーカード[22]／マルチメディアカード（MMC）×1	
PCカードスロット		TypeII ×1、CardBus対応	
拡張スロット（空きスロット数）		PCI×2（1）[23]、PCI Express x1×1（0）[24]、PCI Express x16×1（0）	
拡張ベイ（空きベイ数）		3.5インチ（ハードディスク用）×4（2）[25]、5インチ×2（0）	3.5インチ（ハードディスク用）×4（2）[25]、5インチ×2（1）

モデル	VGC-RA73P	VGC-RA53
MPEG2ハードウェアエンコーダボード	• ビデオキャプチャー機能(ビデオ入力→リアルタイム変換機能)、テレビ録画機能搭載、AV入力対応 • TVチューナー(VHF 1～12ch、UHF 13～62ch、CATV C13～C63ch[*26]、ステレオ2か国語)[*27] • 録画モード(選択可能): 高画質モード(MPEG2 8Mbps 720×480 30fps)約17分/1GB 標準モード(MPEG2 4Mbps 720×480 30fps) 約34分/1GB 長時間モード(MPEG2 2.5Mbps 352×480 30fps)約53分/1GB • 録音形式:MPEG1 Audio Layer2、256kbps、16bit、48KHz、ステレオ • (DNR)ノイズリダクション • 3次元Y/C分離回路 • ゴーストリダクション機能 • ビデオ/オーディオ入出力端子装備 • DV⟷アナログ変換機能 • i.LINK S400(TS)端子装備[*20]	• ビデオキャプチャー機能(ビデオ入力→リアルタイム変換機能)、テレビ録画機能搭載、AV入力対応 • TVチューナー(VHF 1～12ch、UHF 13～62ch、CATV C13～C63ch[*26]、ステレオ2か国語)[*27] • 録画モード(選択可能): 高画質モード(MPEG2 8Mbps 720×480 30fps)約17分/1GB 標準モード(MPEG2 4Mbps 720×480 30fps) 約34分/1GB 長時間モード(MPEG2 2.5Mbps 352×480 30fps)約53分/1GB • 録音形式:MPEG1 Audio Layer2、256kbps、16bit、48KHz、ステレオ • (DNR)ノイズリダクション • 3次元Y/C分離回路 • ゴーストリダクション機能 • ビデオ/オーディオ入出力端子装備
オーディオ機能	インテル® High Definition Audio準拠、3Dオーディオ(Direct Sound 3D対応)×1	
スピーカー/アンプ	アクティブスピーカー(前面ヘッドホン端子装備)、防磁型(JEITA)、最大出力5W+5W(JEITA)	
内蔵モデム[*28]	最大56kbps(V.90)[*29]/最大33.6kbps(V.34)/最大14.4kbps(FAX時)	
主な付属品	「付属品を確かめる」(18ページ)をご覧ください。	
電源	AC100V±10%/50～60Hz	
消費電力	約150W(最大約460W)/スタンバイ時約8W	約125W(最大約460W)/スタンバイ時約3W
定格消費電流	4.6A	
温湿度条件	動作温度:10℃～ 35℃(温度勾配10℃/時以下)、動作湿度:40%～80%(結露のないこと)、 保存温度:-20℃～ 60℃(温度勾配10℃/時以下)、保存湿度(結露のないこと)	
本体外形寸法	約幅188mm × 高さ410mm × 奥行402mm(本体、突起物を含まず) キーボード:幅420mm × 高さ48mm × 奥行180mm	
質量	約16kg(本体)/約1kg(キーボード)	約15kg(本体)/約1kg(キーボード)
別売り増設メモリモジュール	VGP-MM512J	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

*1 最大12,000のデコード済みマイクロ命令をキャッシュすることにより、命令デコードに要する時間を不要にします。
*2 同じ転送速度と容量のメモリを2枚1組で増設することで、デュアルチャンネル転送でのメモリの高容量化が可能になります。異なる転送速度のメモリの混在は動作保証外となります。増設時はVGP-MM512Jを2枚1組でご使用ください。シングルチャンネル(2枚1組でない)転送は動作保証外となります。
*3 標準実装されている256MBメモリモジュール2枚を取りはずし、対応する512MBメモリモジュールを4枚増設した場合です。
*4 本体から出力可能な表示モードです。ディスプレイによっては表示できないモードがあります。
*5 ソニー製ディスプレイVGP-D23HD1、SDM-P232W/SDM-P234Bのみ1920×1200で出力可能です。
*6 本機は、ハードディスクドライブ内にリカバリ(工場出荷時の状態に戻す)に必要なデータを保持します。このリカバリ用の領域として約5GBを消費します。
*7 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1GBを1,073,741,824バイトで計算しています。Windows起動時に認識できる容量は、VGC-RA73Pでは約460GB(C:約27GB/D:約433GB)、VGC-RA53では約293GB(C:約27GB/D:約266GB)になります。ファイルシステムはNTFSです。
*8 RAID 0(ストライピング)に設定されています。Windows上では500GB 1台(VGC-RA73P)、320GB 1台(VGC-RA53)のハードディスクドライブとして見えます。
*9 記録可能なMPEG/DV画像の時間は、映像の内容によって多少前後することがあります。
*10 使用するディスクによっては、一部の書き込み/読み込み速度に対応していない場合があります。
*11 CPRM対応のDVDディスクに録画した「1回だけ録画可能」な番組の再生はWinDVDで可能です。また、「1回だけ録画可能」な番組のDVDディスクへの書き込みはできません。(CPRM:Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。)
*12 DVD+R DL(Double Layer)の書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクでのみ可能です。
*13 DVD-RはDVD-R for General Version 2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*14 DVD-RWはDVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*15 DVD-RAM Ver.1(片面2.6GB)の書き込みには対応しておりません。また、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいは、カートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。
*16 720KBの読み書きは可能ですが、フォーマットはできません。
*17 本機は一般のCDプレーヤー・MDデッキと同様に、SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)に準拠した信号を出力します。
*18 本機のディスプレイ端子は、付属の専用ディスプレイで動作を確認しています。
*19 本体に付属する、特殊端子—映像/S映像/音声コネクタ変換ケーブルを使うことによって、他のビデオ機器と接続することができます。
*20 デジタルテレビチューナー等に装備されているi.LINK(TS)端子接続専用です。DV機器などは、接続することはできません。
*21 マジックゲート機能には対応しておりません。
*22 SDメモリーカードの著作権保護機能には対応していません。
*23 ボード長22cmまでのPCIボードが装備可能です。
*24 搭載しているモデムをはずすことによって、PCI Express x1スロットとして使用できます。ボード長22cmまでのPCI Expressボードが装備可能です。
*25 搭載しているフロッピーディスクドライブを外すことによって、4台目のハードディスクを増設することができます。
*26 CATV の受信サービス(放送)の行われている地域でのみ受信可能です。CATVを受信するときには、使用する機器ごとにCATV 会社の受信契約が必要です。さらに、スクランブルがかかった放送の視聴・録画には、ホームターミナルが必要です。詳しくは、その地域のCATV 会社にお問い合わせください。
*27 BS・CSなどの衛星放送および地上デジタル放送は、本機の内蔵チューナーでは受信できません。
*28 一般電話回線のみに対応しています。交換機(PBXやホームテレホンなど)を経由する回線には対応していません。
*29 56kbpsはデータ受信時の理論値です。データ送信時は規格上33.6kbpsに制限されています。

索引

 ⇨ バイオ電子マニュアル

が付いている項目に関連する情報は、本機にプレインストールされている「バイオ電子マニュアル」内に詳しい情報が記載されています。

「バイオ電子マニュアル」の起動方法

[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックします。
VAIOランチャーが起動している場合は、をクリックしてください。

本機をお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。

商標について

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック”）および“Memory Stick”（“メモリースティック”）、
  MEMORY STICK、、MEMORY STICK、
  MEMORY STICK PRO、MEMORY STICK Duo、
  MEMORY STICK PRO Duo、“MagicGate”（“マジックゲート”）、MAGICGATE、OpenMG、
  OpenMG はソニー株式会社の商標です。
- 「So-net」、「ソネット」、「So-netのロゴ」は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。
  i.LINKとi.LINKロゴ" " "はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- Intel、Pentium、CeleronはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、Windows、Officeロゴ、Outlook、PowerPointおよびInfopathは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及び、ダブルD記号 はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- CompactFlash(TM)およびコンパクトフラッシュ(TM)は米国SanDisk社の商標です。
- 「xD-Picture Card(TM)」、「xD-ピクチャーカード(TM)」は富士写真フイルム株式会社の商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop、およびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。(C)2005 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- DVDitはSonic Solutionsの登録商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright（c）2000-2004 Gracenote. Gracenote CDDB(r) Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. United States Patent 6,304,523.
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO and Inflator for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003,2005 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager and Renaissance Bass plug-ins by Waves Ltd.
- Noise Reduction Effector Powered by DigiOn, Inc. Copyright (C) 2003 DigiOn, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- Digital Music Recognition Technology & MoodLogic for SonicStage Mastering Studio Service provided by MoodLogic, Inc. Copyright (C) 2003.
- QStream Technology by QSound Labs, Inc.
  Copyright (C) QSound Labs, Inc. 1998-2005. All rights reserved.
  QSound and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- Powered by CyberSupport.
  「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。
- Sun、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴマークは、米国Sun Microsystems,Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

困ったときは

VAIOカスタマーリンク

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

困ったときにご覧ください。
状況にあった解決方法を提供しています。

テーマ別にバイオの楽しみかたを紹介

ENJOY VAIO

http://vaio.sony.co.jp/Enjoy/index.html

バイオをさらに使いこなすためのヒントや、
ソフトウェアを提供しています。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://vaio.sony.co.jp/

バイオならできること、バイオだからできることを
紹介しています。

画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
（0466）30-3000

受付時間
平日：10時～20時
土、日、祝日：10時～17時

お問い合わせには、「お客様サポート番号」、
または「VAIOカスタマーID」が必要です。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
（0466）38-1410

受付時間
平日：10時～18時
（年末年始は除く）

有償サービス

VAIOホームページでは、登録カスタマーのみなさまに
さまざまな有償サービスをご提供しています。

http://vaio.sony.co.jp/Service/

■VAIOメール
プロバイダに左右されない「@xxx.vaio.ne.jp」のメールアドレスを
ご提供します。

■VAIO Game Center
豊富なラインナップのゲームをダウンロード販売します。

■VAIOソフトウェアセレクション
クリエイティブ系や実用ソフトなどをVAIOカスタマー優待価格で
ダウンロード販売します。

■VAIOカスタマイズサービス
ご愛用のバイオのハードディスクやメモリをアップグレードします。
ノートブック型では英語キーボード交換サービスも行っています。

■VAIO延長保証サービス
バイオ本体の保証期間を3年間に延長します。

■VAIO Overseas Service
海外でバイオのサポートを電話で受けられるサービスです。

画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。